

岡山市  
スポーツに関する市民意識調査  
結果報告書

令和4年3月  
岡山市



# 目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
(1) 調査対象.....	1
(2) 調査方法.....	1
(3) 回収数.....	1
(4) 調査の期間.....	1
3. 報告書の見方.....	1
第2章 調査の考察.....	3
1. 健康状態について.....	3
2. スポーツ・運動の実施状況等について.....	3
3. スポーツ・運動への関わり方について.....	4
4. スポーツ・運動に関する情報について.....	4
5. 公共スポーツ施設及び今後のスポーツ振興について.....	5
6. その他.....	5
第3章 調査結果.....	5
1. 基本属性.....	7
2. 健康状態について.....	10
3. スポーツ・運動の実施状況等について.....	15
4. スポーツ・運動への関わり方について.....	38
5. スポーツ・運動に関する情報について.....	63
6. 公共スポーツ施設等について.....	67
7. 今後のスポーツ振興について.....	75



# 第 1 章 調査の概要



## 1. 調査の目的

---

市民のスポーツ活動の現状及び意見・要望を把握することによって、今後のスポーツ振興施策の参考にするとともに、「岡山市スポーツ推進計画」策定の基礎資料とするため実施しました。

## 2. 調査の設計

---

### (1) 調査対象

市内在住の18歳以上80歳未満の男女2,500人を住民基本台帳から無作為抽出しました。

### (2) 調査方法

郵送配付、郵送回収またはWeb回収を行いました。

### (3) 回収数

発送数 2,500件  
回収数 793件  
(内、Web回収219件)  
回収率 31.7%  
有効回収数 791件  
(内、Web回収219件)  
有効回収率 31.6%

《参考：Web回答の全体に占める割合》

年代	回答件数	Web 回答件数	Web 回答率
10～20歳代	176件	89件	50.6%
30歳代	94件	43件	45.7%
40歳代	124件	29件	23.4%
50歳代	119件	31件	26.1%
60歳代	136件	24件	17.6%
70歳以上	126件	3件	2.4%
無回答	16件	0件	0.0%
合計	791件	219件	27.7%

### (4) 調査の期間

令和3年12月15日から令和4年1月11日まで

## 3. 報告書の見方

---

- 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示し、各比率は、すべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は、調査数を上回ることがあります。
- 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文中に記載のある、「コロナ拡大前」は、2019年3月から2020年2月までを、「コロナ拡大後」は、2020年3月から2021年12月までを指します。





## 第2章 調査の考察



## 1. 健康状態について

---

主観的健康感が高い人（「健康である」又は「どちらかと言えば健康である」と回答した人の和）は 86.8%となっており、本市民の多くは自らを概ね健康であると感じていることが分かります。

一方、主観的健康感が高い人の割合は、30 歳代（91.5%）をピークに、年齢階層が上がるにつれて低下する傾向にあり、70 歳以上では 84.1%になっています。

「健康である」又は「どちらかと言えば健康である」と回答した人の和は、前回調査では 84.4%でしたが、今回調査では 86.8%となっており、若干、その割合が高くなっています。しかし、その内訳をみると、今回調査では、「どちらかと言えば健康である」と回答した割合が前回調査から 5.1 ポイント増加した一方、「健康である」と回答した割合が前回調査から 2.7 ポイント減少しており、市民の主観的健康感が明らかに向上したとまでは評価することができません（問 1）。

「どちらかと言えば健康でない」と回答した人のうち、体力に「自信がある」「どちらかと言えば自信がある」と回答した人の割合は 2.6%に過ぎなかったのに比べ、「健康である」と感じている人に限れば 69.3%となっており、自らが「健康である」と感じている人は自らの体力に自信があると感じている割合も高くなっています。このことから、主観的健康感と体力に対する自らの自信の程度は大きな相関があることが分かります（問 2）。

## 2. スポーツ・運動の実施状況等について

---

市では、「する・みる・ささえる」といった多様なスポーツライフを通じて、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の実現を目指しています。まず、本市の運動を「する」ことに着目し調査結果をみてみると、調査対象者の 76.0%は運動不足を自覚しており、特に給与所得者は 81.0%の人が運動不足であると回答しています（問 3）。本調査を実施したのは令和 3 年 12 月 15 日から令和 4 年 1 月 11 日までの期間であり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本市に在住する市民は感染症対策と向き合う中で、コロナ禍前に比べて明らかに異なる運動習慣を強いられてきているものと推測されます。そこで、問 4 では、コロナ禍前後で実施したスポーツ・運動について問うこととしました。

その結果、設問内に例示した全 33 種類のスポーツ・運動に対して、約 8 割（78.8%）26 項目のスポーツ・運動がコロナ禍によって減少していることが分かりました。特に、「柔道・剣道」（減少割合：66.7%）、「ダンス」（減少割合：57.1%）、「空手・合気道」（減少割合：37.5%）など、その性質上、いわゆる「フィジカル・ディスタンスング」を取りづらいスポーツが大きく落ち込んでいることが分かります。

また、「水泳」（減少割合：52.3%）、「陸上競技」（減少割合：50.0%）、「野球」（減少割合：45.9%）、「ソフトボール」（減少割合：42.1%）など、コロナ禍によって施設の閉鎖や入場制限の影響を受けるスポーツについても大きく減少していることが分かります。

一方、「階段昇降」（増加割合：6.5%）、「健康体操・ラジオ体操」（増加割合：1.2%）、「ウォ

ーキング」(増加割合：1.2%)のように、コロナ禍後に増加している運動も存在します(問4)。

スポーツ・運動を行った理由として、「健康・体力の維持・増進」と回答する割合がコロナ禍後に増加していることや、今後取り組みたいスポーツ・運動種目として「ウォーキング」や「トレーニング」、「健康体操・ラジオ体操」といった、比較的手軽に取り組めるスポーツが高い割合を占めていることなどから、市民が「新しい生活様式」を実践する中で、運動不足を解消するために、感染症対策をとりながら自宅や自宅周辺の路上で自発的に運動を実施、検討していることが考えられます(問6・問7)。

### 3. スポーツ・運動への関わり方について

---

続いて、「みる」、といった視点で調査結果をみると、スポーツの大会や試合を「観戦していない」と回答した人は、コロナ前の18.6%からコロナ後は25.5%に増加しているものの、依然として多くの人が何らかのスポーツ観戦をしていることが分かります(問14)。また、岡山市をホームタウンとする4つのトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山)の観戦についても、観戦経験がある、または、今後観戦してみたいと回答した人の割合は、最も低いトライフープ岡山でも35.2%となっており、スポーツ観戦に関心のある人が一定数いることが分かります(問17)。

また、「ささえる」といった視点でみると、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、さまざまなスポーツの試合や大会が中止されたことにより、スポーツボランティアに「参加していない」と回答した人は78.5%と高い割合を占めています。しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前においても、「参加していない」と回答した人は73.8%にのぼり、ボランティアに対する関心が高いとは言えない状況が見てとれます(問21)。

障害者スポーツに関心がある人の割合(「とても関心がある」「少し関心がある」と回答した人の割合の和)は、44.4%となっており、ほぼ半数の市民が障害者スポーツに関心があることが分かります。特に、「とても関心がある」と回答した10~20歳代の割合は1割を超えて(10.8%)おり、関心の高さが目を引きます(問23)。

障害者スポーツに関心を持った要因として、「パラリンピック等の大会を観戦したから」(40.5%)との回答にあるとおり、2021年8月24日から2021年9月5日にかけて開催された「東京2020パラリンピック競技大会」をテレビ等を通じて観戦したことが、市民、とりわけ若い世代に対して障害者スポーツへの関心を高める契機になったことは間違いありません。

### 4. スポーツ・運動に関する情報について

---

スポーツに関して何らかの情報を入手したいと考えている人(全体から「特にない」と無回答を引いた割合)は約8割(79.2%)となっており、市民のスポーツに関する関心の高さが反映されています。

市民が入手したいと思う情報の内訳として挙げられている上位には、「施設の設備、場所、営業時間などの情報やランニングコース等の情報」(35.7%)、「手軽にできる運動や健康づくりに関する情報」(32.5%)、「ウォーキング」(29.7%)など、市民がスポーツや運動をするにあつ

て必要となる情報が求められています。また、市民が入手したいと思う情報は、年齢階層によってそのニーズに傾向があることも特徴であり、比較的若い世代では、「施設の設備、場所、営業時間などの情報やランニングコース等の情報」が、比較的高い年齢階層では「手軽にできる運動や健康づくりに関する情報」がより求められています（問 26）。

スポーツに関連する情報は、「テレビやラジオ」（39.8%）、「SNS（Facebook・Twitter・Instagram・You Tube など）」（29.7%）、「新聞や新聞広告」（26.8%）から入手しているとの回答が多かったものの、「市広報紙」（20.0%）、「市ホームページ」（11.8%）との声も一定割合存在することから、市の役割は大きく、引き続き積極的な広報活動を行っていく必要があります。また、10～40 歳代では「SNS」、40～70 歳代では「テレビやラジオ」の割合が高くなっていることから、より効果的に広報するためにも、内容に応じて適切な媒体を選択していく必要があります（問 27）。

## 5. 公共スポーツ施設及び今後のスポーツ振興について

---

市内の公共スポーツ施設の充実度について、肯定的な意見（「充実している」又は「まあまあ充実している」と回答した割合の和）は 32.9%となっており、否定的な意見（「充実していない」又は「あまり充実していない」と回答した割合の和）の 20.8%を上回っています（問 28）。

また、前回調査と比較すると、肯定的な意見は、前回調査結果の 16.9%から 16.0 ポイント増加しています。

さらに、スポーツの普及・振興のため市が力を入れるべきこととして、「スポーツ施設の整備・設備の充実」（40.7%）、「子どもの運動習慣化の促進」（20.5%）、「各種スポーツ行事・大会の開催」（16.2%）等が挙げられています。

特に、「スポーツ施設の整備・設備の充実」は全年齢階層で 2 番目に多く挙げられている項目を大きく引き離し、最も多くの方が挙げており、市民のニーズの高さがうかがえます（問 31）。

前回調査でも、「スポーツ施設の整備・設備の充実」の回答割合が 40.3%と最も高かったことから、「スポーツ施設の整備・設備の充実」について、目的別にどのような公共スポーツ施設が求められているか問うたところ、大規模なスポーツ大会やイベントなどの開催が可能となる公共スポーツ施設としては「体育館」が最も高く 25.0%、次いで「多目的広場」（17.7%）、「屋内プール・屋外プール」（15.4%）と続いています。また、日常的に気軽に利用できるスポーツ施設としては「ランニングコース・ウォーキングコース」が最も高く 32.6%、次いで「室内トレーニング施設」（29.8%）、「多目的広場」（28.7%）と続いています。（問 29）。

## 6. その他

---

市では、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、様々な取り組みを推進してきました。市民と様々な国のトップアスリートが共に交流や観光をした取り組みについて、60.0%の人が、「意義があった」（「とても意義があった」又は「少し意義があった」と回答した割合の和）と回答しており、オリンピックやパラリンピアンなどが学校を訪問した取り組みについては、79.5%にも及ぶ人が「意義があった」と回答しています。（問 19・20）



## 第 3 章 調査結果

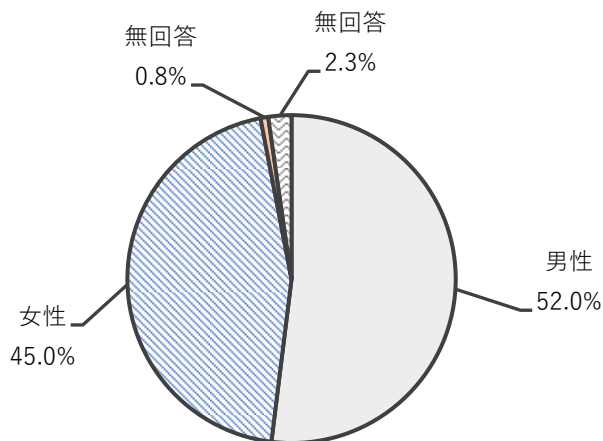




## 1. 基本属性

あなたご自身のことについておたずねします。それぞれ1つ番号を選んでください。

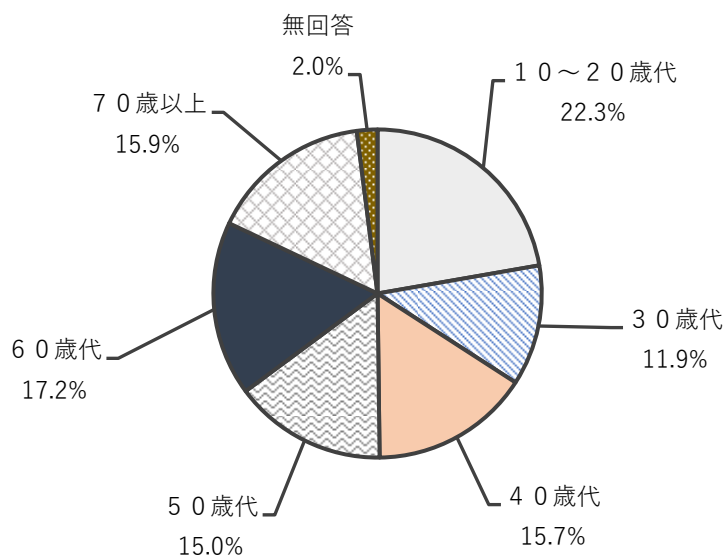
### (1) 性別



(n=791)

●性別について、「男性」と回答した割合は 52.0%となっています。一方、「女性」と回答した割合は 45.0%となっています。

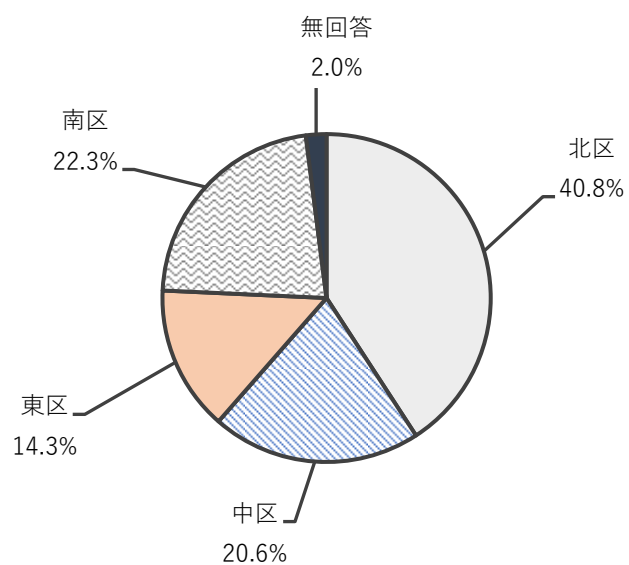
### (2) 年齢



(n=791)

●年齢について、「10~20歳代」と回答した割合が最も高く、22.3%となっています。次いで、「60歳代」(17.2%)、「70歳以上」(15.9%)と続いています。

### (3) 居住地

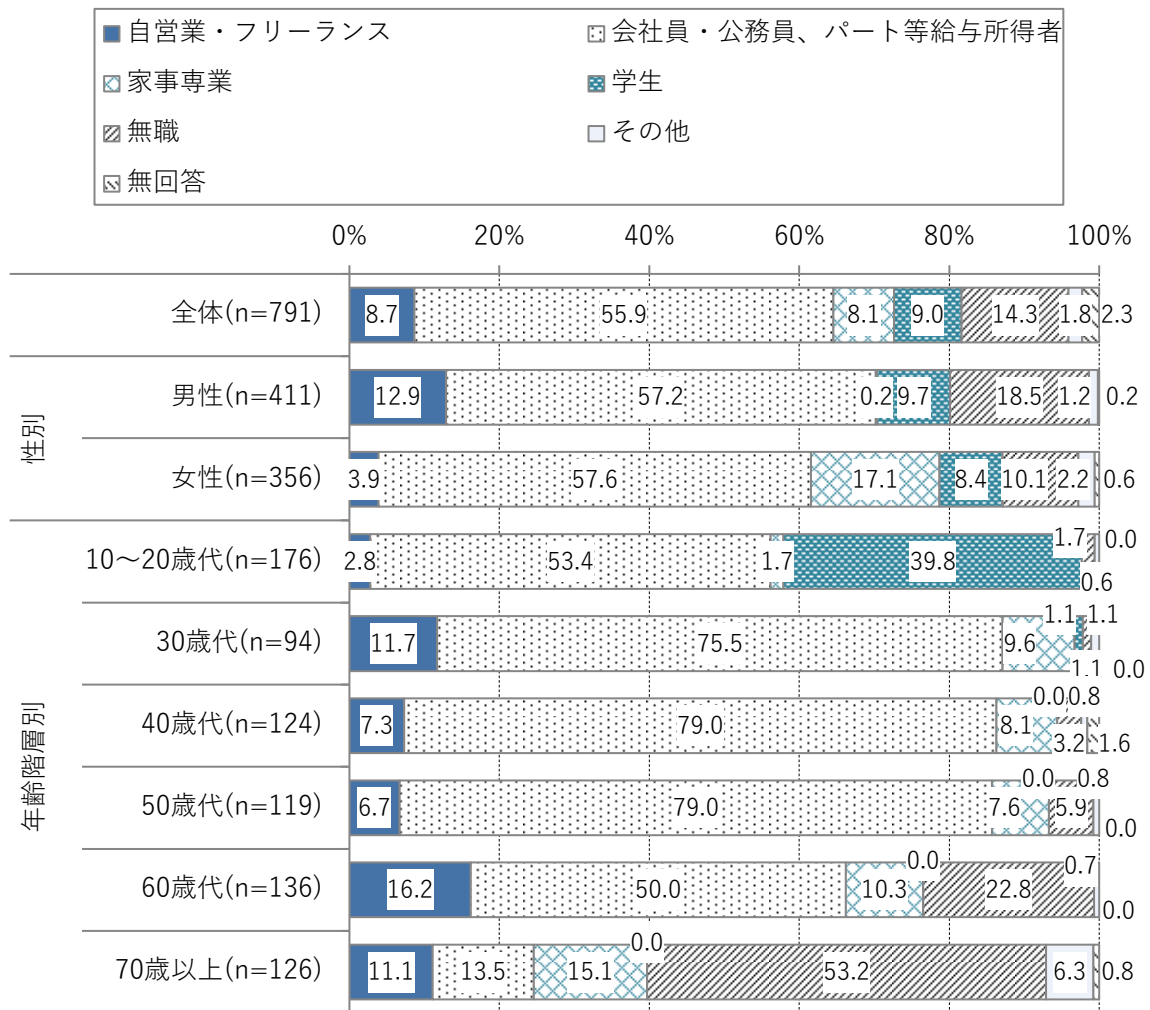


(n=791)

- 居住地について、「北区」と回答した割合が最も高く、40.8%となっています。次いで、「南区」(22.3%)、「中区」(20.6%)と続いています。

(4) 職業

(全体/性別/年齢階層別)

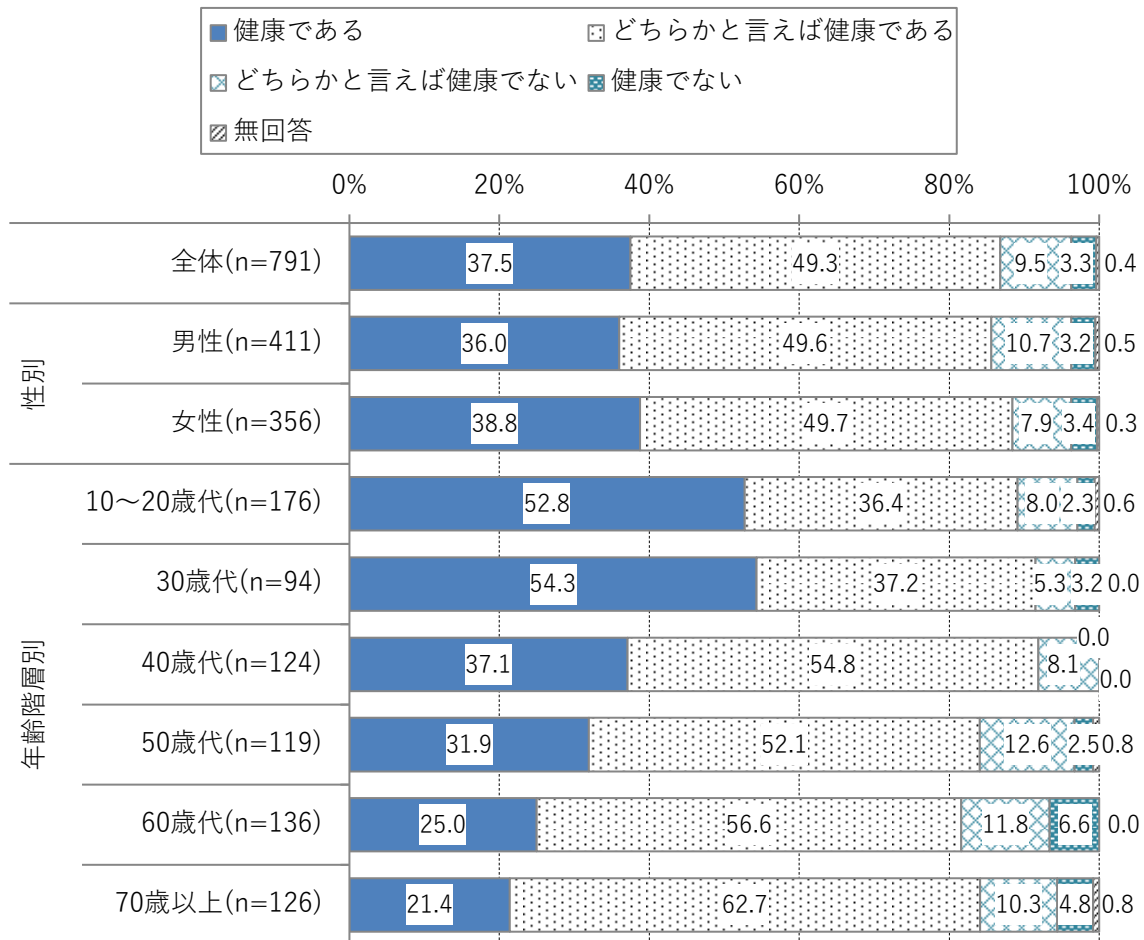


- 職業について、「会社員・公務員、パート等給与所得者」と回答した割合が最も高く、55.9%となっています。次いで、「無職」(14.3%)、「学生」(9.0%)と続いています。
- 性別にみると、「自営業・フリーランス」の割合は男性の方が、「家事専業」の割合は女性の方が高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10~20歳代の約4割が「学生」、30歳代~50歳代の約8割が「会社員・公務員、パート等給与所得者」と回答しています。

## 2. 健康状態について

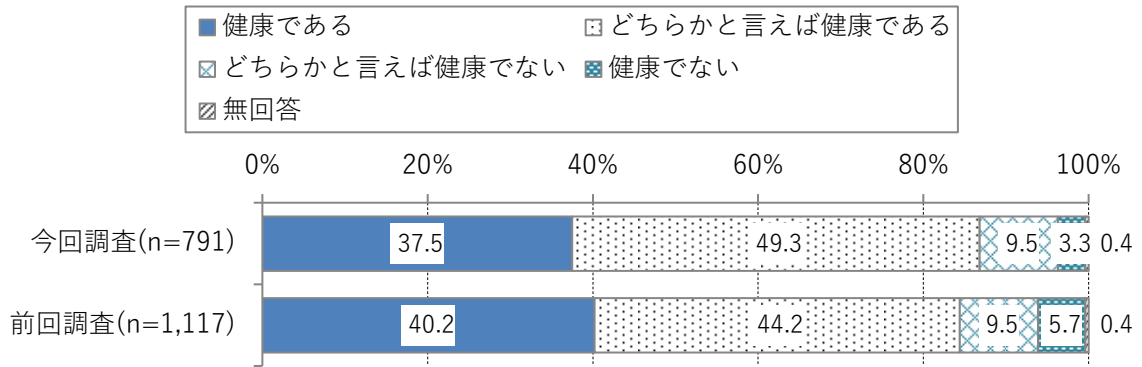
問1 健康状態をどのように感じていますか。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- 健康状態について、「どちらかと言えば健康である」と回答した割合が最も高く、49.3%となっています。次いで、「健康である」(37.5%)、「どちらかと言えば健康でない」(9.5%)と続いています。
- 性別にみると、「健康である」の割合は、女性の方が2.8ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、30歳代から年齢階層があがるにつれて、「健康である」の割合は低くなっています。

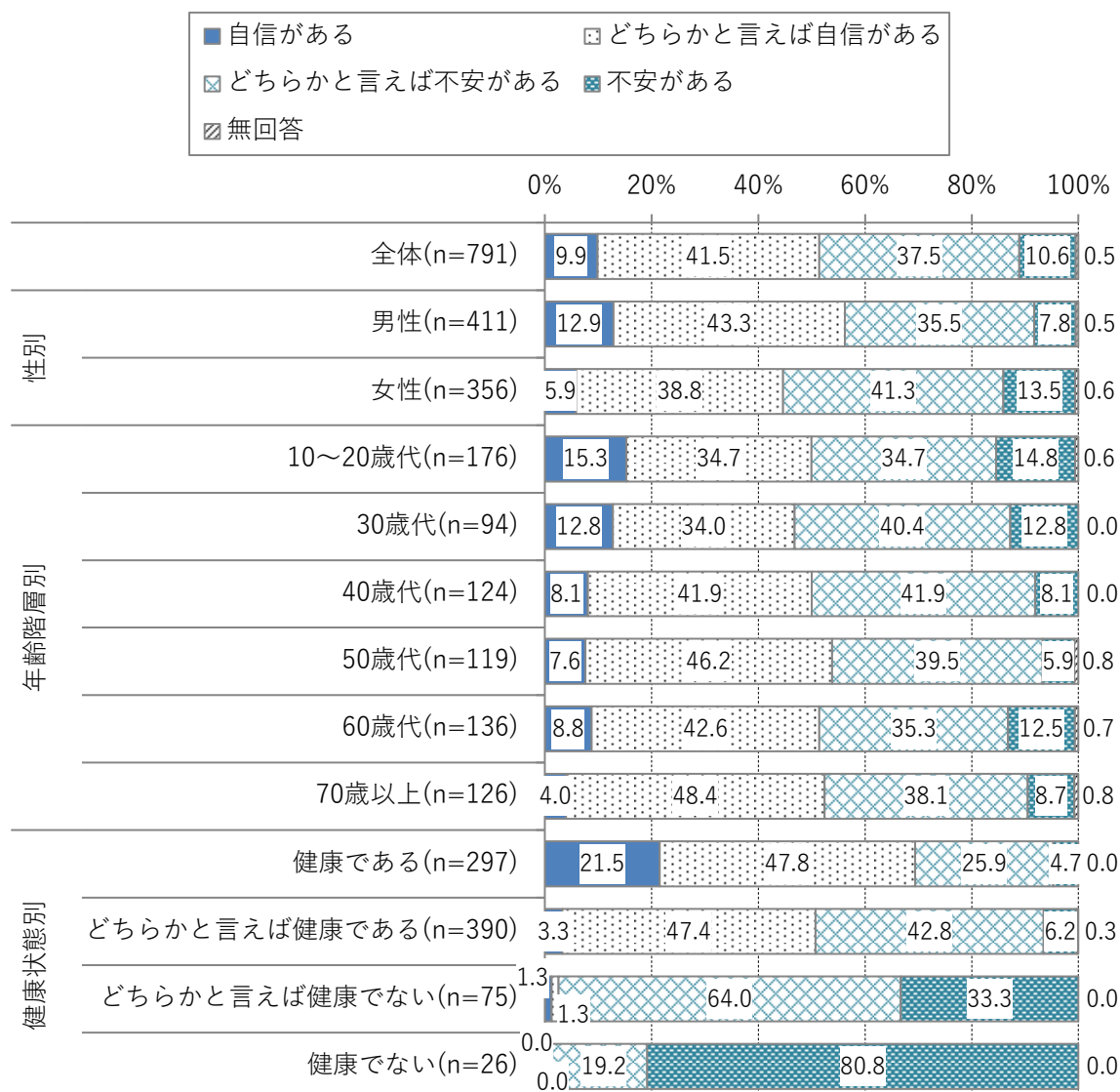
《前回調査との比較》



●前回調査と比較すると、「健康である」の割合が2.7ポイント低くなっています。

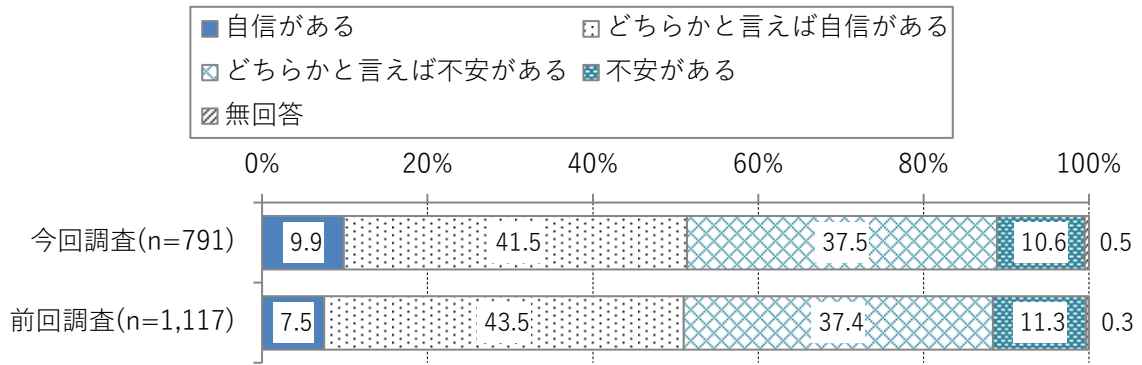
問2 体力についてどのように感じていますか。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- 体力について、「どちらかと言えば自信がある」と回答した割合が最も高く、41.5%となっています。次いで、「どちらかと言えば不安がある」(37.5%)、「不安がある」(10.6%)と続いています。
- 性別にみると、『自信がある』（「自信がある」と「どちらかと言えば自信がある」の和）の割合は、男性の方が11.5ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、「自信がある」の割合は、年齢階層があがるにつれておおむね低くなっていますが、『自信がある』の割合は、各年齢階層に大きな差はみられません。
- 健康状態別にみると、健康状態がよいほど、『自信がある』の割合が高くなっています。

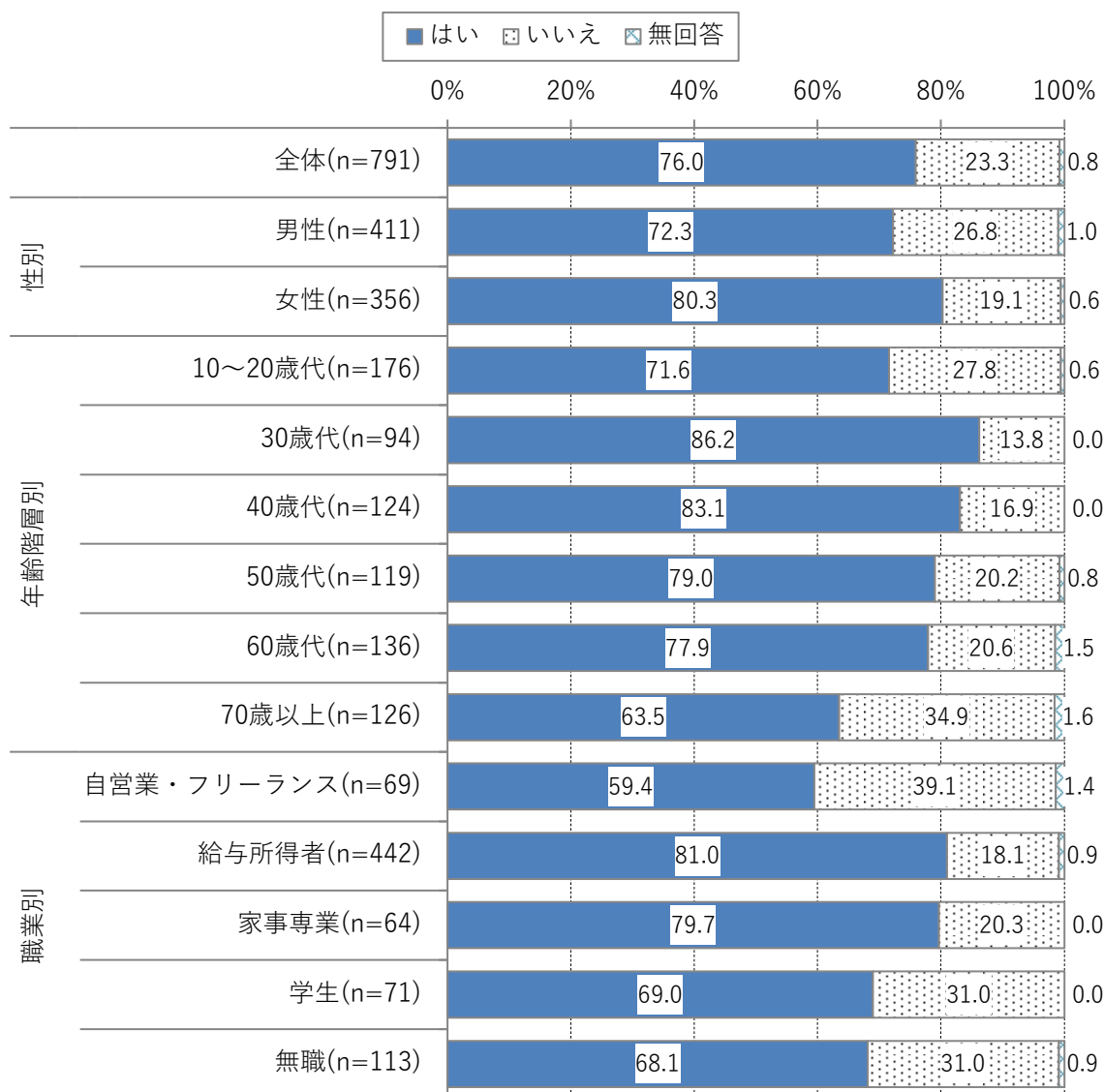
《前回調査との比較》



●前回調査と比較すると、「自信がある」の割合は2.4ポイント高くなっていますが、『自信がある』の割合に大きな差はみられません。

問3 運動不足を感じていますか。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

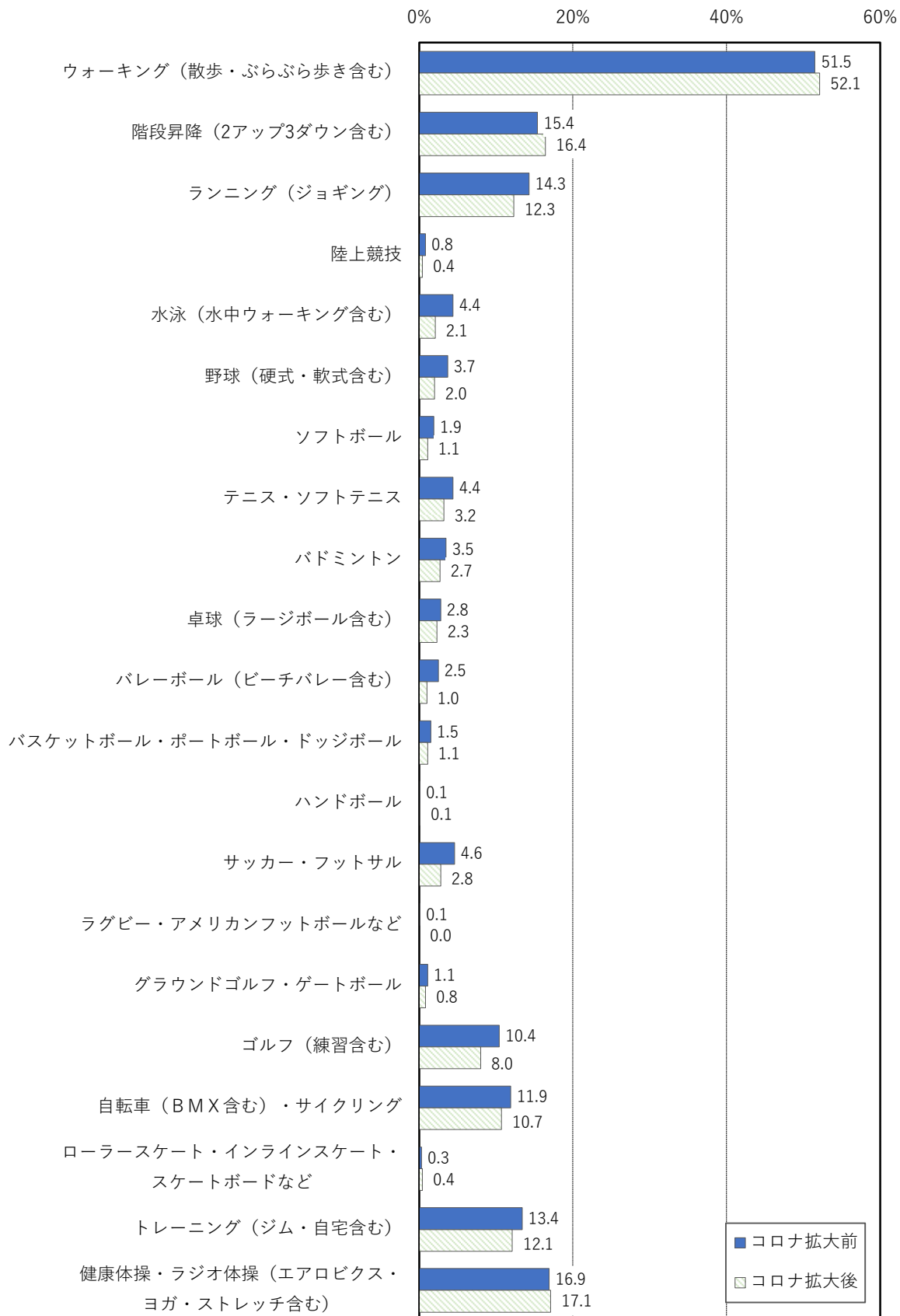


- 運動不足を感じているかという問について、「はい」と回答した割合は 76.0%となっています。一方、「いいえ」と回答した割合は 23.3%となっています。
- 性別にみると、「はい」の割合は、女性の方が 8.0 ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、30 歳代から年齢階層があがるにつれて、「はい」の割合は低くなっています。
- 職業別にみると、「給与所得者」、「家事専業」の「はい」の割合は、その他の職業に比べて高くなっています。

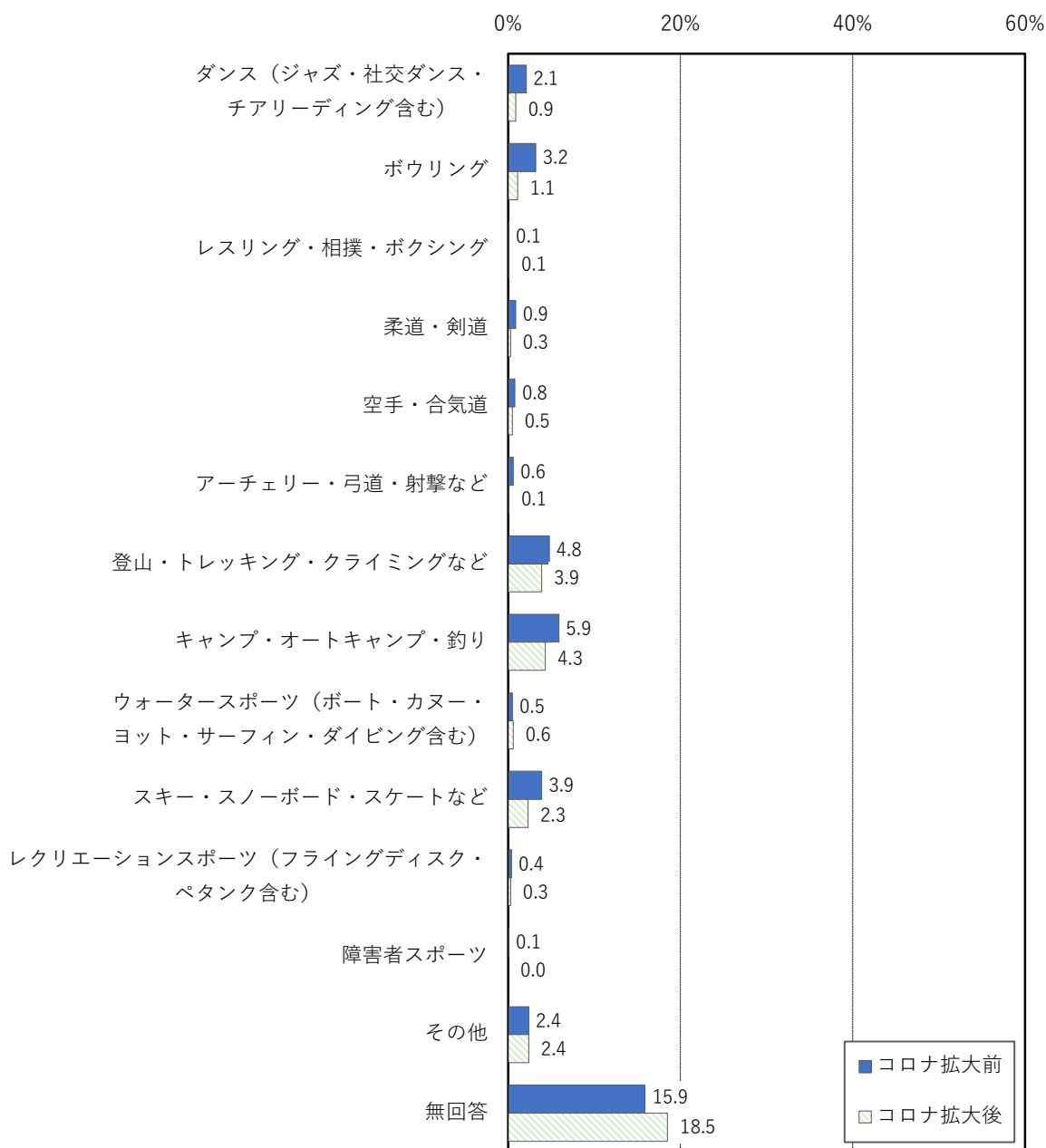


### 3. スポーツ・運動の実施状況等について

問4 あなたは、どのようなスポーツ・運動を行いましたか。(○は複数可)



(n=791)



(n=791)

- コロナ拡大前に行っていたスポーツ・運動について、「ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き含む)」と回答した割合が最も高く、51.5%となっています。次いで、「健康体操・ラジオ体操 (エアロビクス・ヨガ・ストレッチ含む)」(16.9%)、「階段昇降 (2 アップ 3 ダウン含む)」(15.4%)と続いています。また、コロナ拡大後に行っていたスポーツ・運動について、「ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き含む)」と回答した割合が最も高く、52.1%となっています。次いで、「健康体操・ラジオ体操 (エアロビクス・ヨガ・ストレッチ含む)」(17.1%)、「階段昇降 (2 アップ 3 ダウン含む)」(16.4%)と続いています。
- コロナ拡大前とコロナ拡大後を比較すると、「ゴルフ」の割合が-2.4 ポイントと最も下がっており、次いで「水泳」(-2.3 ポイント)、「ボウリング」(-2.1 ポイント)と続いています。一方、「ウォーキング」、「階段昇降」は、コロナ拡大後の方が高くなっています。

《コロナ拡大前クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

(% )		ウォーキング	階段昇降	ランニング	陸上競技	水泳	野球	ソフトボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	バレーボール	バスケットボール・ドッジボール
全体(n=791)		51.5	15.4	14.3	0.8	4.4	3.7	1.9	4.4	3.5	2.8	2.5	1.5
性別	男性(n=411)	47.9	12.9	20.4	0.7	4.6	6.3	2.9	5.8	3.2	2.7	1.5	1.5
	女性(n=356)	56.5	17.7	7.3	0.8	4.2	0.8	0.8	2.5	3.9	2.8	3.7	1.7
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	43.2	21.6	18.2	1.7	6.8	6.8	3.4	9.1	9.1	4.0	4.0	5.7
	30歳代(n=94)	56.4	10.6	21.3	0.0	4.3	11.7	2.1	4.3	7.4	2.1	4.3	0.0
	40歳代(n=124)	42.7	13.7	20.2	0.8	4.0	1.6	2.4	3.2	2.4	2.4	3.2	1.6
	50歳代(n=119)	58.0	11.8	11.8	0.8	1.7	1.7	3.4	3.4	0.8	3.4	1.7	0.0
	60歳代(n=136)	51.5	14.0	9.6	0.7	5.1	0.7	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0
	70歳以上(n=126)	65.1	15.9	5.6	0.0	3.2	0.8	0.0	2.4	0.8	2.4	0.0	0.0

(% )		ハンドボール	サッカー・フットサル	ラグビー・アメリカンフットボールなど	グラウンドゴルフ・ゲートボール	ゴルフ	自転車・サイクリング	ローラースケート・スケートボードなど	トレーニング	健康体操・ラジオ体操	ダンス	ボウリング	レスリング・相撲・ボクシング
全体(n=791)		0.1	4.6	0.1	1.1	10.4	11.9	0.3	13.4	16.9	2.1	3.2	0.1
性別	男性(n=411)	0.0	7.5	0.2	1.0	17.3	11.9	0.2	16.3	11.7	0.7	4.1	0.2
	女性(n=356)	0.3	1.4	0.0	1.4	2.0	12.4	0.3	10.1	22.5	3.9	2.2	0.0
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	0.6	7.4	0.6	1.1	6.3	22.2	1.1	19.9	7.4	5.7	5.1	0.6
	30歳代(n=94)	0.0	13.8	0.0	0.0	11.7	10.6	0.0	11.7	11.7	0.0	6.4	0.0
	40歳代(n=124)	0.0	5.6	0.0	0.8	8.9	10.5	0.0	11.3	18.5	1.6	2.4	0.0
	50歳代(n=119)	0.0	1.7	0.0	0.0	12.6	9.2	0.0	13.4	16.8	1.7	1.7	0.0
	60歳代(n=136)	0.0	0.7	0.0	0.0	14.7	7.4	0.0	12.5	21.3	0.7	1.5	0.0
	70歳以上(n=126)	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	7.9	0.0	8.7	26.2	1.6	2.4	0.0

(% )		柔道・剣道	空手・合気道	アーチェリー・弓道・射撃など	登山・トレッキング・クライミングなど	キャンプ・釣り	ウォータースポーツ	スキー・スノーボード・スケートなど	レクリエーション	障害者スポーツ	その他	無回答
全体(n=791)		0.9	0.8	0.6	4.8	5.9	0.5	3.9	0.4	0.1	2.4	15.9
性別	男性(n=411)	1.5	1.5	0.5	4.6	8.0	1.0	3.9	0.2	0.2	2.7	13.6
	女性(n=356)	0.3	0.0	0.6	5.1	3.7	0.0	4.2	0.6	0.0	2.2	18.0
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	1.7	0.6	1.1	5.1	4.5	1.7	6.3	0.6	0.0	1.7	14.2
	30歳代(n=94)	2.1	2.1	0.0	6.4	9.6	0.0	6.4	0.0	0.0	3.2	13.8
	40歳代(n=124)	0.8	0.8	0.8	4.8	11.3	0.8	5.6	0.8	0.0	5.6	16.1
	50歳代(n=119)	0.0	0.8	0.0	6.7	5.0	0.0	3.4	0.0	0.8	1.7	16.8
	60歳代(n=136)	0.0	0.0	0.7	4.4	4.4	0.0	2.2	0.0	0.0	1.5	20.6
	70歳以上(n=126)	0.8	0.8	0.8	2.4	3.2	0.0	0.0	0.8	0.0	1.6	12.7

●性別にみると、男女ともに「ウォーキング」の割合が最も高くなっていますが、女性の方8.6ポイント高くなっています。その他にも、「ランニング」、「野球」、「サッカー・フットサル」、「ゴルフ」、「トレーニング」は男性の方が、「健康体操・ラジオ体操」は女性の方が5ポイント以上高くなっています。

●年齢階層別にみると、いずれの年齢階層でも「ウォーキング」の割合が最も高くなっていますが、特に70歳以上の割合が高くなっています。また、10～20歳代の「自転車・サイクリング」の割合が、その他の年齢階層に比べて10ポイント以上高くなっています。

《コロナ拡大後クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

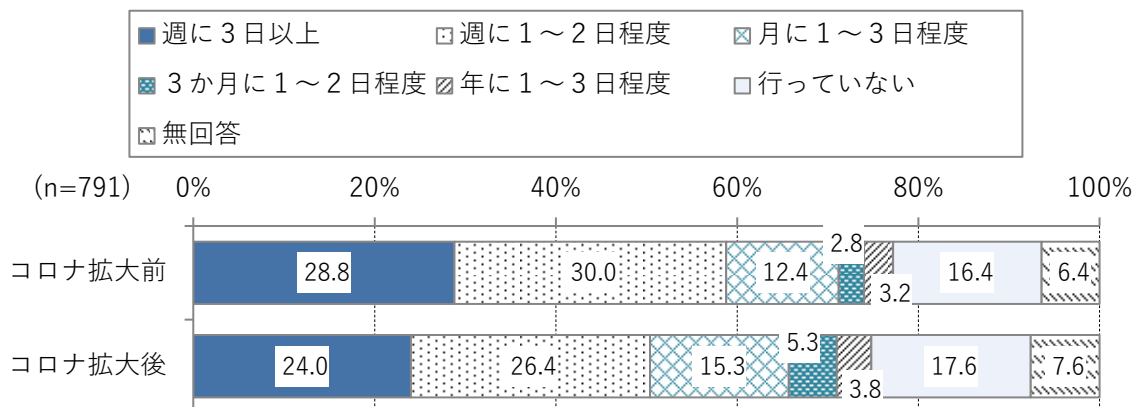
(% )		ウォーキング	階段昇降	ランニング	陸上競技	水泳	野球	ソフトボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	バレーボール	バスケットボール・ドッジボール
全体(n=791)		52.1	16.4	12.3	0.4	2.1	2.0	1.1	3.2	2.7	2.3	1.0	1.1
性別	男性(n=411)	47.4	13.1	17.3	0.5	2.4	3.2	1.5	4.1	2.4	1.7	0.5	1.5
	女性(n=356)	57.9	19.9	6.2	0.3	2.0	0.8	0.8	1.7	2.8	2.5	1.7	0.8
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	51.7	25.0	19.9	0.6	3.4	4.0	2.3	7.4	6.3	4.5	2.3	4.0
	30歳代(n=94)	57.4	9.6	17.0	0.0	0.0	6.4	1.1	0.0	3.2	1.1	1.1	0.0
	40歳代(n=124)	48.4	14.5	10.5	0.8	0.8	0.0	1.6	1.6	1.6	0.8	1.6	1.6
	50歳代(n=119)	53.8	14.3	9.2	0.8	1.7	0.8	1.7	3.4	0.8	1.7	0.0	0.0
	60歳代(n=136)	50.0	14.7	10.3	0.0	3.7	0.7	0.0	1.5	0.7	2.2	0.7	0.0
	70歳以上(n=126)	54.8	14.3	4.0	0.0	2.4	0.8	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0

(% )		ハンドボール	サッカー・フットサル	フットボール・アメリカン	ラグビー・アメリカン	ゲートボール	ゴルフ	自転車・サイクリング	ローラースケート・スケートボードなど	トレーニング	健康体操・ラジオ体操	ダンス	ボウリング	レスリング・相撲・ボクシング
全体(n=791)		0.1	2.8	0.0	0.8	8.0	10.7	0.4	12.1	17.1	0.9	1.1	0.1	
性別	男性(n=411)	0.2	4.6	0.0	0.7	13.9	10.2	0.5	15.1	11.4	0.5	1.5	0.2	
	女性(n=356)	0.0	0.6	0.0	0.8	0.8	11.5	0.3	8.7	22.8	1.4	0.8	0.0	
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	0.6	7.4	0.0	0.0	6.3	21.6	1.1	19.9	8.0	2.3	2.3	0.6	
	30歳代(n=94)	0.0	3.2	0.0	0.0	7.4	9.6	0.0	13.8	8.5	0.0	1.1	0.0	
	40歳代(n=124)	0.0	2.4	0.0	0.8	6.5	10.5	0.0	10.5	20.2	0.8	0.8	0.0	
	50歳代(n=119)	0.0	0.8	0.0	0.0	8.4	8.4	0.0	12.6	15.1	0.8	0.0	0.0	
	60歳代(n=136)	0.0	0.7	0.0	0.0	12.5	6.6	0.0	8.8	24.3	0.7	1.5	0.0	
	70歳以上(n=126)	0.0	0.0	0.0	4.0	6.3	3.2	0.8	4.8	24.6	0.0	0.8	0.0	

(% )		柔道・剣道	空手・合気道	射撃など	アーチェリー・弓道	登山・トレッキングなど	クライミング	キャンプ・釣り	オートキャンプ	ウォータースポーツ	スキー・スノーボード・スケートなど	レクリエーション	障害者スポーツ	その他	無回答
全体(n=791)		0.3	0.5	0.1	3.9	4.3	0.6	2.3	0.3	0.0	2.4	18.5			
性別	男性(n=411)	0.2	1.0	0.2	3.9	6.1	0.2	3.4	0.2	0.0	2.7	18.0			
	女性(n=356)	0.3	0.0	0.0	3.9	2.0	0.8	1.1	0.3	0.0	2.0	19.7			
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	0.6	0.0	0.0	4.0	5.1	1.7	5.7	0.6	0.0	1.1	14.8			
	30歳代(n=94)	1.1	1.1	0.0	4.3	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	14.9			
	40歳代(n=124)	0.0	0.8	0.0	7.3	6.5	0.8	3.2	0.8	0.0	4.8	16.9			
	50歳代(n=119)	0.0	0.8	0.0	4.2	2.5	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	26.1			
	60歳代(n=136)	0.0	0.0	0.0	3.7	2.9	0.0	1.5	0.0	0.0	2.9	16.9			
	70歳以上(n=126)	0.0	0.8	0.8	0.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	23.8			

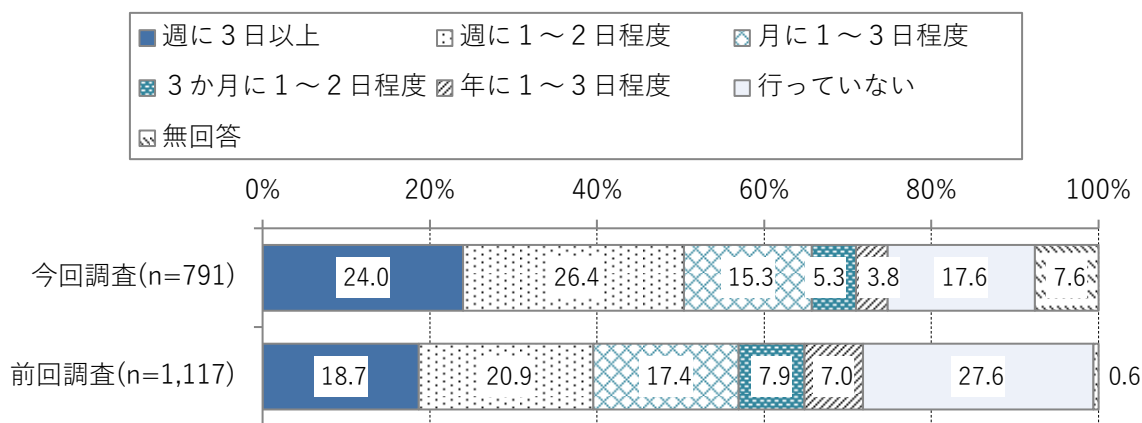
- 性別にみると、男女ともに「ウォーキング」の割合が最も高く、コロナ拡大前と同様の傾向にあります。
- 年齢階層別にみると、コロナ拡大前と同様に、いずれの年齢階層でも「ウォーキング」の割合が最も高くなっていますが、コロナ拡大前と比較すると、10～20歳代では8.9ポイント、40歳代では5.7ポイント高くなっている一方、70歳以上の割合が10.3ポイント低くなっています。

問5 スポーツ・運動はどの程度行いましたか。



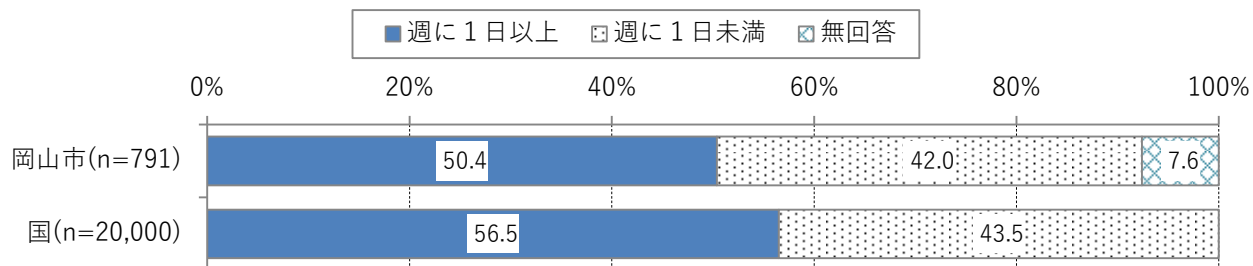
- コロナ拡大前にスポーツ・運動を行っていた頻度について、「週に1～2日程度」と回答した割合が最も高く、30.0%となっています。次いで、「週に3日以上」(28.8%)、「行ってない」(16.4%)と続いています。また、コロナ拡大後にスポーツ・運動を行っていた頻度について、「週に1～2日程度」と回答した割合が最も高く、26.4%となっています。次いで、「週に3日以上」(24.0%)、「行ってない」(17.6%)と続いています。
- コロナ拡大前とコロナ拡大後と比較すると、「週に3日以上」が4.8ポイント、「週に1～2日程度」が3.6ポイント、コロナ拡大後の方が低くなっています。
- 週1日以上スポーツ・運動の実施状況については、コロナ拡大前は58.8%、コロナ拡大後は50.4%となっています。

《前回調査との比較》



- 前回調査と比較すると「週に3日以上」は5.3ポイント、「週に1～2日程度」は5.5ポイント高くなり、「行ってない」は10.0ポイント低くなっています。

《参考：令和3年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（スポーツ庁）結果との比較》

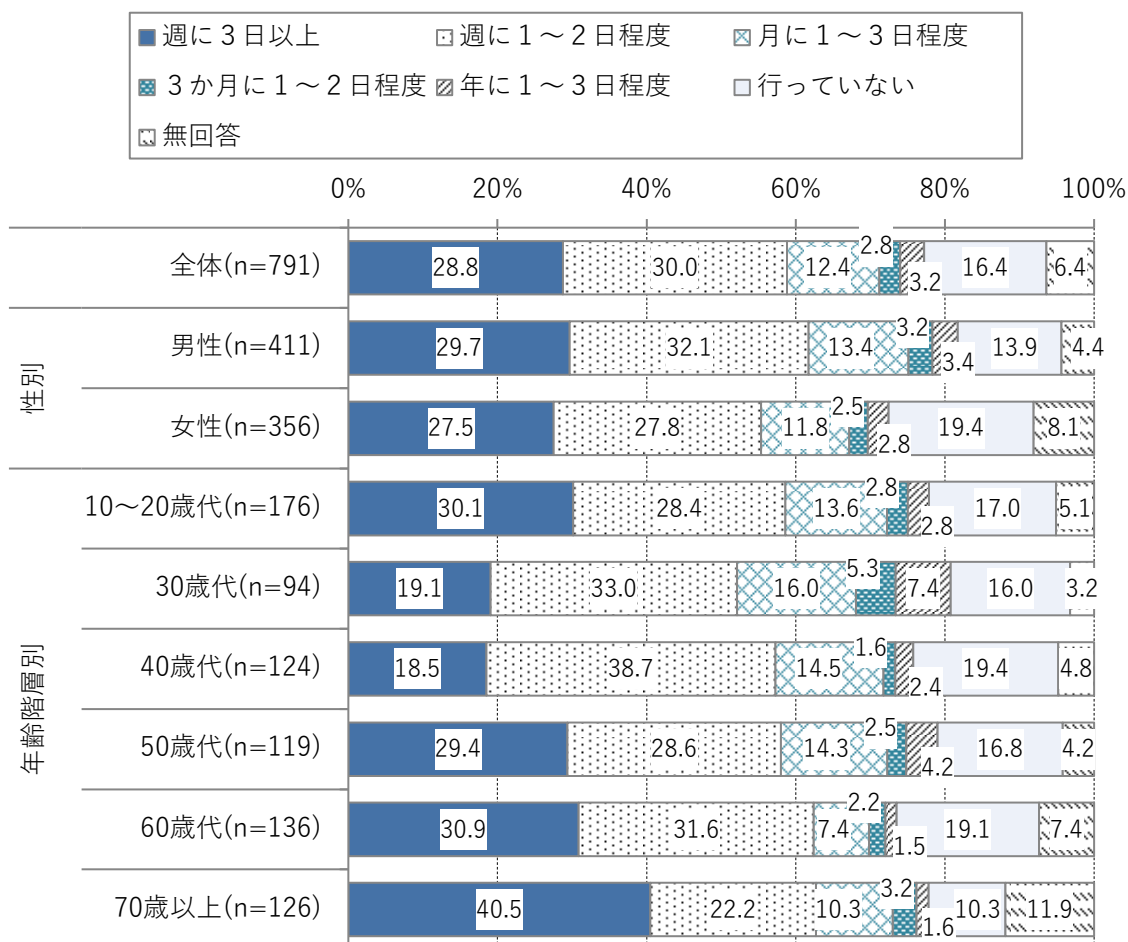


※岡山市の「週に1日以上」は「週に3日以上」と「週に1～2日程度」と回答した割合の和

※国の「週に1日以上」は「週に5日以上（年251日以上）」、「週に3日以上（年151日～250日）」、「週に2日以上（年101日～150日）」、「週に1日以上（年51日～100日）」と回答した割合の和

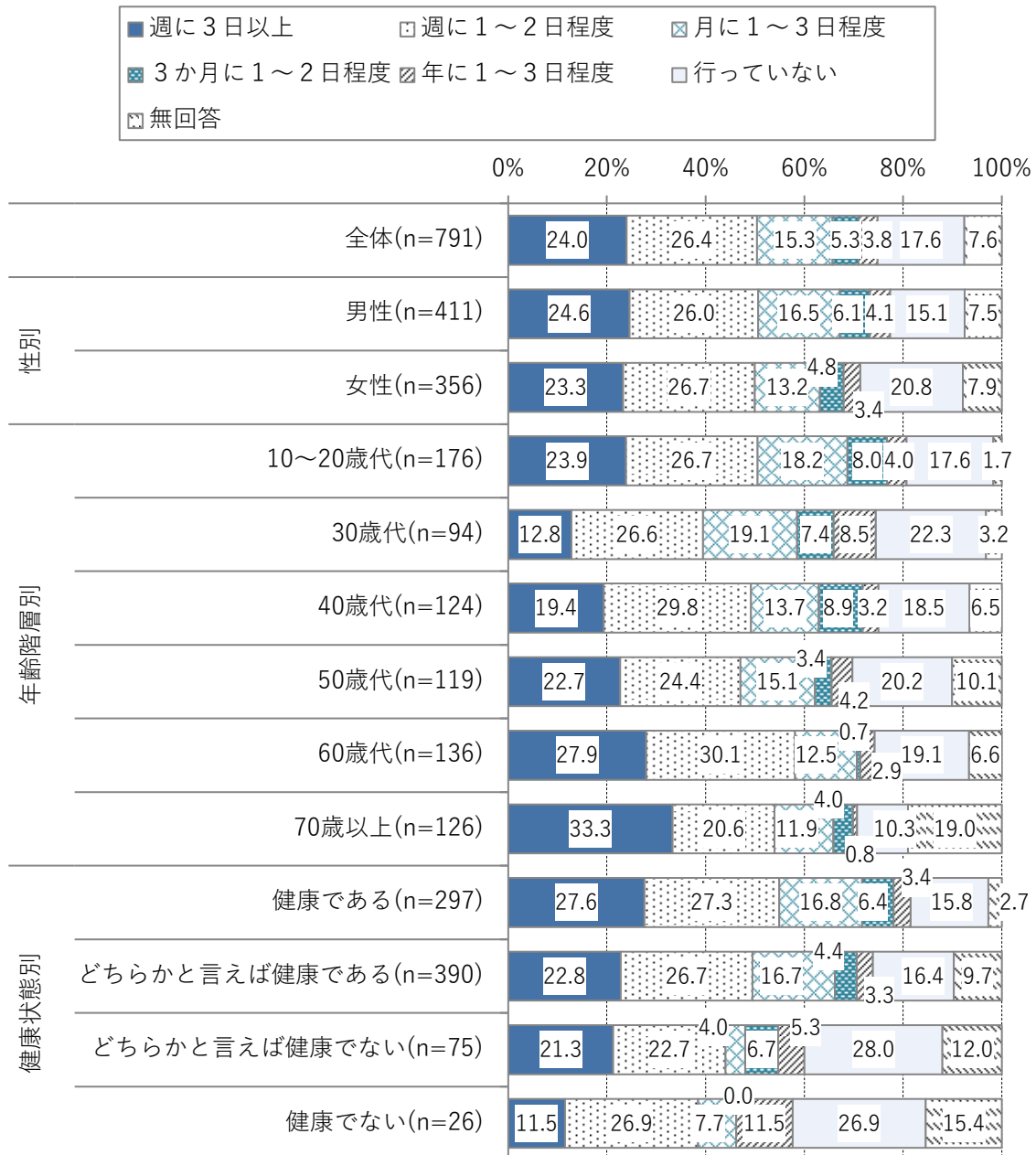
●国と岡山市の調査方法は異なることから単純に比較することは出来ないが、参考に比較してみると、岡山市の「週に1日以上」の割合は50.4%となっており、国より6.1ポイント低くなっています。

《コロナ拡大前クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- 性別にみると、「週に3日以上」、「週に1～2日程度」、「月に1～3日程度」の割合は男性の方が高くなっている一方、「行っていない」の割合は女性の方が高くなっています。
- 年齢階層別にみると、30歳代、40歳代の「週に3日以上」の割合が、その他の年齢階層に比べて低くなっています。

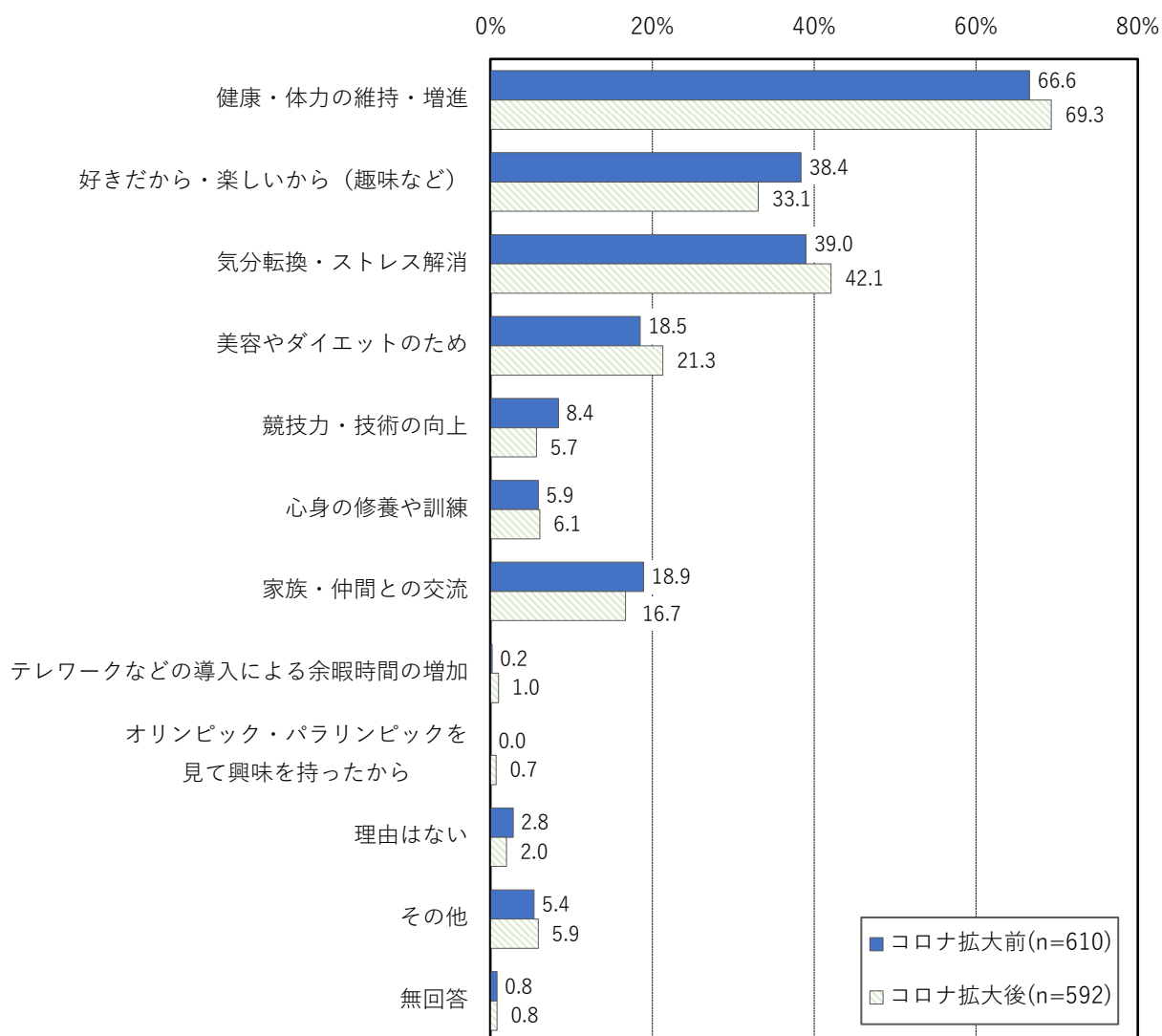
《コロナ拡大後クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- 性別にコロナ拡大前と比較すると、男女ともに「週に3日以上」の割合が低くなっています。
- 年齢階層別にコロナ拡大前と比較すると、「週に3日以上」の割合は、10～20歳代が6.2ポイント、50歳代が7.0ポイント、70歳以上が7.2ポイント低くなっています。
- 健康状態別にみると、健康状態が良いほどスポーツ・運動を行う頻度が高い傾向にあります。

問5 で年に1日以上と回答した方のみ

問6 スポーツ・運動は、どのような理由から行いましたか。(○は複数可)



- コロナ拡大前にスポーツ・運動を行った理由について、「健康・体力の維持・増進」と回答した割合が最も高く、66.6%となっています。次いで、「気分転換・ストレス解消」(39.0%)、「好きだから・楽しいから(趣味など)」(38.4%)と続いています。また、コロナ拡大後にスポーツ・運動を行った理由について、「健康・体力の維持・増進」と回答した割合が最も高く、69.3%となっています。次いで、「気分転換・ストレス解消」(42.1%)、「好きだから・楽しいから(趣味など)」(33.1%)と続いています。
- コロナ拡大前とコロナ拡大後と比較すると、「好きだから・楽しいから」の割合が最も下がっており-5.3ポイントとなっています。次いで「競技力・技術の向上」(-2.7ポイント)、「家族・仲間との交流」(-2.2ポイント)と続いています。一方、「気分転換・ストレス解消」(3.1ポイント)、「美容やダイエットのため」(2.8ポイント)、「健康・体力の維持・増進」(2.7ポイント)は、コロナ拡大後の方が高くなっています。



《コロナ拡大前クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		健康・体力の維持・増進	好きだから・楽しいから	気分転換・ストレス解消	美容やダイエットのため	競技力・技術の向上	心身の修養や訓練	家族・仲間との交流	余暇時間の増加	テレワークなどの導入による	オンラインピック・パラリンピックを見て興味を持ったから	理由はない	その他	無回答
全体(n=610)		66.6	38.4	39.0	18.5	8.4	5.9	18.9	0.2	0.0	2.8	5.4	0.8	
性別	男性(n=336)	68.2	44.3	37.8	13.1	12.5	8.0	17.9	0.3	0.0	3.0	4.5	0.9	
	女性(n=258)	65.1	31.0	39.1	26.0	3.1	3.5	20.5	0.0	0.0	2.7	6.6	0.8	
年齢階層別	10～20歳代(n=137)	46.0	48.9	37.2	16.8	19.7	9.5	21.2	0.7	0.0	2.9	11.7	0.7	
	30歳代(n=76)	53.9	47.4	32.9	15.8	5.3	6.6	22.4	0.0	0.0	5.3	7.9	0.0	
	40歳代(n=94)	64.9	41.5	42.6	29.8	7.4	9.6	24.5	0.0	0.0	1.1	3.2	0.0	
	50歳代(n=94)	78.7	39.4	39.4	26.6	5.3	3.2	14.9	0.0	0.0	1.1	4.3	0.0	
	60歳代(n=100)	78.0	36.0	42.0	15.0	5.0	3.0	12.0	0.0	0.0	2.0	3.0	2.0	
	70歳以上(n=98)	82.7	16.3	35.7	8.2	2.0	3.1	19.4	0.0	0.0	5.1	1.0	2.0	

- 性別にみると、「好きだから・楽しいから」、「競技力・技術の向上」の割合は男性の方が、「美容やダイエットのため」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、年齢階層があがるにつれて、「健康・体力の維持・増進」の割合は概ね高くなっています。また、10～20歳代、30歳代の「好きだから・楽しいから」、10～20歳代から40歳代の「家族・仲間との交流」、40歳代、50歳代の「美容やダイエットのため」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

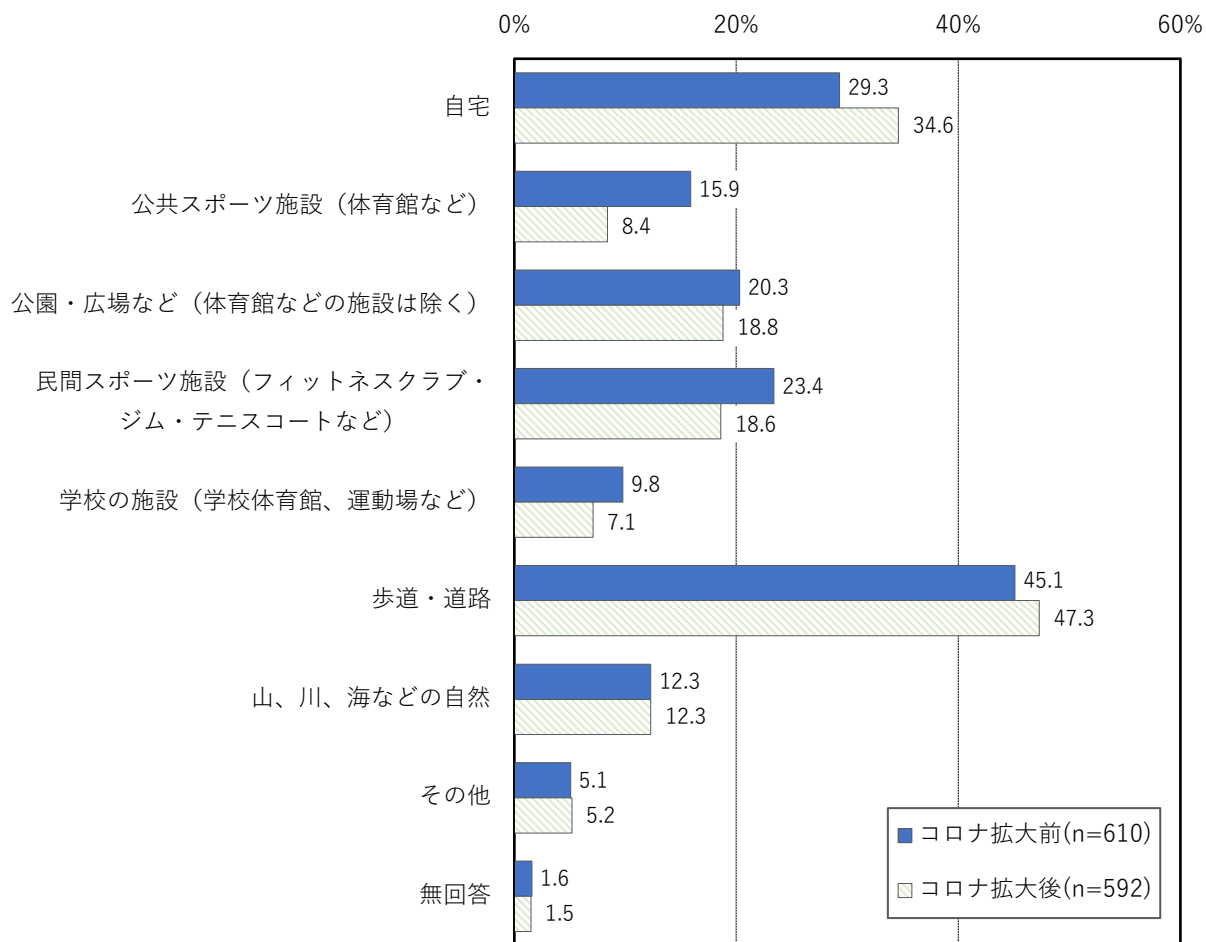
《コロナ拡大後クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		健康・体力の維持・増進	好きだから・楽しいから	気分転換・ストレス解消	美容やダイエットのため	競技力・技術の向上	心身の修養や訓練	家族・仲間との交流	余暇時間の増加	テレワークなどの導入による	オンラインピック・パラリンピックを見て興味を持ったから	理由はない	その他	無回答
全体(n=592)		69.3	33.1	42.1	21.3	5.7	6.1	16.7	1.0	0.7	2.0	5.9	0.8	
性別	男性(n=318)	69.2	41.8	39.0	15.4	9.4	7.5	14.5	0.9	0.6	2.2	5.0	0.6	
	女性(n=254)	69.7	22.8	44.9	28.7	1.2	4.7	19.7	1.2	0.8	2.0	6.7	1.2	
年齢階層別	10～20歳代(n=142)	54.2	39.4	46.5	23.2	9.9	8.5	16.9	2.8	0.7	2.1	12.0	0.0	
	30歳代(n=70)	62.9	37.1	31.4	24.3	4.3	5.7	21.4	0.0	1.4	4.3	7.1	0.0	
	40歳代(n=93)	65.6	34.4	47.3	32.3	7.5	10.8	20.4	0.0	1.1	1.1	3.2	1.1	
	50歳代(n=83)	78.3	36.1	38.6	22.9	3.6	2.4	10.8	2.4	1.2	0.0	4.8	0.0	
	60歳代(n=101)	75.2	34.7	42.6	14.9	4.0	4.0	9.9	0.0	0.0	3.0	5.0	3.0	
	70歳以上(n=89)	85.4	14.6	37.1	9.0	2.2	4.5	22.5	0.0	0.0	2.2	1.1	1.1	

- 性別にコロナ拡大前と比較すると、女性の「好きだから・楽しいから」の割合が8.2ポイント低くなり、「気分転換・ストレス解消」の割合は5.8ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にコロナ拡大前と比較すると、10～20歳代の「健康・体力の維持・増進」、「気分転換・ストレス解消」、「美容やダイエットのため」、30歳代の「健康・体力の維持・増進」の割合が5ポイント以上高くなっています。一方、10～20歳代の「好きだから・楽しいから」、「競技力・技術の向上」、30歳代の「好きだから・楽しいから」、40歳代の「好きだから・楽しいから」の割合が5ポイント以上低くなっています。

問5 で年に1日以上と回答した方のみ

問7 スポーツ・運動は、主にどの場所で行いましたか。(〇は複数可)



- コロナ拡大前にスポーツ・運動を行った場所について、「歩道・道路」と回答した割合が最も高く、45.1%となっています。次いで、「自宅」(29.3%)、「民間スポーツ施設 (フィットネスクラブ・ジム・テニスコートなど)」(23.4%)と続いています。コロナ拡大後にスポーツ・運動を行った場所について、「歩道・道路」と回答した割合が最も高く、47.3%となっています。次いで、「自宅」(34.6%)、「公園・広場など (体育館などの施設は除く)」(18.8%)と続いています。
- コロナ拡大前とコロナ拡大後と比較すると、「公共スポーツ施設 (体育館など)」の割合が最も下がっており-7.5ポイントとなっています。次いで「民間スポーツ施設 (フィットネスクラブ・ジム・テニスコートなど)」(-4.8ポイント)、「学校の施設 (学校体育館、運動場など)」(-2.7ポイント)と続いています。一方、「自宅」(5.3ポイント)、「歩道・道路」(2.2ポイント)は、コロナ拡大前に比べてコロナ拡大後の方が高くなっています。

《コロナ拡大前クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		自宅	公共スポーツ施設	公園・広場など	民間スポーツ施設	学校の施設	歩道・道路	山、川、海などの自然	その他	無回答
全体(n=791)		29.3	15.9	20.3	23.4	9.8	45.1	12.3	5.1	1.6
性別	男性(n=336)	28.3	17.6	22.9	23.8	12.5	43.5	12.8	3.9	1.8
	女性(n=258)	31.4	13.6	17.8	22.5	6.2	47.7	12.0	6.6	1.6
年齢階層別	10～20歳代(n=137)	29.2	21.9	21.2	27.7	25.5	43.1	8.8	3.6	0.7
	30歳代(n=76)	25.0	18.4	34.2	22.4	13.2	52.6	15.8	5.3	1.3
	40歳代(n=94)	30.9	13.8	25.5	20.2	7.4	41.5	16.0	4.3	0.0
	50歳代(n=94)	24.5	12.8	17.0	23.4	3.2	46.8	18.1	3.2	0.0
	60歳代(n=100)	29.0	13.0	13.0	27.0	2.0	45.0	14.0	5.0	6.0
	70歳以上(n=98)	37.8	13.3	15.3	15.3	2.0	44.9	5.1	10.2	2.0

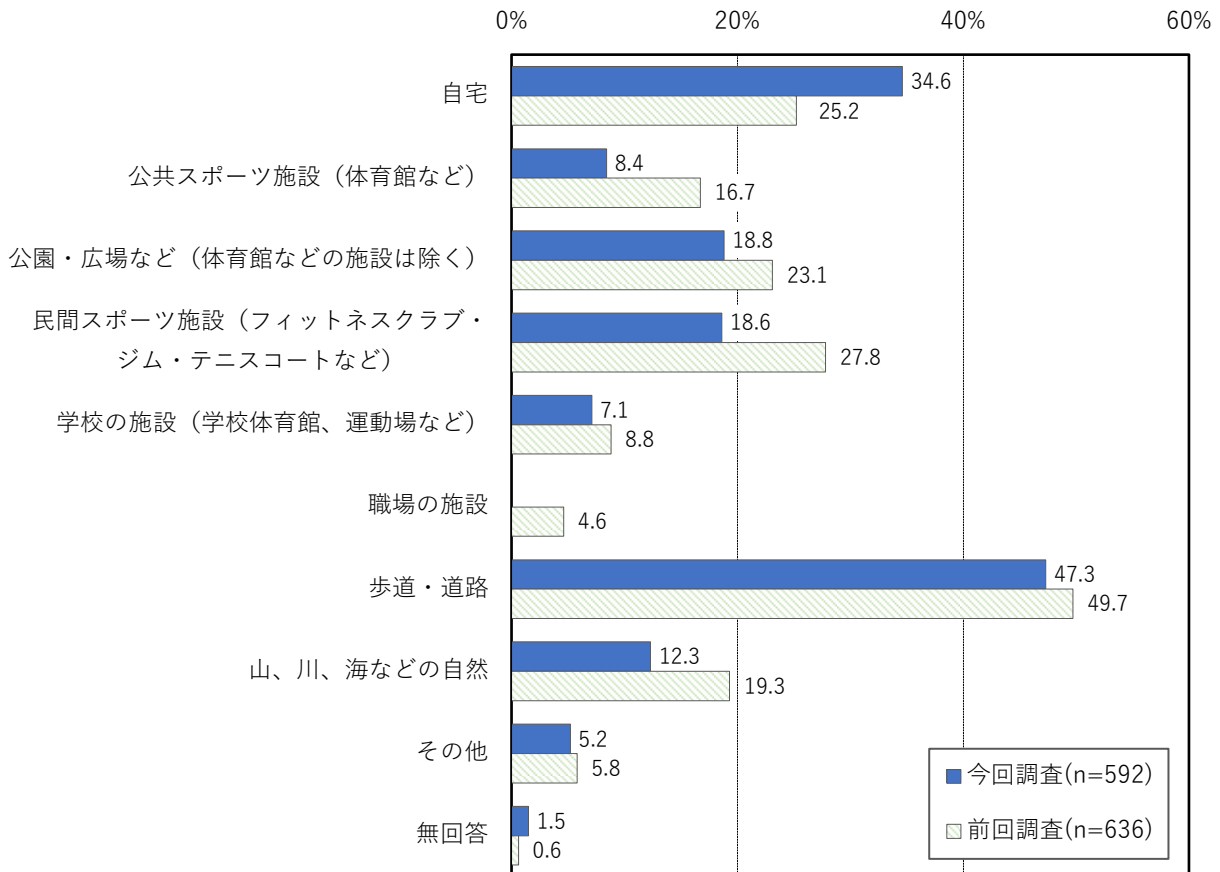
- 性別にみると、男性の「学校の施設」の割合は、女性に比べて5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10～20歳代の「学校の施設」、30歳代の「公園・広場など」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

《コロナ拡大後クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		自宅	公共スポーツ施設	公園・広場など	民間スポーツ施設	学校の施設	歩道・道路	山、川、海などの自然	その他	無回答
全体(n=592)		34.6	8.4	18.8	18.6	7.1	47.3	12.3	5.2	1.5
性別	男性(n=318)	33.6	11.0	20.4	22.0	9.1	44.7	13.8	4.1	1.3
	女性(n=254)	37.0	3.9	17.3	14.2	4.7	50.4	10.6	6.3	2.0
年齢階層別	10～20歳代(n=142)	35.2	8.5	20.4	23.2	17.6	48.6	10.6	2.8	1.4
	30歳代(n=70)	32.9	11.4	27.1	12.9	8.6	52.9	12.9	2.9	0.0
	40歳代(n=93)	33.3	5.4	21.5	15.1	5.4	47.3	15.1	4.3	1.1
	50歳代(n=83)	32.5	6.0	16.9	18.1	2.4	44.6	14.5	3.6	1.2
	60歳代(n=101)	34.7	8.9	11.9	25.7	1.0	43.6	16.8	6.9	3.0
	70歳以上(n=89)	40.4	9.0	16.9	10.1	2.2	46.1	5.6	12.4	2.2

- 性別にコロナ拡大前と比較すると、5ポイント以上、男女ともに「自宅」の割合が高く、「公共スポーツ施設」の割合が低くなっていますが、女性の「民間スポーツ施設」の割合も5ポイント以上低くなっています。
- 年齢階層別にコロナ拡大前と比較すると、いずれの年齢階層でも「公共スポーツ施設」の割合が低くなっていますが、特に10～20歳代の割合の低下が著しくなっています。

《前回調査との比較》

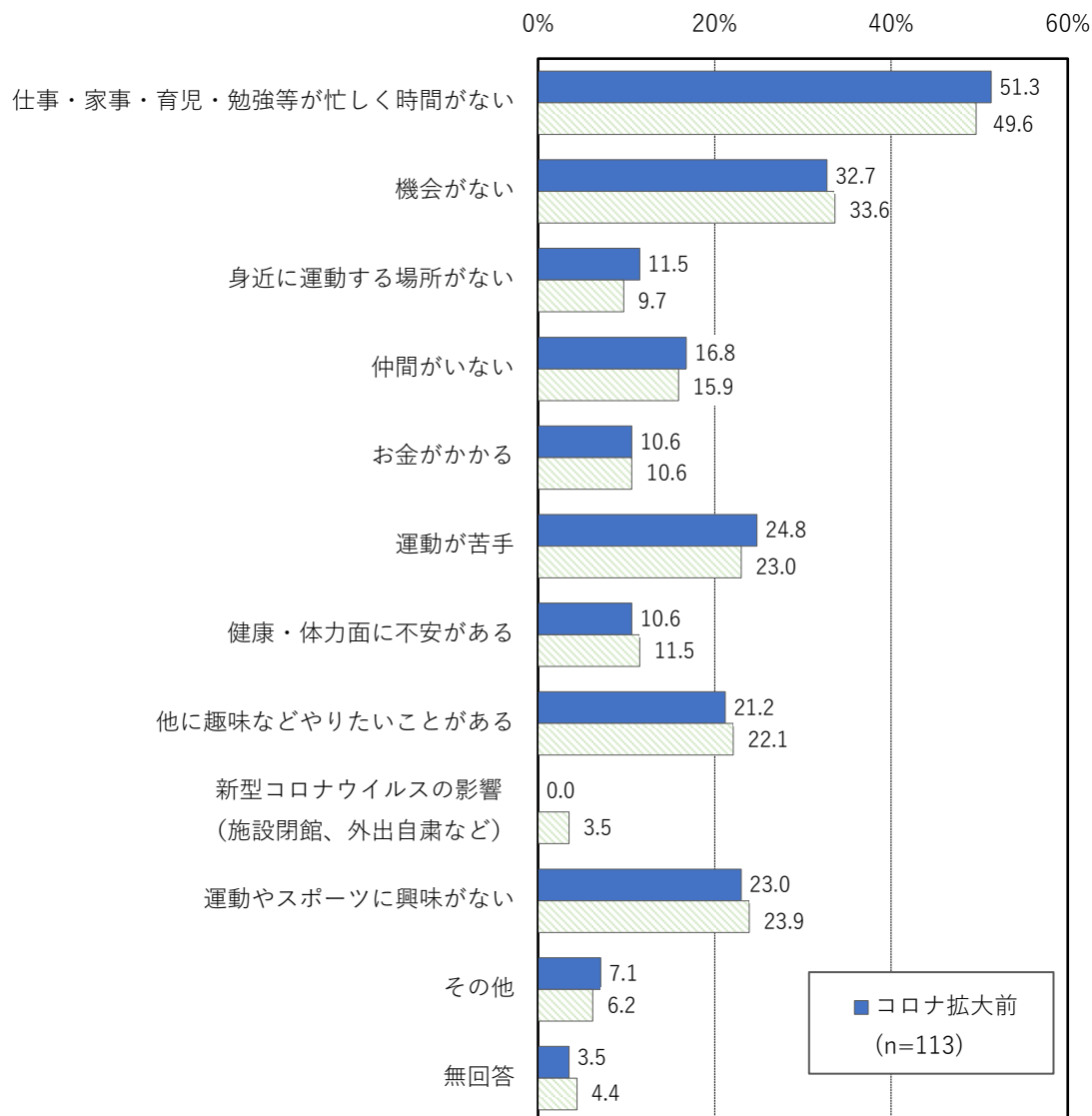


※「職場の施設」は今回調査から追加

●前回調査と比較すると、「自宅」は 9.4 ポイント高くなっていますが、それ以外の項目については低くなっています。

問5でコロナ拡大前、後ともに「行っていない」と回答した方のみ

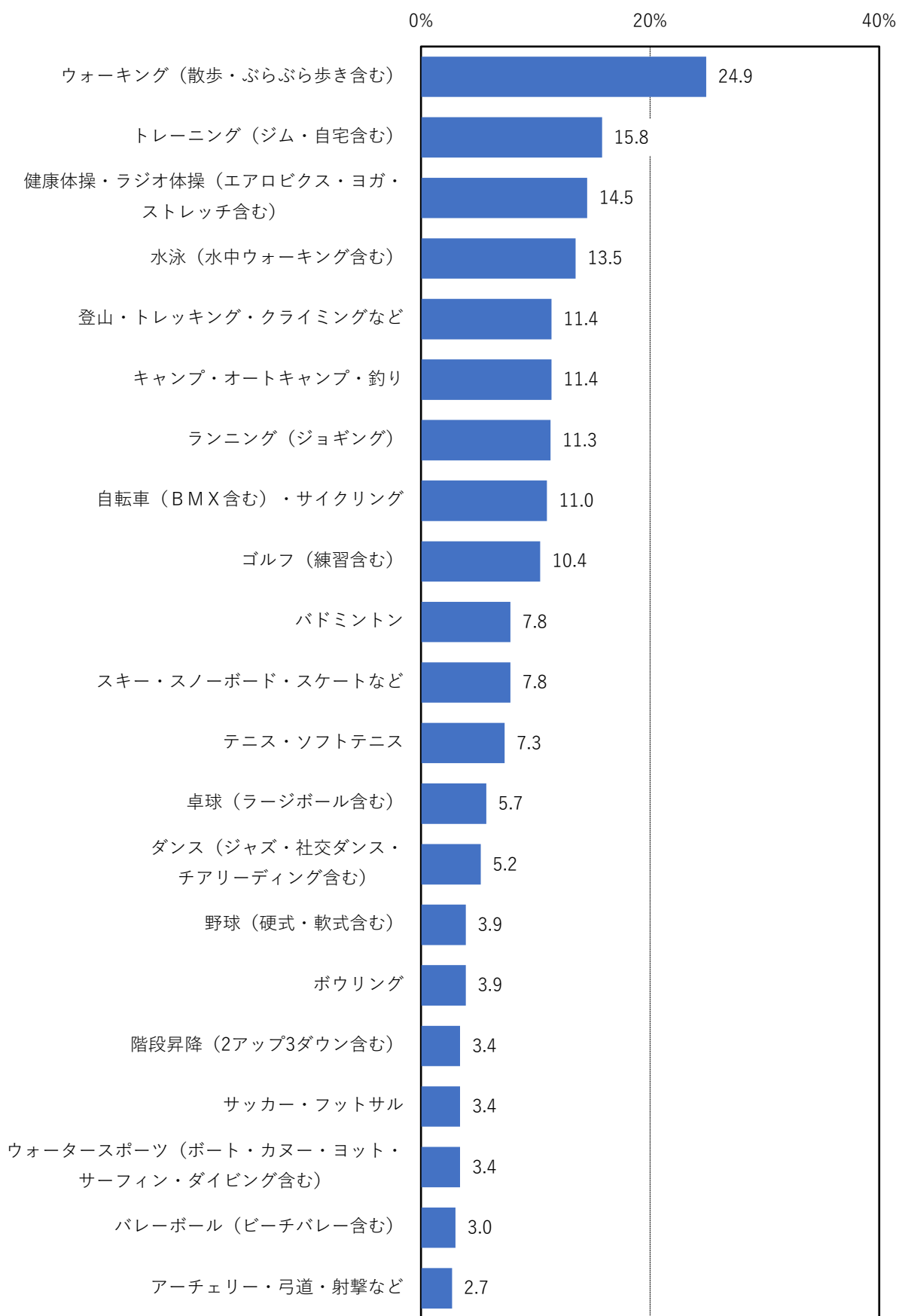
問8 スポーツ・運動をあまり行わなかった又は行わなかった理由は何ですか。(○は複数可)



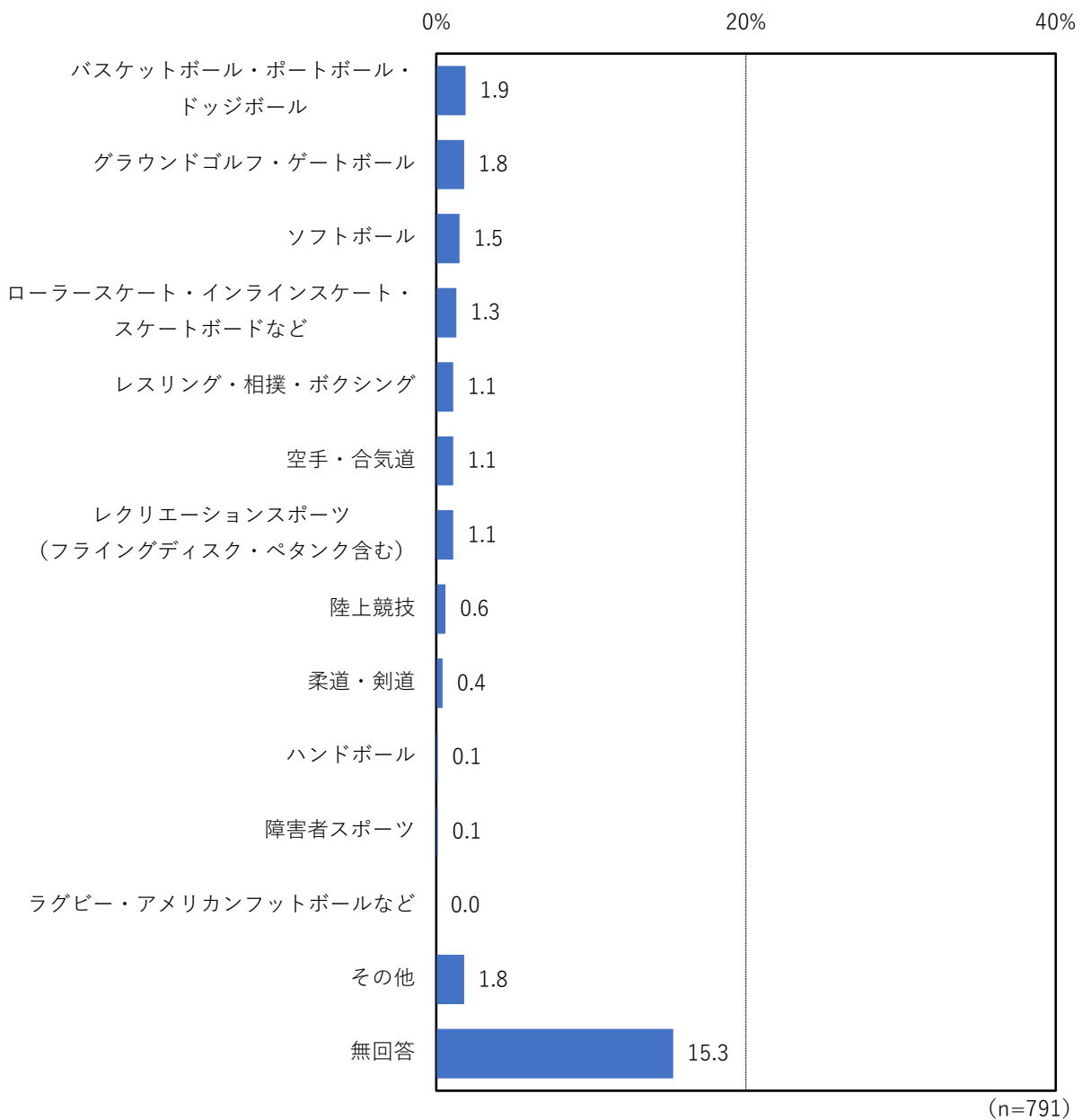
●コロナ拡大前にスポーツ・運動を行わなかった理由について、「仕事・家事・育児・勉強等が忙しく時間がない」と回答した割合が最も高く、51.3%となっています。次いで、「機会がない」(32.7%)、「運動が苦手」(24.8%)と続いています。また、コロナ拡大後にスポーツ・運動を行わなかった理由について、「仕事・家事・育児が忙しく時間がない」と回答した割合が最も高く、49.6%となっています。次いで、「機会がない」(33.6%)、「運動やスポーツに興味がない」(23.9%)と続いており、「新型コロナウイルスの影響(施設閉館、外出自粛など)」は3.5%となっています。

●コロナ拡大前とコロナ拡大後と比較しても、大きな差はみられません。

問9 今後、行ってみたいスポーツ・運動種目はどの種目ですか。「問4」の選択肢から3つまで番号を選んでください。



(n=791)



●今後、行ってみたいスポーツ・運動種目について、「ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き含む)」と回答した割合が最も高く、24.9%となっています。次いで、「トレーニング (ジム・自宅含む)」(15.8%)、「健康体操・ラジオ体操 (エアロビクス・ヨガ・ストレッチ含む)」(14.5%)と続いています。



《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

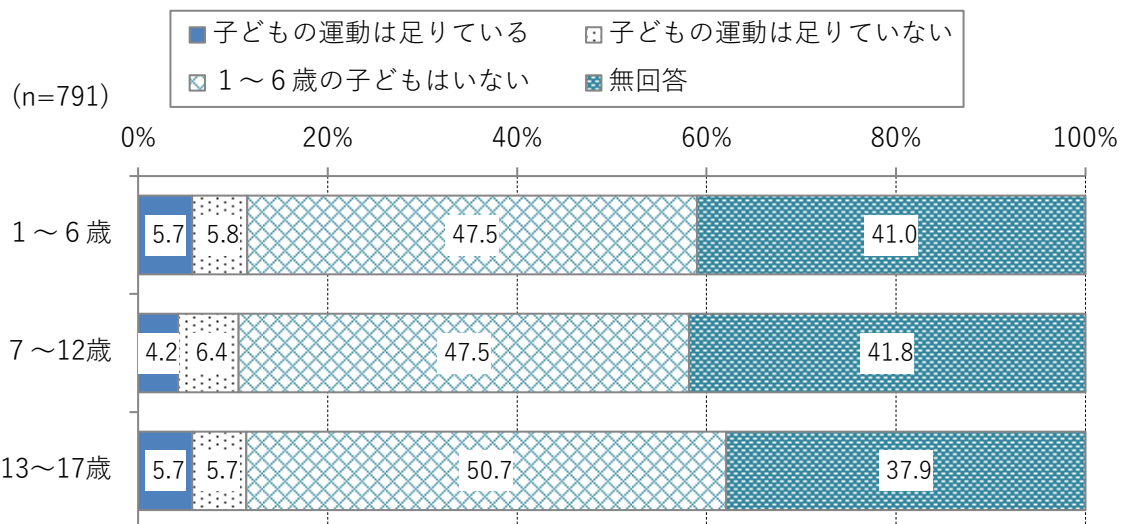
(%)		ウォーキング	階段昇降	ランニング	陸上競技	水泳	野球	ソフトボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	バレーボール	バスケットボール・ドッジボール・ボート
全体(n=791)		24.9	3.4	11.3	0.6	13.5	3.9	1.5	7.3	7.8	5.7	3.0	1.9
性別	男性(n=411)	21.2	3.2	11.4	0.7	12.2	7.1	2.4	8.8	5.6	6.3	2.4	3.2
	女性(n=356)	29.2	3.9	10.4	0.6	15.7	0.6	0.6	6.2	9.8	5.3	3.9	0.6
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	15.3	2.3	7.4	0.6	14.2	7.4	2.8	6.8	17.0	6.3	7.4	4.5
	30歳代(n=94)	25.5	3.2	21.3	1.1	11.7	7.4	1.1	5.3	8.5	5.3	2.1	3.2
	40歳代(n=124)	25.8	2.4	10.5	0.8	17.7	3.2	1.6	11.3	3.2	0.8	2.4	2.4
	50歳代(n=119)	31.9	0.8	15.1	0.0	14.3	5.0	0.8	10.1	6.7	7.6	2.5	0.8
	60歳代(n=136)	27.2	2.2	10.3	1.5	11.8	0.7	1.5	8.1	2.2	6.6	1.5	0.0
	70歳以上(n=126)	29.4	10.3	6.3	0.0	11.9	0.0	0.8	3.2	5.6	7.9	0.8	0.0

(%)		ハンドボール	サッカー・フットサル	ラグビー・アメリカンなど	グラウンドゴルフ・ゲートボール	ゴルフ	自転車・サイクリング	ローラースケート・スケートボードなど	トレーニング	健康体操・ラジオ体操	ダンス	ボウリング	レスリング・相撲・ボクシング
全体(n=791)		0.1	3.4	0.0	1.8	10.4	11.0	1.3	15.8	14.5	5.2	3.9	1.1
性別	男性(n=411)	0.2	5.1	0.0	2.2	15.6	14.4	1.5	12.7	7.8	2.2	4.4	1.7
	女性(n=356)	0.0	0.8	0.0	1.1	3.9	7.6	1.1	19.9	22.5	9.0	3.1	0.6
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	0.6	5.7	0.0	0.0	9.1	8.5	2.3	15.9	8.5	12.5	4.5	2.8
	30歳代(n=94)	0.0	7.4	0.0	0.0	17.0	9.6	1.1	23.4	13.8	7.4	0.0	1.1
	40歳代(n=124)	0.0	4.0	0.0	0.8	8.9	14.5	2.4	17.7	14.5	2.4	2.4	1.6
	50歳代(n=119)	0.0	2.5	0.0	1.7	7.6	10.1	0.8	19.3	17.6	5.0	5.0	0.8
	60歳代(n=136)	0.0	0.0	0.0	2.9	16.2	13.2	0.0	11.0	19.9	2.2	4.4	0.0
	70歳以上(n=126)	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	11.9	0.8	10.3	14.3	0.0	5.6	0.0

(%)		柔道・剣道	空手・合気道	アーチェリー・弓道・射撃など	登山・トレッキング・クライミングなど	キャンプ・釣り	ウォータースポーツ	スキー・スノーボード・スケートなど	ツレクリエーションスポーツ	障害者スポーツ	その他	無回答
全体(n=791)		0.4	1.1	2.7	11.4	11.4	3.4	7.8	1.1	0.1	1.8	15.3
性別	男性(n=411)	0.2	1.9	2.2	10.5	11.2	3.2	8.3	1.0	0.2	1.9	16.5
	女性(n=356)	0.6	0.3	3.1	12.4	11.5	3.7	7.3	1.4	0.0	1.7	13.8
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	1.1	1.1	5.1	11.4	18.8	7.4	18.2	0.0	0.0	0.6	8.0
	30歳代(n=94)	1.1	4.3	2.1	10.6	17.0	4.3	8.5	1.1	0.0	1.1	4.3
	40歳代(n=124)	0.0	2.4	2.4	16.9	12.1	2.4	8.9	0.8	0.0	1.6	15.3
	50歳代(n=119)	0.0	0.0	3.4	11.8	5.0	3.4	3.4	1.7	0.8	4.2	7.6
	60歳代(n=136)	0.0	0.0	1.5	9.6	8.1	1.5	3.7	2.2	0.0	1.5	19.1
	70歳以上(n=126)	0.0	0.0	0.8	7.9	4.8	0.0	0.0	1.6	0.0	2.4	36.5

- 性別にみると、「野球」、「ゴルフ」、「自転車・サイクリング」の割合は男性の方が、「ウォーキング」、「トレーニング」、「健康体操・ラジオ体操」、「ダンス」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10～20歳代の「バドミントン」、「スキー・スノーボード・スケートなど」、30歳代の「ランニング」は、10～20歳代及び30歳代の「キャンプ・オートキャンプ・釣り」、40歳代の「登山・トレッキング・クライミングなど」、30歳代及び60歳代の「ゴルフ」、70歳以上の「階段昇降」の割合などが、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

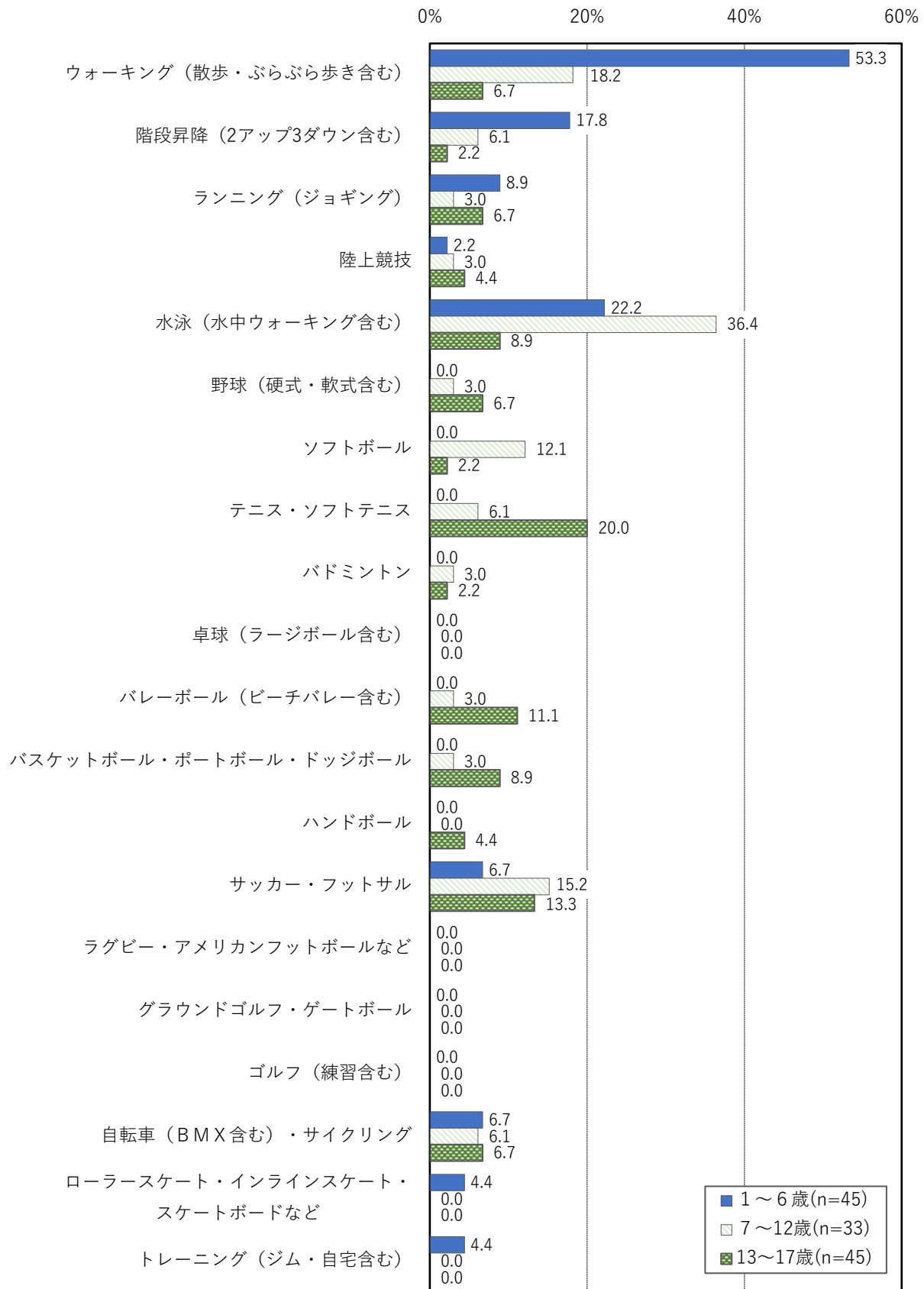
問10 お子様のスポーツ・運動について、どのように感じていますか。

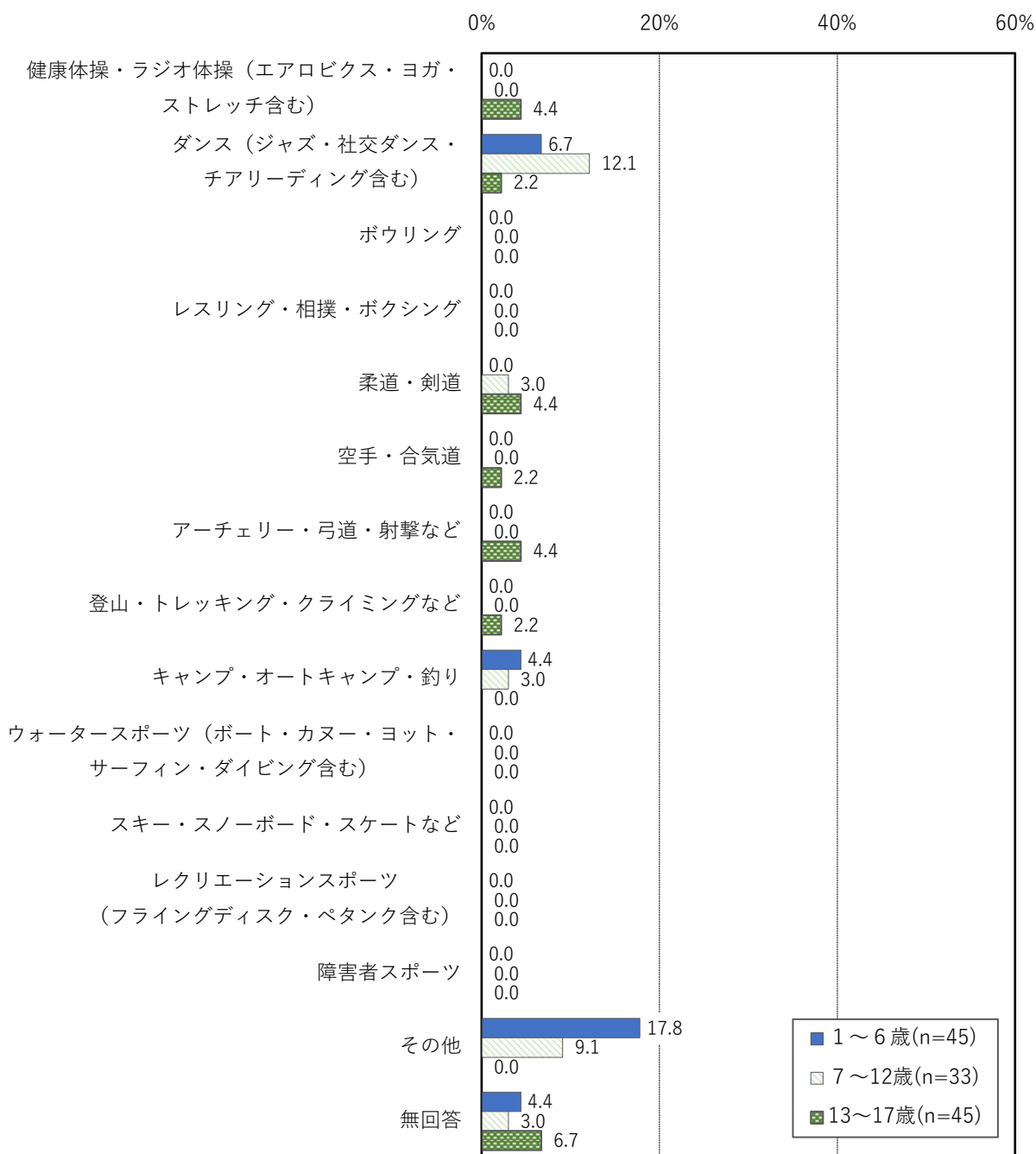


- 1～6歳のお子様のスポーツ・運動について、「子どもの運動は足りている」と回答した割合は5.7%となっています。一方、「子どもの運動は足りていない」と回答した割合は5.8%となっています。
- 7～12歳のお子様のスポーツ・運動について、「子どもの運動は足りている」と回答した割合は4.2%となっています。一方、「子どもの運動は足りていない」と回答した割合は6.4%となっています。
- 13～17歳について、「子どもの運動は足りている」と回答した割合は5.7%となっています。一方、「子どもの運動は足りていない」と回答した割合は5.7%となっています。

問10で「子どもの運動は足りている」を選んだお子様についてお聞きします

問11 どのようなスポーツ・運動をしていますか。「問4」の選択肢から3つまで番号を選んでください。

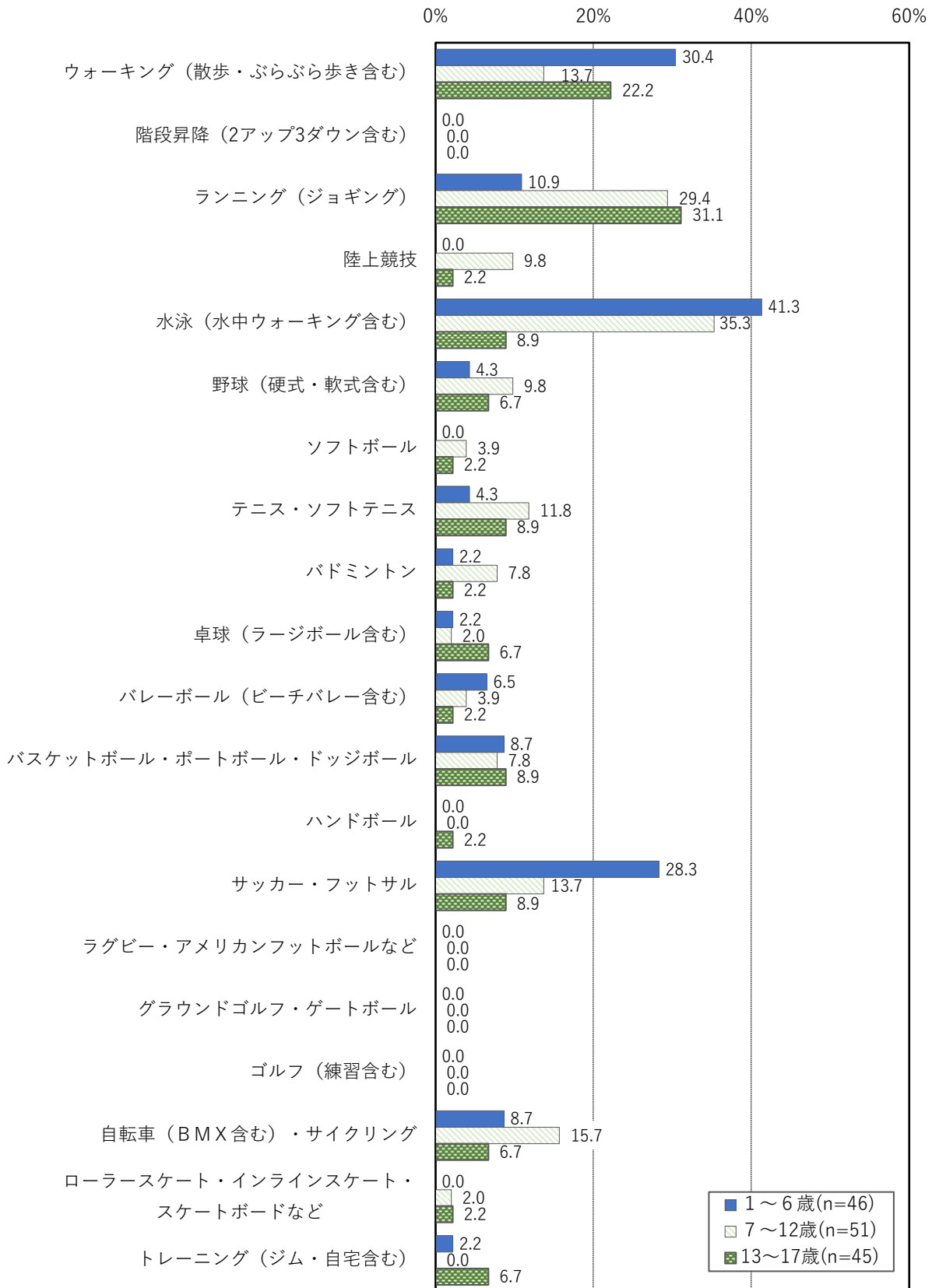


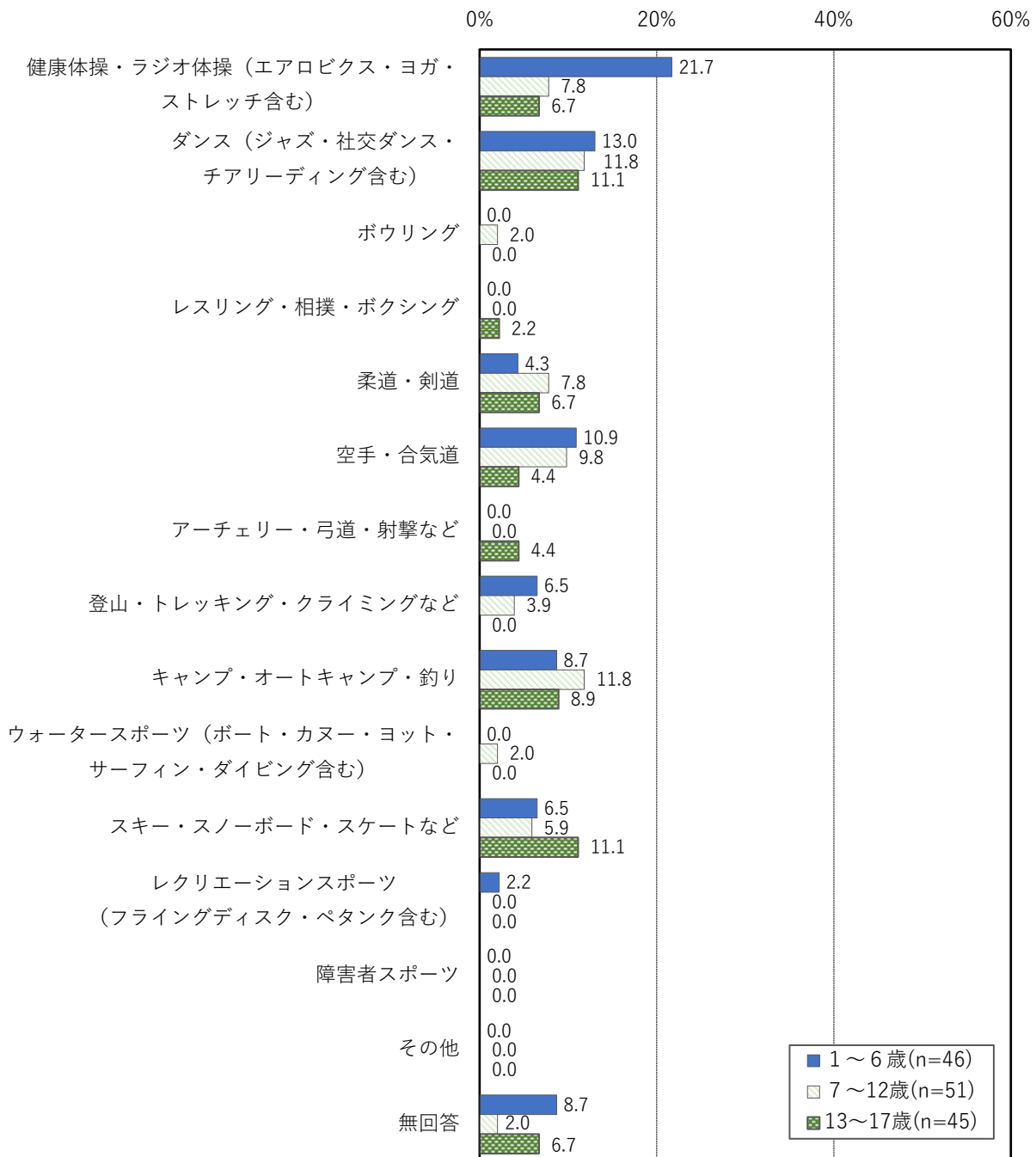


- 1～6歳の子どもが行っているスポーツ・運動について、「ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き含む)」と回答した割合が最も高く、53.3%となっています。次いで、「水泳 (水中ウォーキング含む)」(22.2%)、「階段昇降 (2 アップ 3 ダウン含む)」(17.8%)と続いています。
- 7～12歳の子どもが行っているスポーツ・運動について、「水泳 (水中ウォーキング含む)」と回答した割合が最も高く、36.4%となっています。次いで、「ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き含む)」(18.2%)、「サッカー・フットサル」(15.2%)と続いています。
- 13～17歳の子どもが行っているスポーツ・運動について、「テニス・ソフトテニス」と回答した割合が最も高く、20.0%となっています。次いで、「サッカー・フットサル」(13.3%)、「バレーボール (ビーチバレー含む)」(11.1%)と続いています。

問10で「子どもの運動は足りていない」と回答した方のみ

問12 どのようなスポーツ・運動をしてほしいですか。「問4」の選択肢から3つまで番号を選んでください。

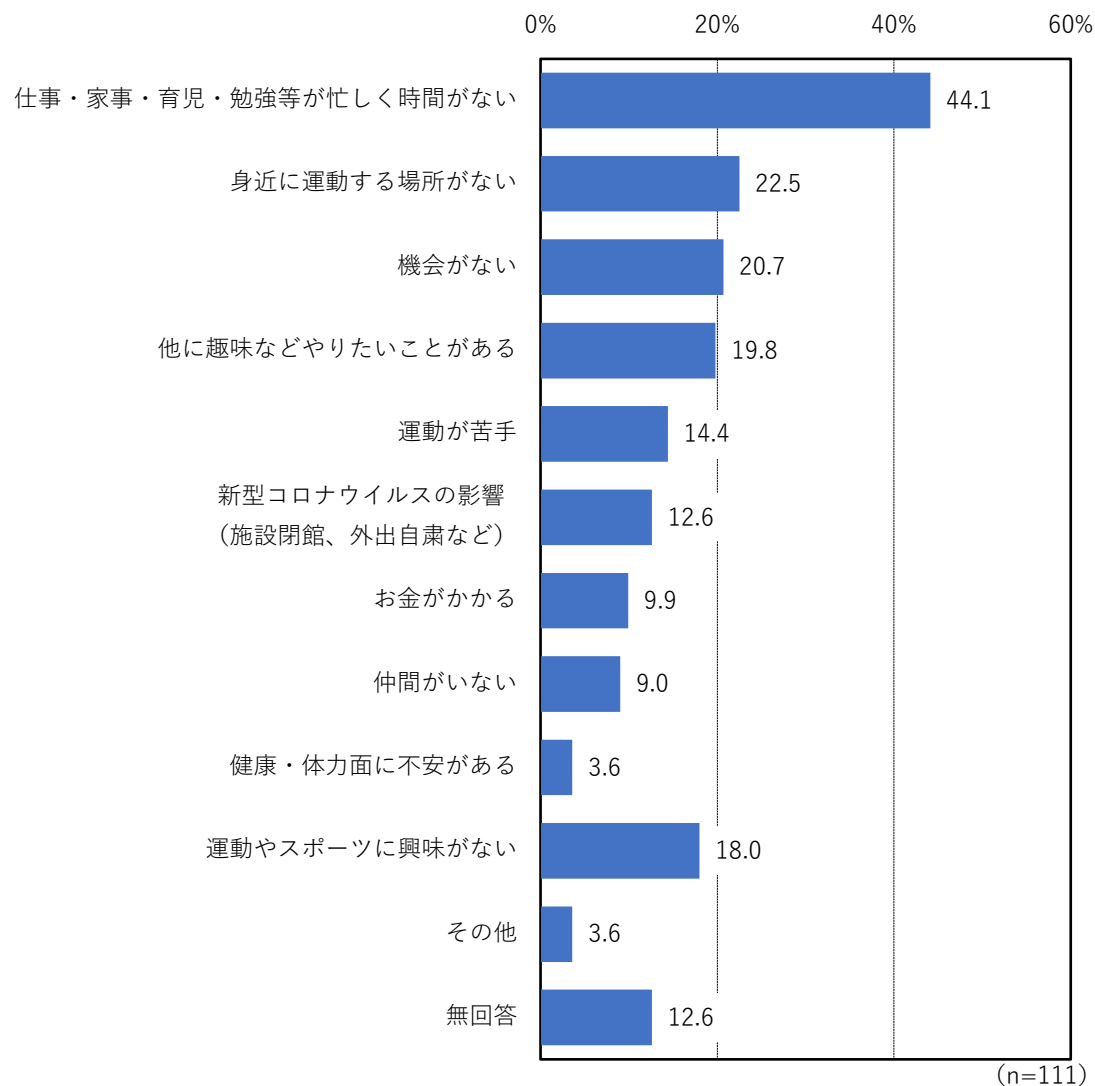




- 今後、1～6歳の子どもにしてほしいスポーツ・運動について、「水泳（水中ウォーキング含む）」と回答した割合が最も高く、41.3%となっています。次いで、「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き含む）」（30.4%）、「サッカー・フットサル」（28.3%）と続いています。
- 今後、7～12歳の子どもにしてほしいスポーツ・運動について、「水泳（水中ウォーキング含む）」と回答した割合が最も高く、35.3%となっています。次いで、「ランニング（ジョギング）」（29.4%）、「自転車（BMX含む）・サイクリング」（15.7%）と続いています。
- 今後、13～17歳の子どもにしてほしいスポーツ・運動について、「ランニング（ジョギング）」と回答した割合が最も高く、31.1%となっています。次いで、「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き含む）」（22.2%）、「ダンス（ジャズ・社交ダンス・チアリーディング含む）」（11.1%）と続いています。
- 1～6歳と7～12歳ともに「水泳（水中ウォーキング含む）」の割合が最も高くなっています。

問10で「子どもの運動は足りていない」と回答した方のみ

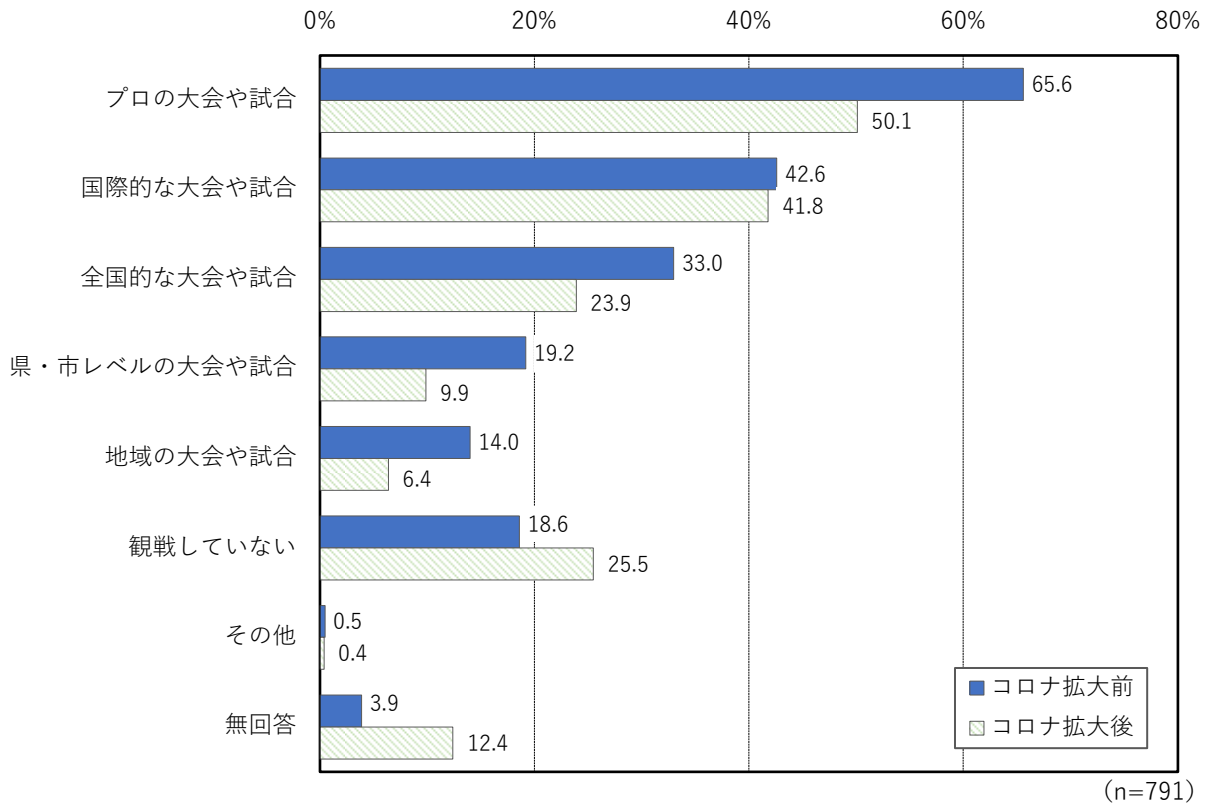
問13 運動が足りていない1～17歳のお子様が、スポーツ・運動が足りていない、もしくはさせられない理由は何ですか。「問8」の選択肢から3つまで番号を選んでください。



●子どものスポーツ・運動が足りていない、もしくはさせられない理由について、「仕事・家事・育児・勉強等が忙しく時間がない」と回答した割合が最も高く、44.1%となっています。次いで、「身近に運動する場所がない」(22.5%)、「機会がない」(20.7%)と続いています。

## 4. スポーツ・運動への関わり方について

問 14 どのような大会や試合を観戦したことがありますか。(テレビ・インターネット観戦を含む)  
(○は複数可)



- コロナ拡大前に観戦したことがある大会や試合について、「観戦していない」と回答した割合は18.6%となっています。これと無回答(3.9%)を除く77.5%は何らかの大会や試合を観戦したことがあると回答しています。その内容として「プロの大会や試合」と回答した割合が最も高く、65.6%となっています。次いで、「国際的な大会や試合」(42.6%)、「全国的な大会や試合」(33.0%)と続いています。また、コロナ拡大後に観戦したことがある大会や試合について、「観戦していない」と回答した割合は25.5%となっています。これと無回答(12.4%)を除く62.1%は何らかの大会や試合を観戦したことがあると回答しています。その内容として「プロの大会や試合」と回答した割合が最も高く、50.1%となっています。次いで、「国際的な大会や試合」(41.8%)、「全国的な大会や試合」(23.9%)と続いています。
- コロナ拡大前とコロナ拡大後を比較すると、「国際的な大会や試合」は微減にとどまっているものの、その他の大会や試合の観戦する機会は減少しています。その中で、「プロの大会や試合」の割合が最も下がっており-15.5ポイントとなっています。次いで「県・市レベルの大会や試合」(-9.3ポイント)、「全国的な大会や試合」(-9.1ポイント)と続いています。



《コロナ拡大前クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		プロの大会や試合	国際的な大会や試合	全国的な大会や試合	試合・市レベルの大会や	地域の大会や試合	観戦していない	その他	無回答
全体(n=791)		65.6	42.6	33.0	19.2	14.0	18.6	0.5	3.9
性別	男性(n=411)	72.7	48.7	38.4	20.7	14.6	15.3	0.5	3.4
	女性(n=356)	57.9	36.0	26.4	17.4	13.5	21.9	0.6	4.5
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	64.8	38.6	31.8	23.3	13.6	23.3	0.0	2.3
	30歳代(n=94)	70.2	40.4	26.6	18.1	11.7	21.3	1.1	0.0
	40歳代(n=124)	66.9	40.3	24.2	22.6	17.7	14.5	0.8	3.2
	50歳代(n=119)	72.3	44.5	33.6	18.5	18.5	16.0	0.8	3.4
	60歳代(n=136)	64.0	52.2	36.0	18.4	13.2	17.6	0.0	4.4
	70歳以上(n=126)	57.1	40.5	42.9	12.7	8.7	18.3	0.8	9.5

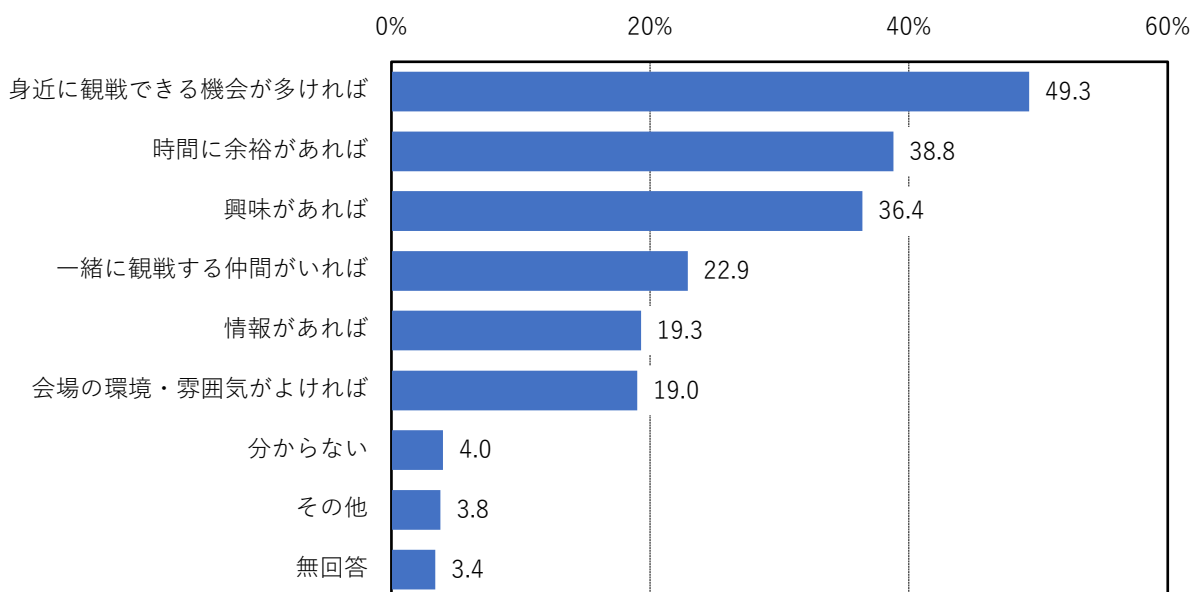
- 性別にみると、「プロの大会や試合」、「国際的な大会や試合」、「全国的な大会や試合」の割合は男性の方が、「観戦していない」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、50歳代の「プロの大会や試合」、60歳代の「国際的な大会や試合」、70歳以上の「全国的な大会や試合」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

《コロナ拡大後クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		プロの大会や試合	国際的な大会や試合	全国的な大会や試合	試合・市レベルの大会や	地域の大会や試合	観戦していない	その他	無回答
全体(n=791)		50.1	41.8	23.9	9.9	6.4	25.5	0.4	12.4
性別	男性(n=411)	57.2	45.3	30.4	11.7	7.1	23.6	0.2	11.2
	女性(n=356)	41.9	37.9	16.0	7.9	5.9	27.5	0.6	13.8
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	55.1	43.8	17.6	11.9	5.7	28.4	0.0	5.1
	30歳代(n=94)	46.8	42.6	18.1	9.6	4.3	31.9	1.1	6.4
	40歳代(n=124)	47.6	34.7	14.5	11.3	8.1	22.6	0.8	12.1
	50歳代(n=119)	49.6	42.9	25.2	9.2	7.6	26.9	0.8	14.3
	60歳代(n=136)	49.3	47.8	30.1	8.8	7.4	23.5	0.0	16.2
	70歳以上(n=126)	49.2	38.9	37.3	7.9	5.6	21.4	0.0	20.6

- 性別にコロナ拡大前と比較すると、女性の「国際的な大会や試合」の割合が高くなっています。
- 年齢階層別にコロナ拡大前と比較すると、10～20歳代及び30歳代の「国際的な大会や試合」の割合が増加しています。

問 15 今より観戦するようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○は複数可)



(n=791)

●観戦するようになるために必要なことについて、「身近に観戦できる機会が多ければ」と回答した割合が最も高く、49.3%となっています。次いで、「時間に余裕があれば」(38.8%)、「興味があれば」(36.4%)と続いています。

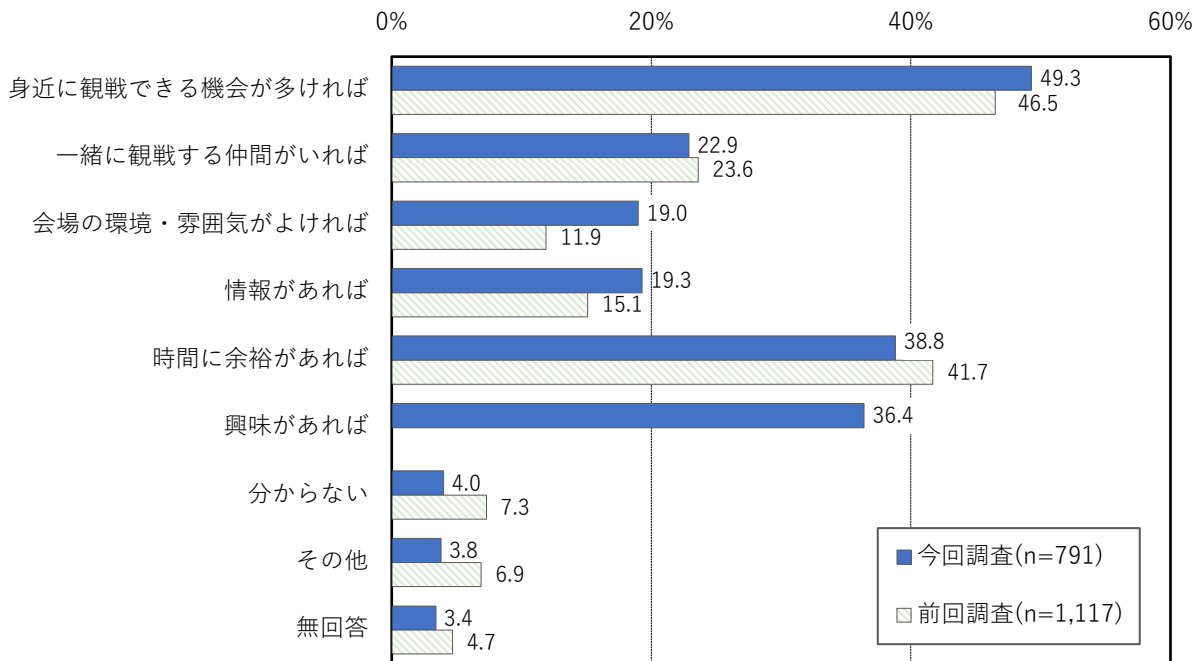
《クロス集計 (全体/性別/年齢階層別)》

(%)		が身近に観戦できる機会	一緒に観戦する仲間がいれば	会場の環境・雰囲気がよければ	情報があれば	時間に余裕があれば	興味があれば	分からない	その他	無回答
全体(n=791)		49.3	22.9	19.0	19.3	38.8	36.4	4.0	3.8	3.4
性別	男性(n=411)	52.3	22.4	20.0	21.9	39.7	31.9	3.2	3.9	2.4
	女性(n=356)	46.6	23.9	18.5	16.6	38.5	41.6	4.5	3.4	4.8
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	43.8	31.3	15.9	17.0	47.2	42.0	5.1	3.4	0.0
	30歳代(n=94)	54.3	27.7	24.5	16.0	47.9	34.0	6.4	8.5	0.0
	40歳代(n=124)	53.2	26.6	21.0	15.3	50.0	37.9	3.2	1.6	1.6
	50歳代(n=119)	56.3	24.4	29.4	16.0	35.3	37.8	0.8	5.9	0.8
	60歳代(n=136)	51.5	11.8	16.9	25.7	34.6	34.6	4.4	2.9	5.1
	70歳以上(n=126)	42.1	15.1	10.3	24.6	18.3	28.6	4.8	0.8	13.5

●性別にみると、「身近に観戦できる機会が多ければ」、「情報があれば」の割合は男性の方が、「興味があれば」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。

●年齢階層別にみると、年齢階層が低いほど「一緒に観戦する仲間がいれば」の割合がおおむね高くなる傾向にあります。また、50歳代の「会場の環境・雰囲気がよければ」、60歳代、70歳以上の「情報があれば」、10～20歳代から40歳代の「時間に余裕があれば」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

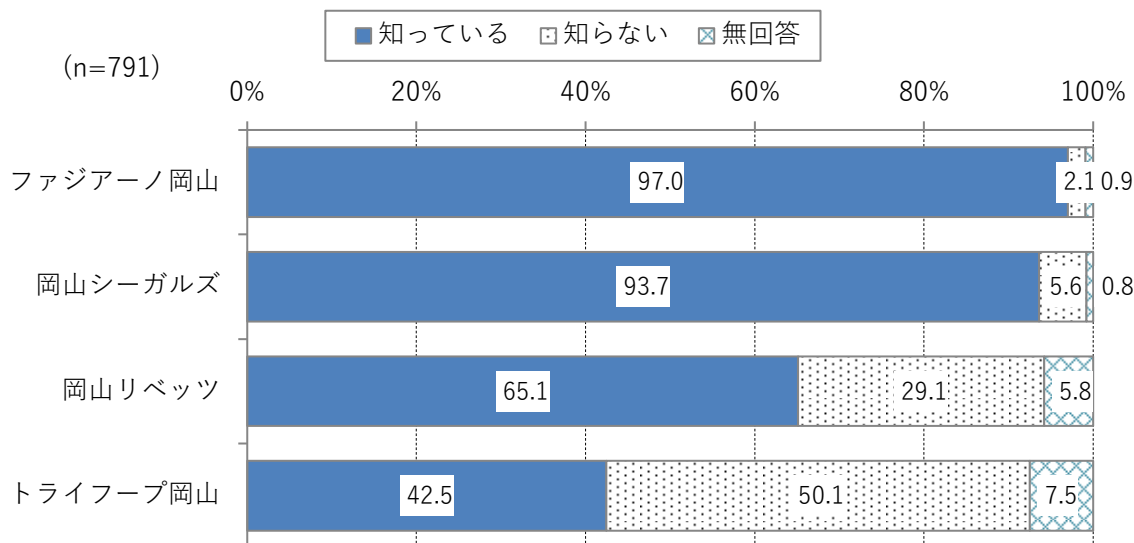
《前回調査との比較》



※「興味があれば」は今回調査から追加

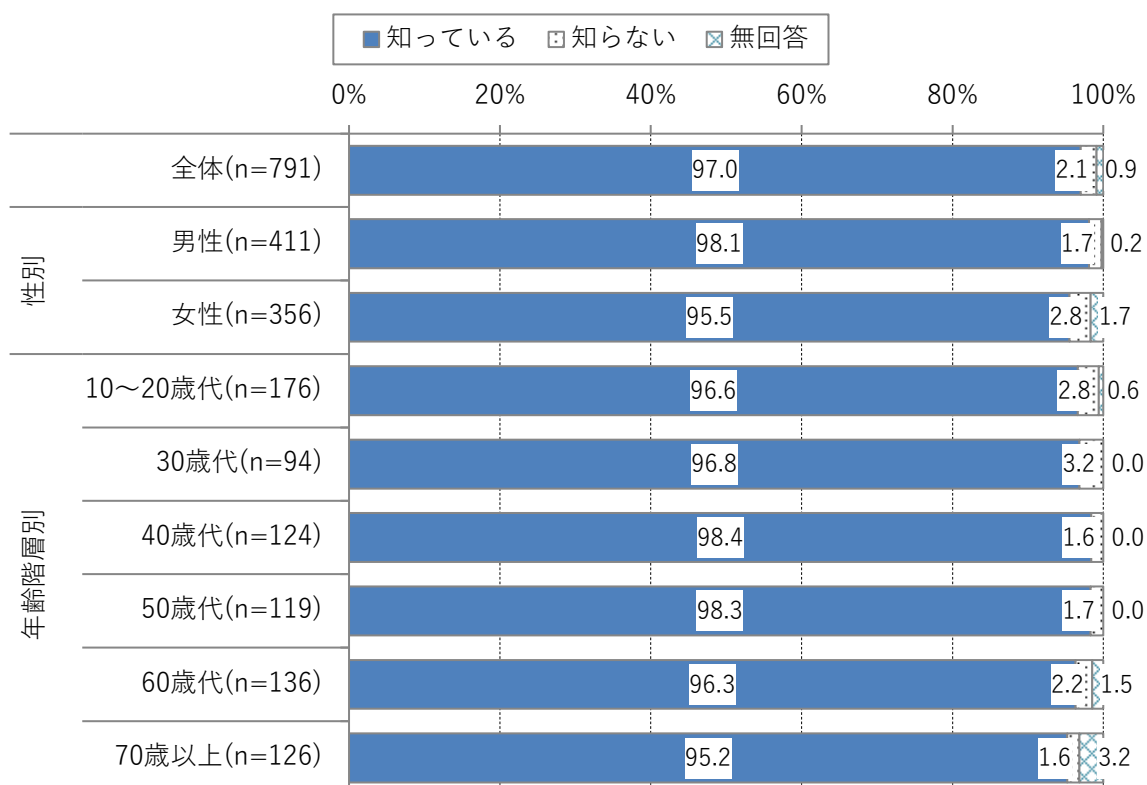
●前回調査と比較すると、「身近に観戦できる機会が多ければ」が2.8ポイント、「会場の環境・雰囲気がよければ」が7.1ポイント、「情報があれば」が4.2ポイント高くなっています。

問 16 岡山市をホームタウンとする以下の4つのトップスポーツチームを知っていますか。



●岡山市をホームタウンとするトップスポーツチームについて、「知っている」の割合は、「ファジアーノ岡山」が最も高く 97.0%となっています。次いで、「岡山シーガルズ」(93.7%)、「岡山リベッツ」(65.1%)と続いています。

《ファジアーノ岡山 クロス集計 (全体/性別/年齢階層別)》

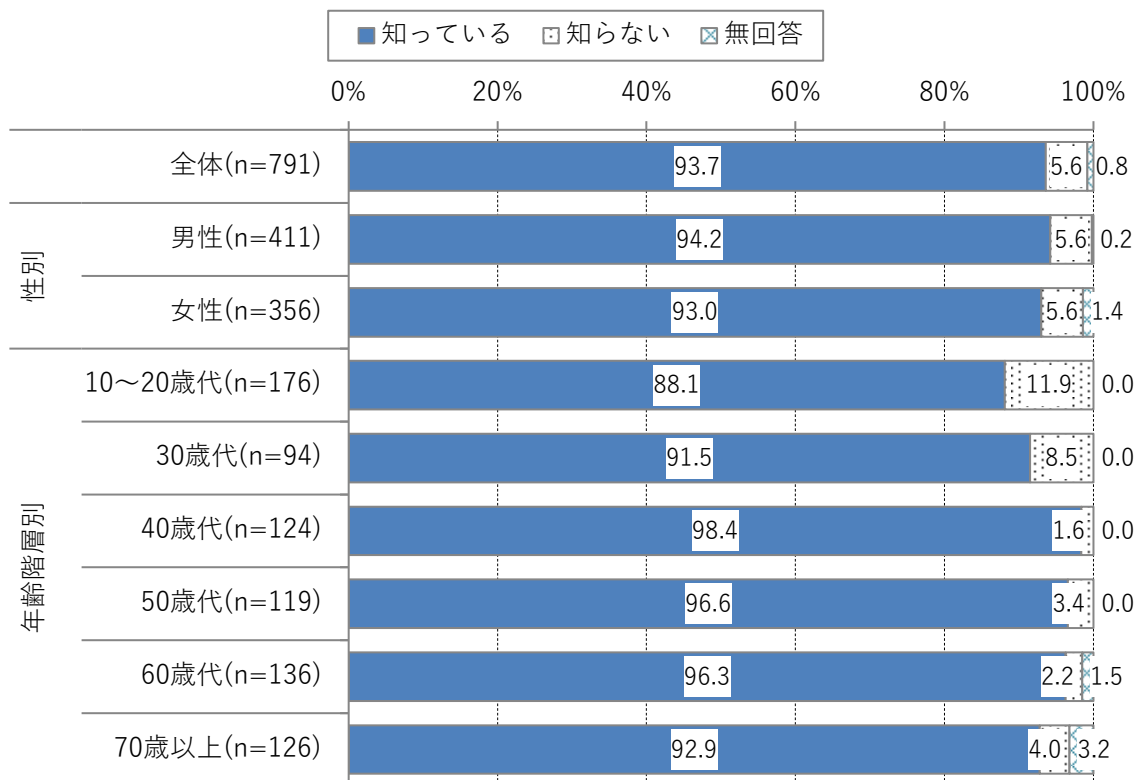


●ファジアーノ岡山について、「知っている」と回答した割合は 97.0%となっています。一方、「知らない」と回答した割合は 2.1%となっています。

●性別にみると、「知っている」の割合は、男性の方が 2.6 ポイント高くなっています。

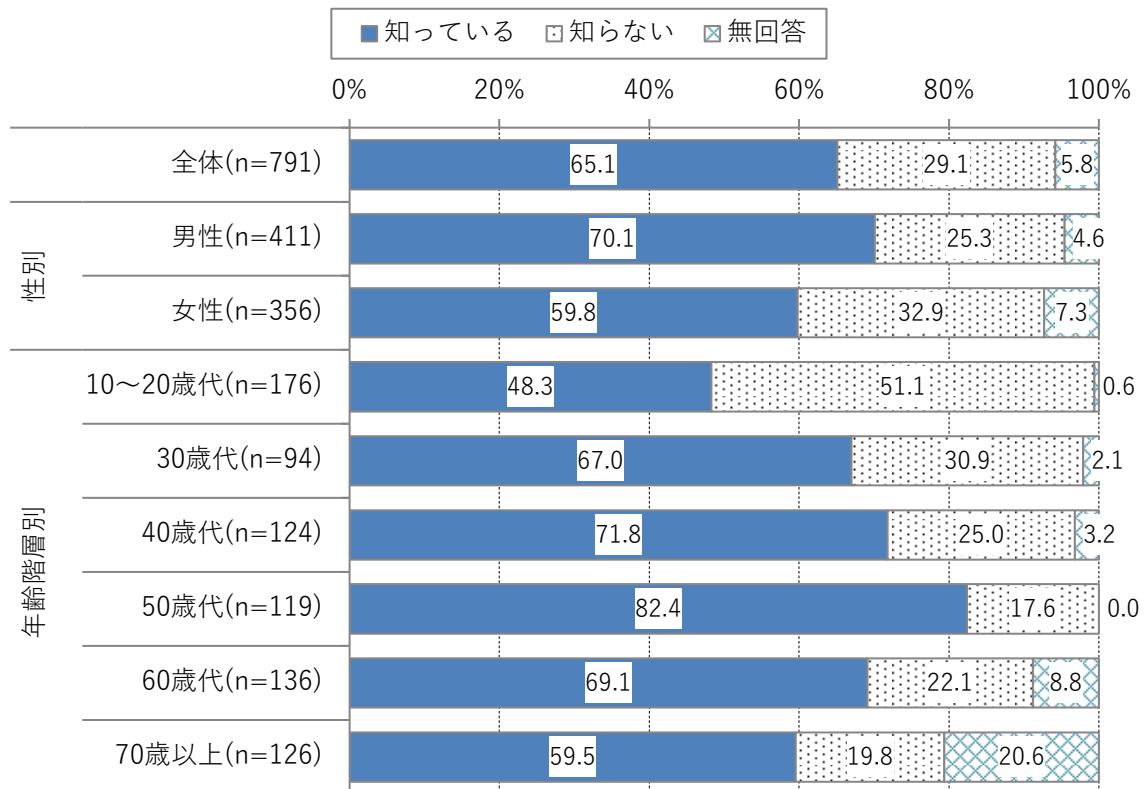
●年齢階層別にみても、大きな差はみられません。

《岡山シーガルズ クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



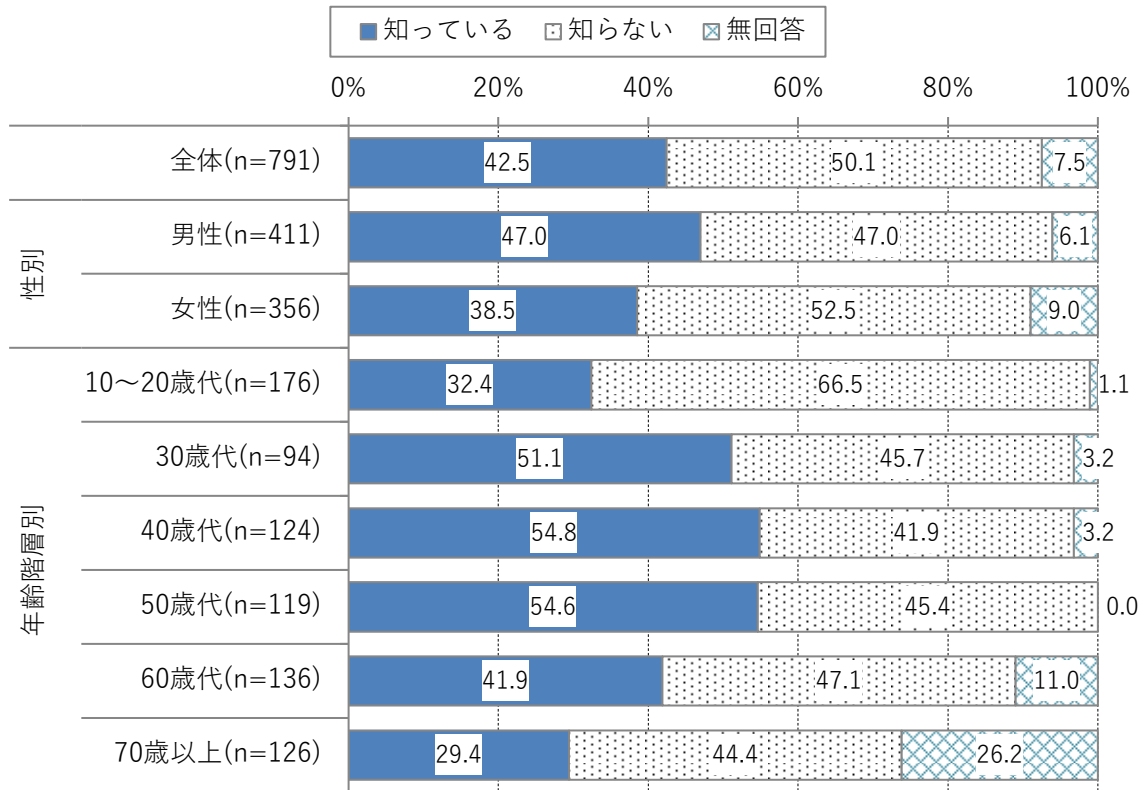
- 岡山シーガルズについて、「知っている」と回答した割合は 93.7%となっています。一方、「知らない」と回答した割合は 5.6%となっています。
- 性別にみても大きな差はみられません。
- 年齢階層別にみると、40 歳代から 60 歳代の「知っている」の割合が 95%を超え高くなっているものの、10～20 歳代の割合は 9 割を切っており、その他の年齢階層に比べて低くなっています。

《岡山リベッツ クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



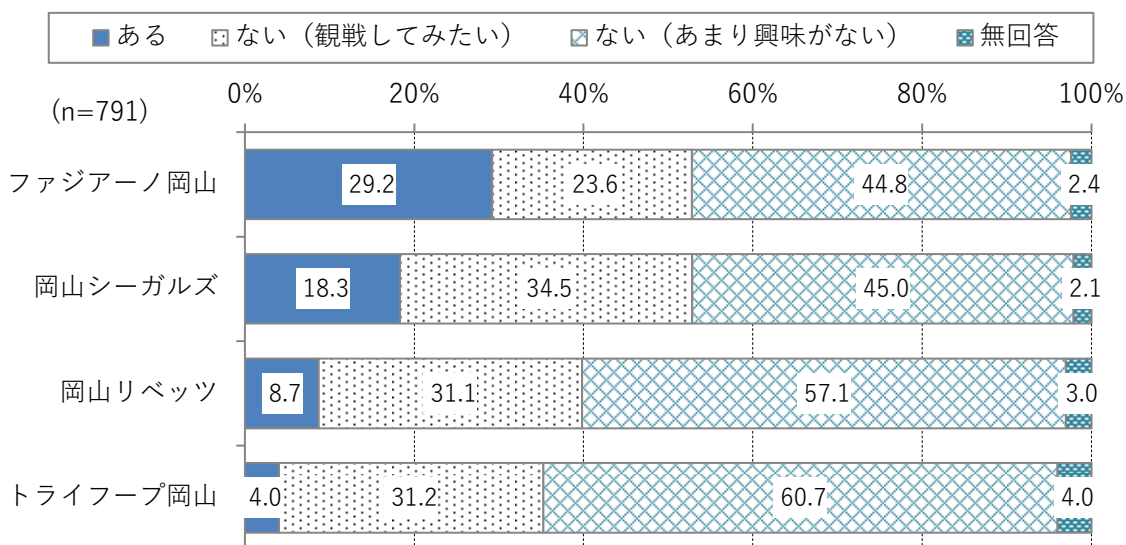
- 岡山リベッツについて、「知っている」と回答した割合は 65.1%となっています。一方、「知らない」と回答した割合は 29.1%となっています。
- 性別にみると、「知っている」の割合は、男性の方が 10.3 ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、「知っている」の割合は、50 歳代を山として、それ以降、減少しています。

《トライフープ岡山 クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- トライフープ岡山について、「知っている」と回答した割合は 42.5%となっています。一方、「知らない」と回答した割合は 50.1%となっています。
- 性別にみると、「知っている」の割合は、男性の方が 8.5 ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、「知っている」の割合は、30 歳代から 50 歳代では過半数を占めているものの、10～20 歳代及び 70 歳以上では約 3 割と低くなっています。

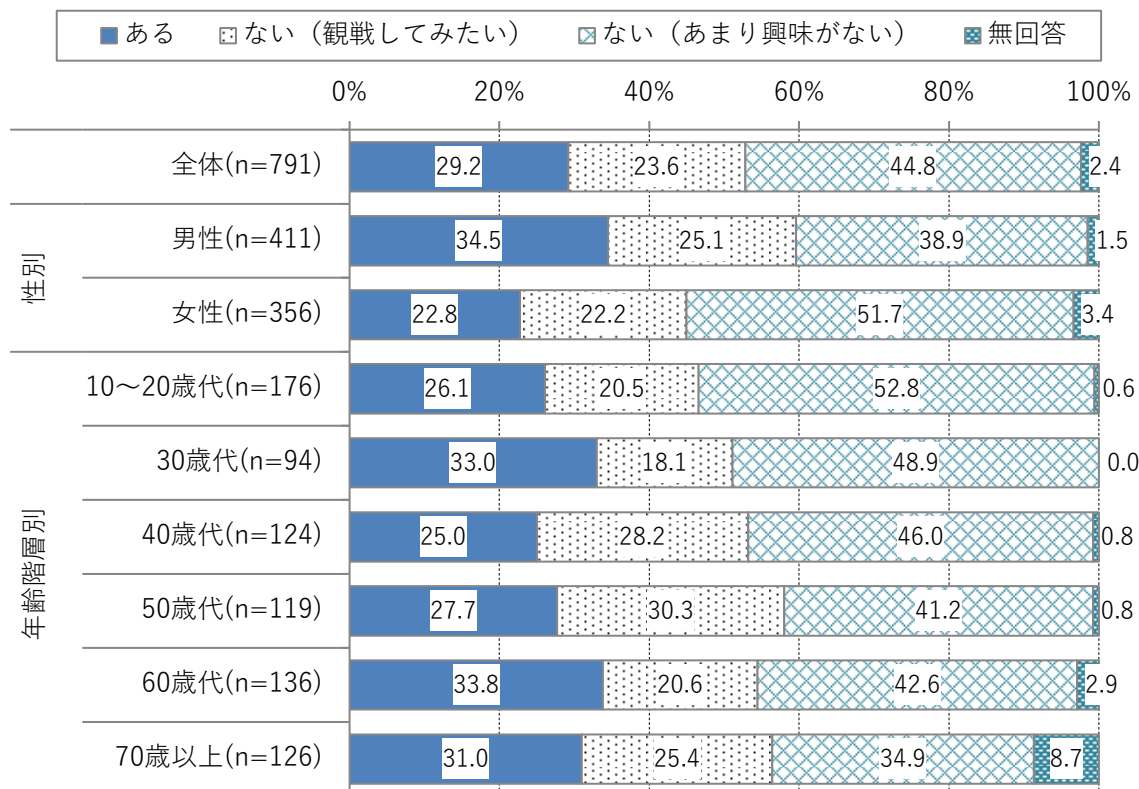
問 17 この3年間で、以下の4つのトップスポーツチームの公式戦を観戦したことはありますか。  
 (テレビ・インターネット観戦を含む)



●岡山市をホームタウンとするトップスポーツチーム公式戦の観戦経験及び観戦意向について、「ある」の割合は、「ファジアーノ岡山」が最も高く 29.2%となっており、次いで、「岡山シーガルズ」(18.3%)、「岡山リベッツ」(8.7%)と続いています。また、「ない(観戦してみたい)」の割合は、「岡山シーガルズ」が最も高く 34.5%となっており、次いで、「トライフープ岡山」(31.2%)、「岡山リベッツ」(31.1%)と続いています。

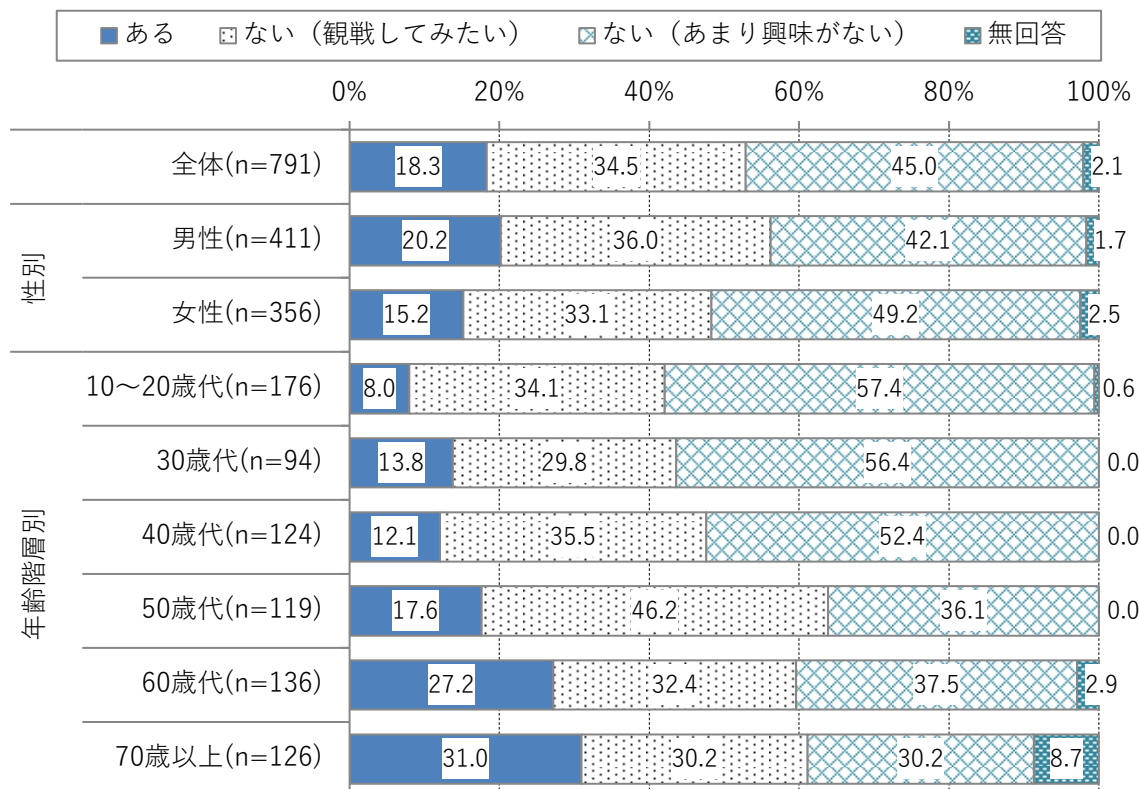


《ファジアーノ岡山 クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



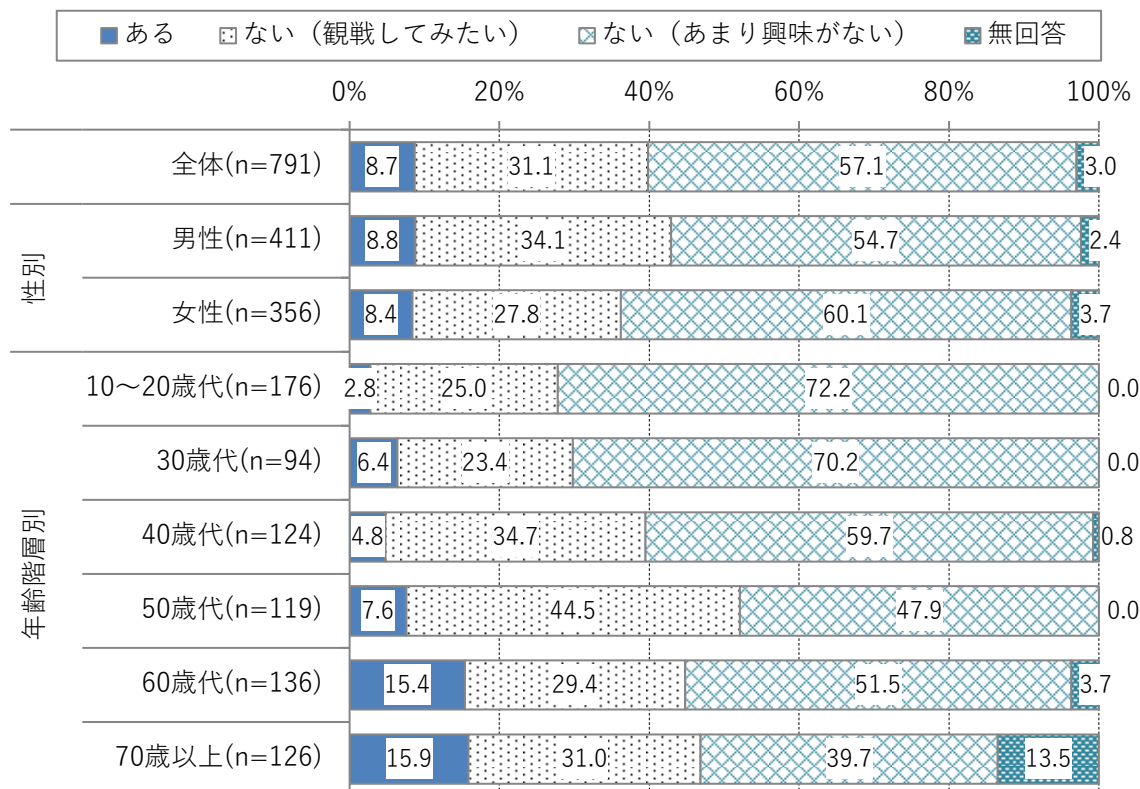
- ファジアーノ岡山公式戦の観戦経験の有無及び興味について、「ない（あまり興味がない）」と回答した割合が最も高く、44.8%となっています。次いで、「ある」（29.2%）、「ない（観戦してみたい）」（23.6%）と続いています。
- 性別にみると、「ある」の割合は、男性の方が 11.7 ポイント高くなっています。また、「ない（観戦してみたい）」についても、男性の方が 2.9 ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、30歳代、60歳代の「ある」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

《岡山シーガルズ クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



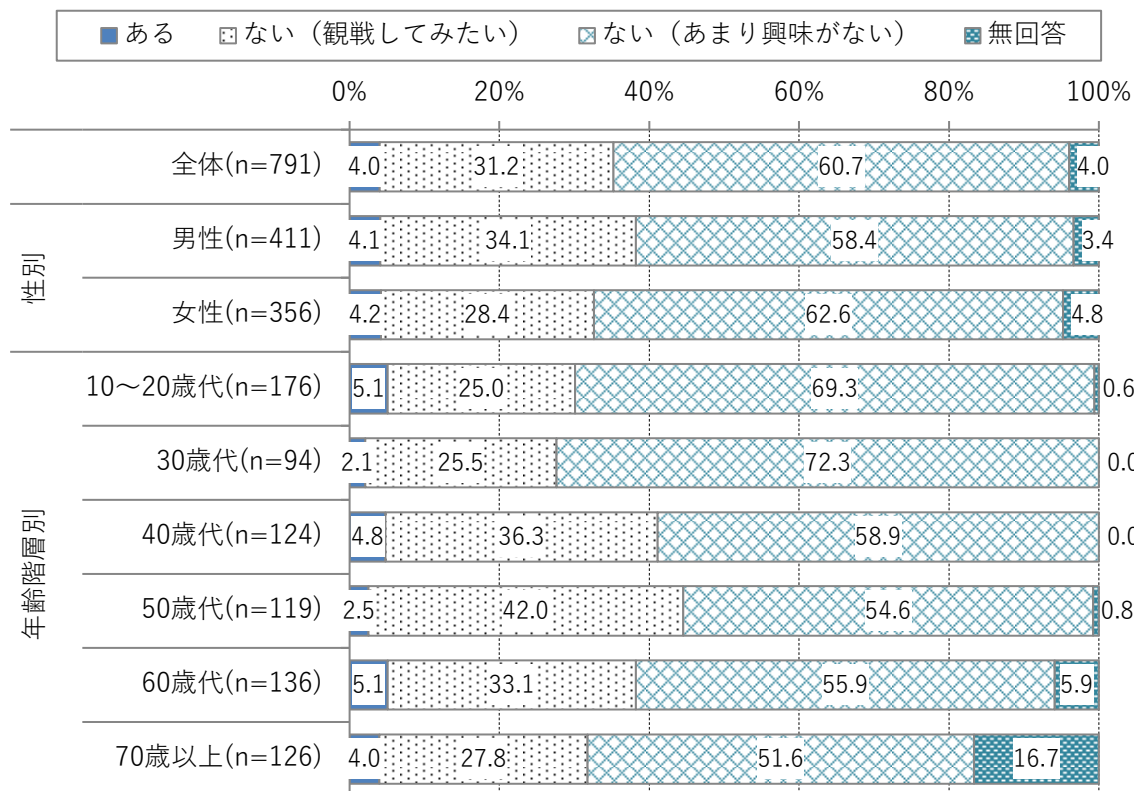
- 岡山シーガルズ公式戦の観戦経験の有無及び興味について、「ない（あまり興味がない）」と回答した割合が最も高く、45.0%となっています。次いで、「ない（観戦してみたい）」（34.5%）、「ある」（18.3%）と続いています。
- 性別にみると、「ある」の割合は、男性の方が5.0ポイント高くなっています。また、「ない（観戦してみたい）」についても、男性の方が2.9ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、60歳代、70歳以上の「ある」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。また、50歳代の「ない（観戦してみたい）」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

《岡山リベッツ クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



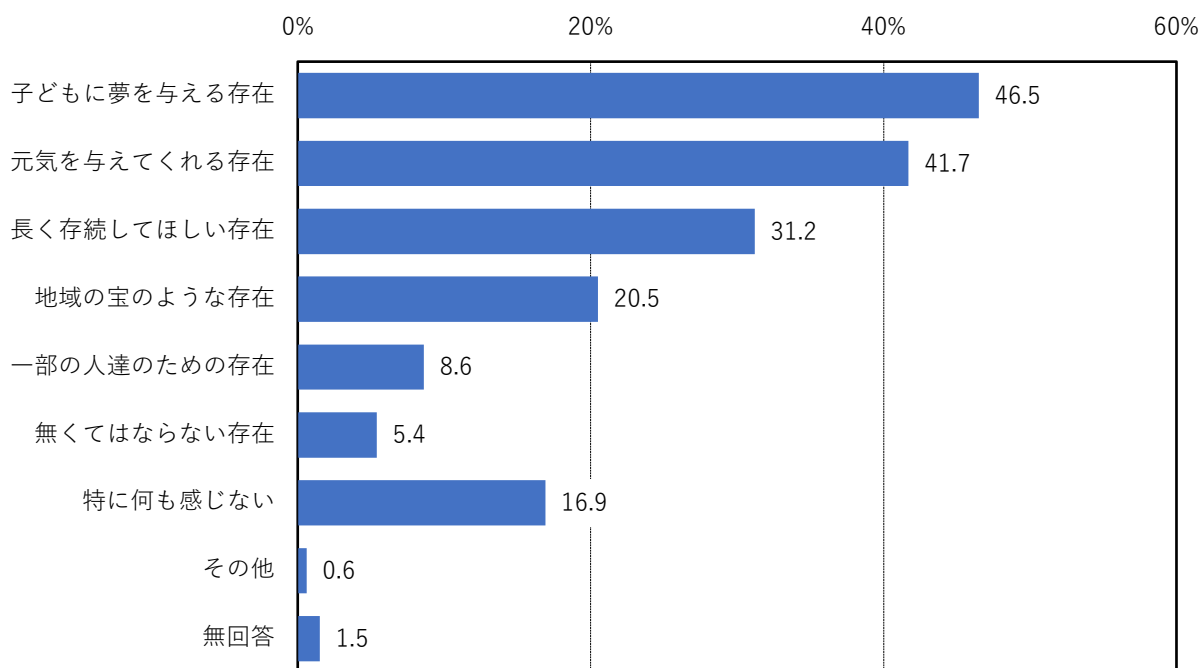
- 岡山リベッツ公式戦の観戦経験の有無及び興味について、「ない（あまり興味がない）」と回答した割合が最も高く、57.1%となっています。次いで、「ない（観戦してみたい）」（31.1%）、「ある」（8.7%）と続いています。
- 性別にみると、「ある」の割合に大きな差はみられないものの、「ない（観戦してみたい）」については、男性の方が6.3ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、60歳代、70歳以上の「ある」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。また、50歳代の「ない（観戦してみたい）」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

《トライフープ岡山 クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- トライフープ岡山公式戦の観戦経験の有無及び興味について、「ない（あまり興味がない）」と回答した割合が最も高く、60.7%となっています。次いで、「ない（観戦してみたい）」（31.2%）、「ある」（4.0%）と続いています。
- 性別にみると、「ある」の割合に大きな差はみられないものの、「ない（観戦してみたい）」については、男性の方が5.7ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、いずれの年齢階層も「ある」の割合は1割を切っています。また、40歳代、50歳代の「ない（観戦してみたい）」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

問 18 あなたにとって、トップスポーツチームはどんな存在ですか。(○は複数可)



(n=791)

- トップスポーツチームはどのような存在かという問について、「子どもに夢を与える存在」と回答した割合が最も高く、46.5%となっています。次いで、「元気を与えてくれる存在」(41.7%)、「長く存続してほしい存在」(31.2%)と続いています。

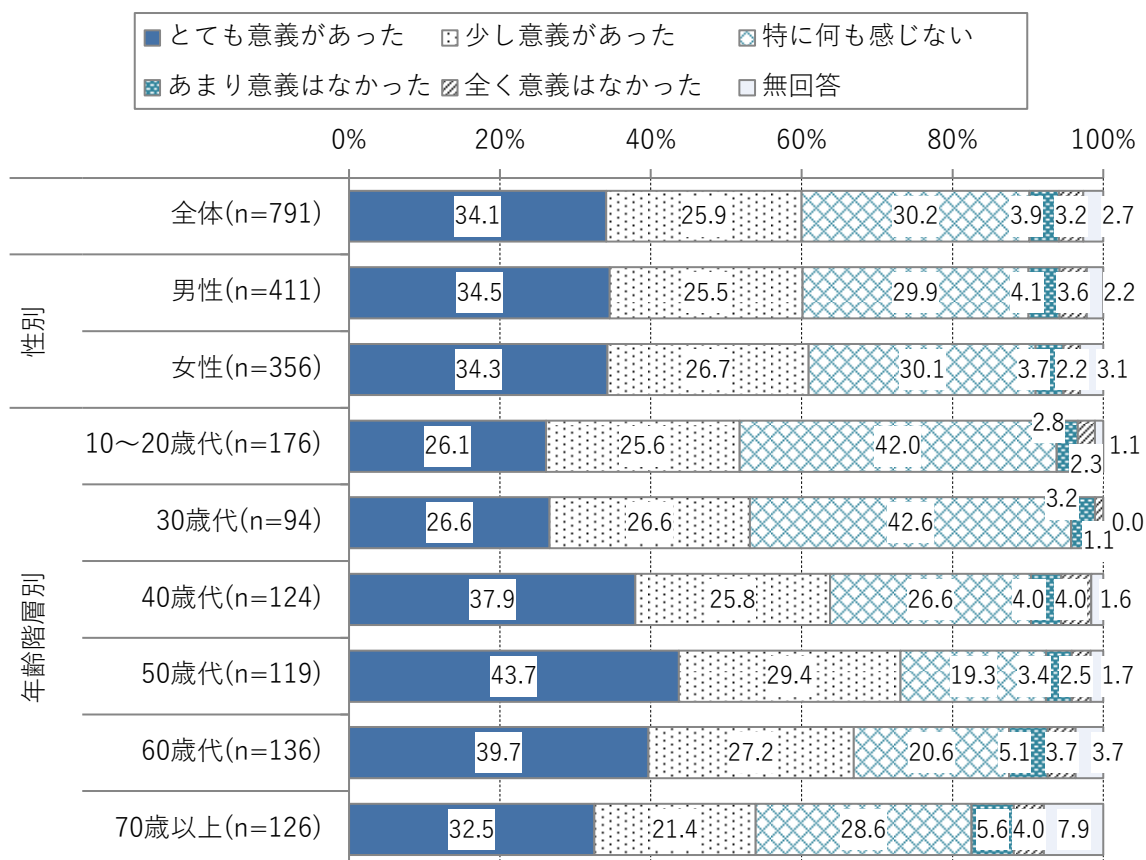
《クロス集計 (全体/性別/年齢階層別)》

存在の種類 (%)		元気を与えてくれる	長く存続してほしい	地域の宝のような存在	無くてはならない存在	子どもに夢を与える存在	一部の人達のための存在	特に何も感じない	その他	無回答
全体(n=791)		41.7	31.2	20.5	5.4	46.5	8.6	16.9	0.6	1.5
性別	男性(n=411)	42.1	32.8	23.4	8.0	43.1	10.5	15.3	0.7	1.5
	女性(n=356)	40.2	30.1	16.9	2.2	50.6	6.7	19.1	0.6	1.7
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	36.4	24.4	17.6	5.1	46.0	7.4	25.0	0.0	0.0
	30歳代(n=94)	41.5	18.1	16.0	3.2	51.1	13.8	17.0	2.1	0.0
	40歳代(n=124)	33.1	35.5	16.1	4.8	54.8	4.8	16.9	0.8	0.0
	50歳代(n=119)	49.6	37.0	26.9	5.9	57.1	11.8	7.6	1.7	0.8
	60歳代(n=136)	45.6	33.1	23.5	5.9	37.5	8.8	16.2	0.0	1.5
	70歳以上(n=126)	42.9	40.5	21.4	6.3	35.7	7.1	16.7	0.0	7.1

- 性別にみると、「地域の宝のような存在」、「無くてはならない存在」の割合は男性の方が、「子どもに夢を与える存在」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、60歳代、70歳代の「子どもに夢を与える存在」、10～20歳代及び30歳代の「長く存続してほしい存在」割合が、その他の年齢階層に比べて低くなっています。また、10～20歳代の「特に何も感じない」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

問19 東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、様々な国のトップアスリートが岡山市で合宿をし、市民との交流や観光等を行いました。この取り組みについて、どう感じますか。

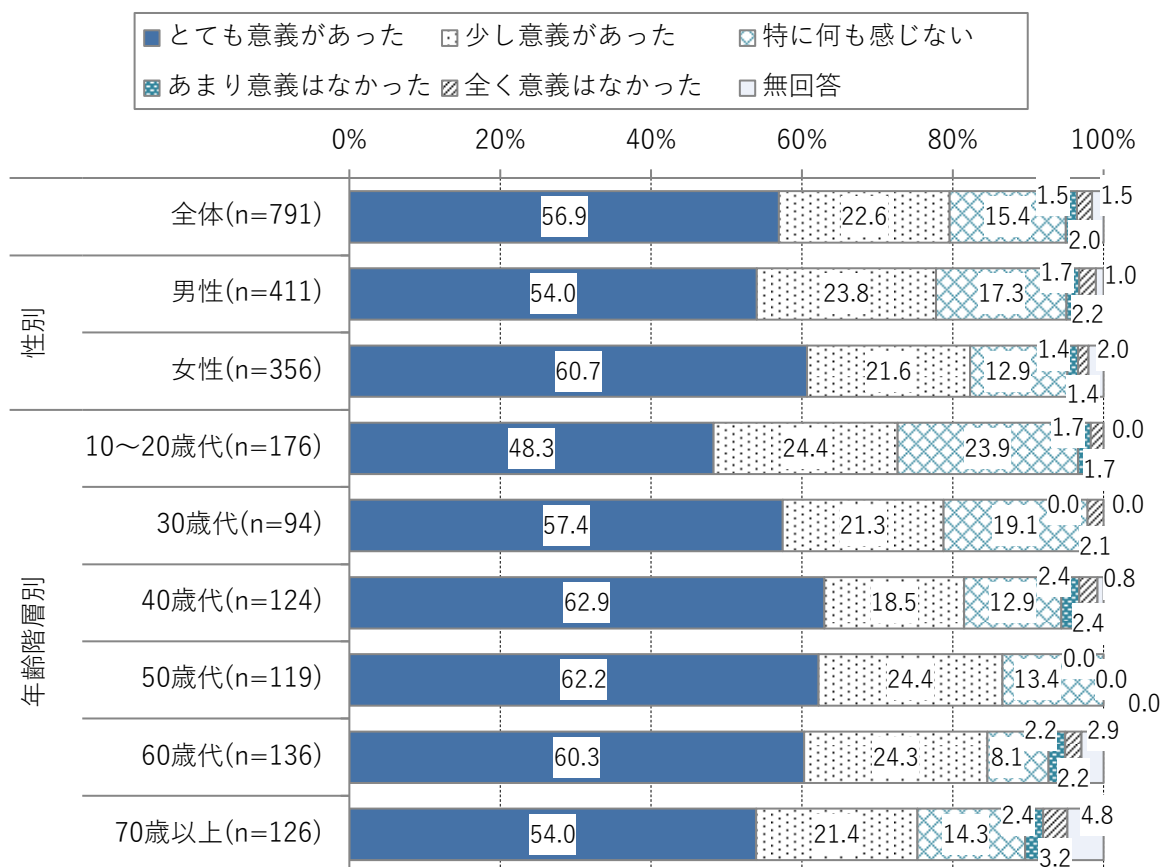
《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて行った岡山市の取り組みについて、「とても意義があった」と回答した割合が最も高く、34.1%となっています。次いで、「特に何も感じない」(30.2%)、「少し意義があった」(25.9%)と続いています。
- 性別にみても、大きな差はみられません。
- 年齢階層別にみると、『意義があった』(「とても意義があった」と「少し意義があった」の和)の割合は、最も低い10～20代でも過半数を占めており、最も高い50歳代は7割を超えています。

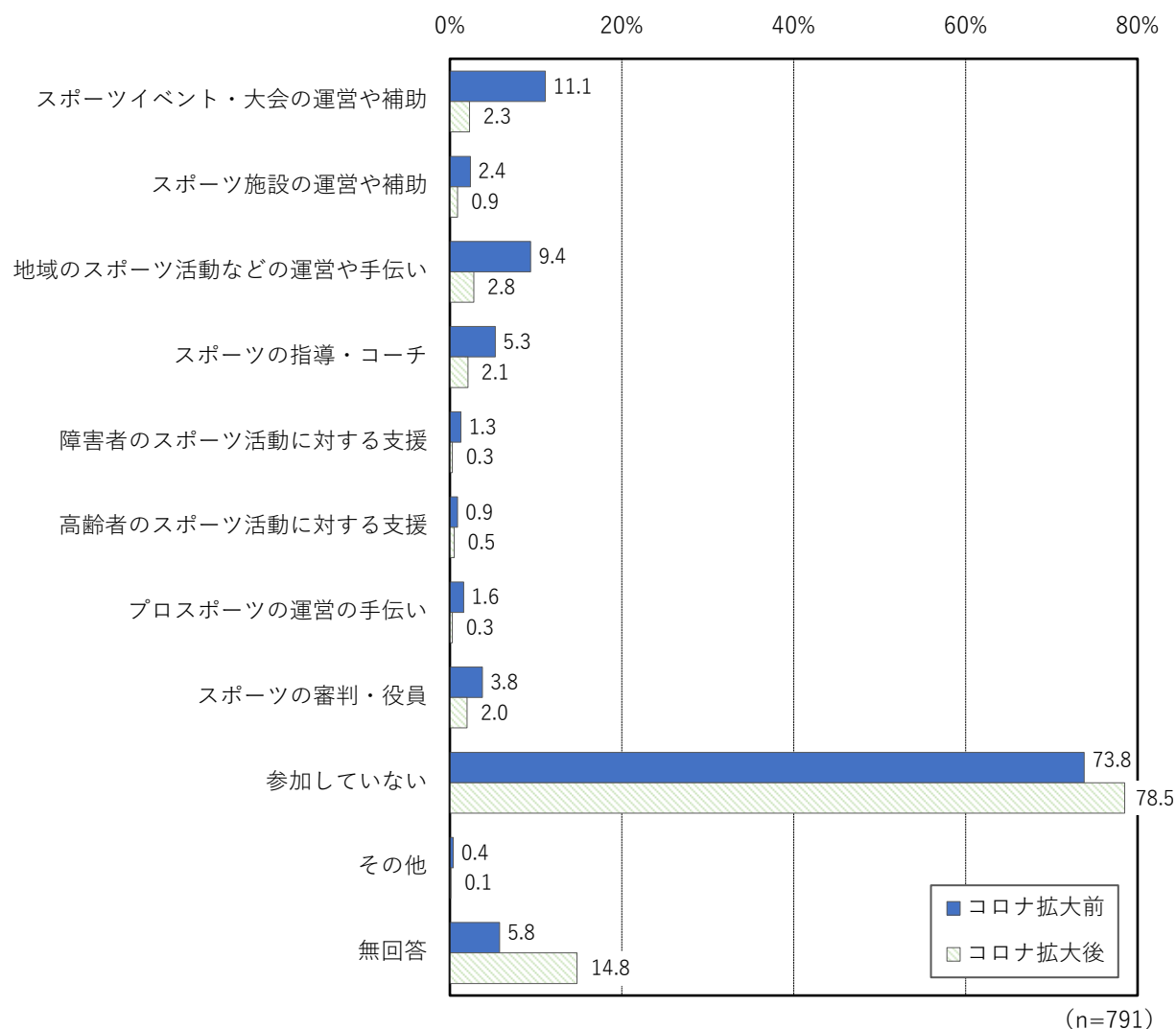
問 20 オリンピアンやパラリンピアンなどが学校を訪問し、競技体験や講話を通して、子どもたちにスポーツの楽しさや頑張ることの大切さ等を伝えました。この取り組みについてどう感じますか。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- オリンピアンやパラリンピアンなどが学校を訪問し、子どもたちにスポーツの楽しさや頑張ることの大切さを伝えた取り組みについて、「とても意義があった」と回答した割合が最も高く、56.9%となっています。次いで、「少し意義があった」(22.6%)、「特に何も感じない」(15.4%)と続いています。
- 性別にみると、『意義があった』(「とても意義があった」と「少し意義があった」の和)の割合は、女性の方が4.5ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、『意義があった』(「とても意義があった」と「少し意義があった」の和)の割合は、50歳代を山として、それ以降、減少していますが、最も割合の低い10~20代でも約4人のうち3人が『意義があった』と回答しています。
- 年齢階層別にみると、『意義があった』(「とても意義があった」と「少し意義があった」の和)の割合は、最も低い10~20代でも7割以上を占めており、最も高い50歳代は9割弱となっています。

問 21 どのようなスポーツボランティアに参加したことがありますか。(○は複数可)



- コロナ拡大前に参加したことがあるスポーツボランティアについて、「参加していない」と回答した割合は 73.8%となっています。これと無回答（5.8%）を除く 20.4%は何らかのボランティアに参加したことがあると回答しています。その内容として、「スポーツイベント・大会の運営や補助」と回答した割合が最も高く、11.1%となっています。次いで、「地域のスポーツ活動などの運営や手伝い」（9.4%）、「スポーツの指導・コーチ」（5.3%）と続いています。また、コロナ拡大後に参加したことがあるスポーツボランティアについて、「参加していない」と回答した割合は 78.5%となっています。これと無回答（14.8%）を除く 6.7%は何らかのボランティアに参加したことがあると回答しています。その内容として、「地域のスポーツ活動などの運営や手伝い」と回答した割合が最も高く、2.8%となっています。次いで、「スポーツイベント・大会の運営や補助」（2.3%）、「スポーツの指導・コーチ」（2.1%）と続いています。
- コロナ拡大前とコロナ拡大後と比較すると、「スポーツイベント・大会の運営や補助」の割合が最も下がっており-8.8 ポイントとなっています。次いで「地域のスポーツ活動などの運営や手伝い」（-6.6 ポイント）、「スポーツの指導・コーチ」（-3.2 ポイント）と続いています。



《コロナ拡大前クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		会 ス ポ ー ツ イ ベ ン ト ・ 大 会 の 運 営 や 補 助	補 ス ポ ー ツ 施 設 の 運 営 や	ど の 地 域 の ス ポ ー ツ 活 動 な ど の 運 営 や 手 伝 い	チ ス ポ ー ツ の 指 導 ・ コ ー チ	に 障 害 者 の ス ポ ー ツ 活 動 に 対 する 支 援	に 高 齢 者 の ス ポ ー ツ 活 動 に 対 する 支 援	手 伝 い プ ロ ス ポ ー ツ の 運 営 の	ス ポ ー ツ の 審 判 ・ 役 員	参 加 し て い な い	そ の 他	無 回 答
全体(n=791)		11.1	2.4	9.4	5.3	1.3	0.9	1.6	3.8	73.8	0.4	5.8
性別	男性(n=411)	13.6	3.4	10.0	8.3	1.2	1.2	2.9	6.1	71.8	0.2	5.1
	女性(n=356)	8.4	1.4	8.7	1.7	1.1	0.6	0.3	1.1	76.4	0.3	6.7
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	19.9	4.0	6.8	5.1	0.6	0.6	2.8	5.7	73.9	0.6	1.7
	30歳代(n=94)	11.7	4.3	8.5	8.5	1.1	0.0	2.1	3.2	78.7	1.1	0.0
	40歳代(n=124)	5.6	2.4	12.1	4.0	0.8	0.0	0.0	3.2	76.6	0.8	4.0
	50歳代(n=119)	14.3	2.5	12.6	8.4	1.7	1.7	1.7	4.2	69.7	0.0	6.7
	60歳代(n=136)	7.4	1.5	11.0	5.9	2.2	0.0	2.2	3.7	70.6	0.0	9.6
	70歳以上(n=126)	4.8	0.0	5.6	0.0	1.6	3.2	0.8	1.6	75.4	0.0	12.7

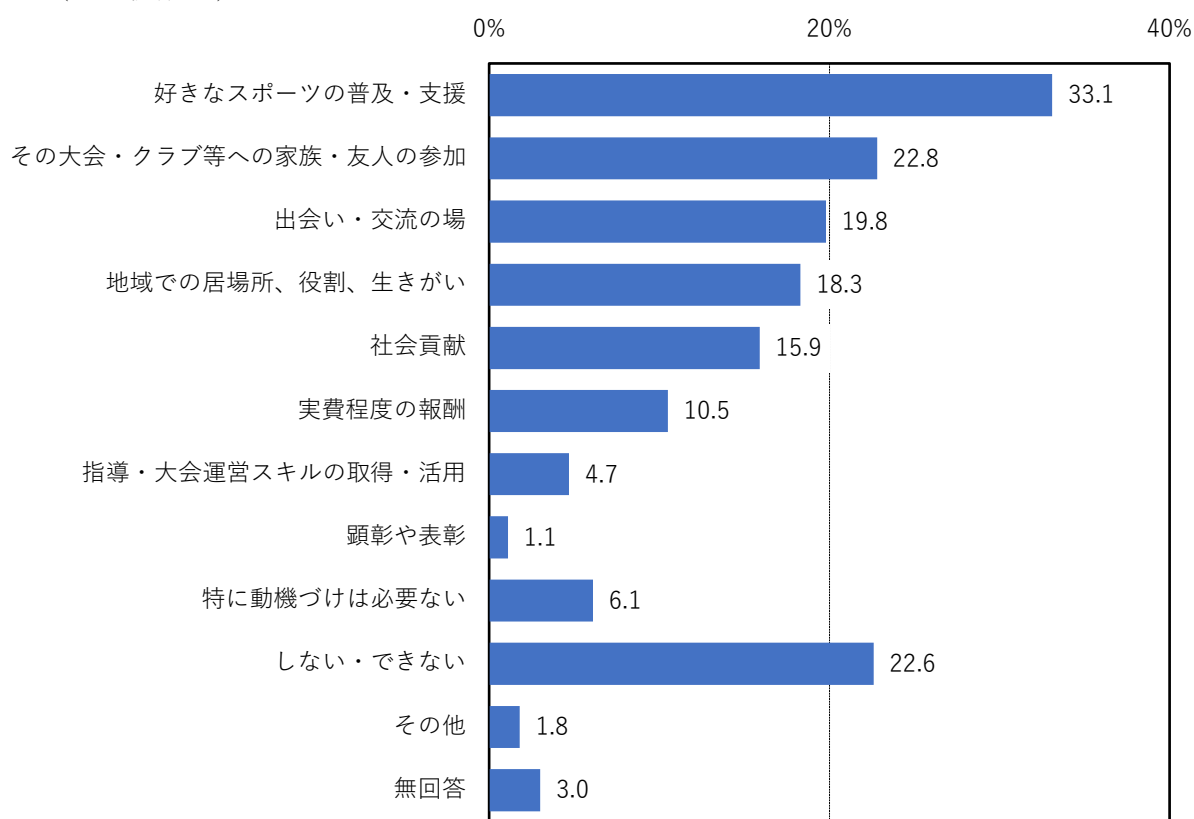
- 性別にみると、男性の「スポーツイベント・大会の運営や補助」、「スポーツの指導・コーチ」、「スポーツの審判・役員」の割合が、女性に比べて5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10～20歳代の「スポーツイベント・大会の運営や補助」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

《コロナ拡大後クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		会 ス ポ ー ツ イ ベ ン ト ・ 大 会 の 運 営 や 補 助	補 ス ポ ー ツ 施 設 の 運 営 や	ど の 地 域 の ス ポ ー ツ 活 動 な ど の 運 営 や 手 伝 い	チ ス ポ ー ツ の 指 導 ・ コ ー チ	に 障 害 者 の ス ポ ー ツ 活 動 に 対 する 支 援	に 高 齢 者 の ス ポ ー ツ 活 動 に 対 する 支 援	手 伝 い プ ロ ス ポ ー ツ の 運 営 の	ス ポ ー ツ の 審 判 ・ 役 員	参 加 し て い な い	そ の 他	無 回 答
全体(n=791)		2.3	0.9	2.8	2.1	0.3	0.5	0.3	2.0	78.5	0.1	14.8
性別	男性(n=411)	3.4	1.0	2.7	3.4	0.5	1.0	0.5	3.6	75.9	0.0	15.6
	女性(n=356)	0.8	0.8	2.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	81.2	0.3	14.3
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	4.5	0.6	2.3	1.7	0.0	0.0	0.6	2.8	84.7	0.0	7.4
	30歳代(n=94)	3.2	1.1	6.4	4.3	0.0	1.1	1.1	3.2	81.9	0.0	6.4
	40歳代(n=124)	1.6	1.6	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	79.0	0.8	12.9
	50歳代(n=119)	2.5	0.8	1.7	4.2	0.8	0.8	0.0	1.7	76.5	0.0	17.6
	60歳代(n=136)	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	75.0	0.0	22.8
	70歳以上(n=126)	0.8	0.8	0.8	0.0	0.8	1.6	0.0	1.6	73.0	0.0	22.2

- 性別にみると、男女ともにいずれのボランティア活動も5%を切っています。
- 年齢階層別にみると、30歳代の「地域のスポーツ活動などの運営や手伝い」を除く、すべてのボランティア活動が5%を切っています。

問 22 どのようなきっかけがあれば、スポーツボランティアを行ったり続けたりすると思いますか。(○は複数可)



(n=791)

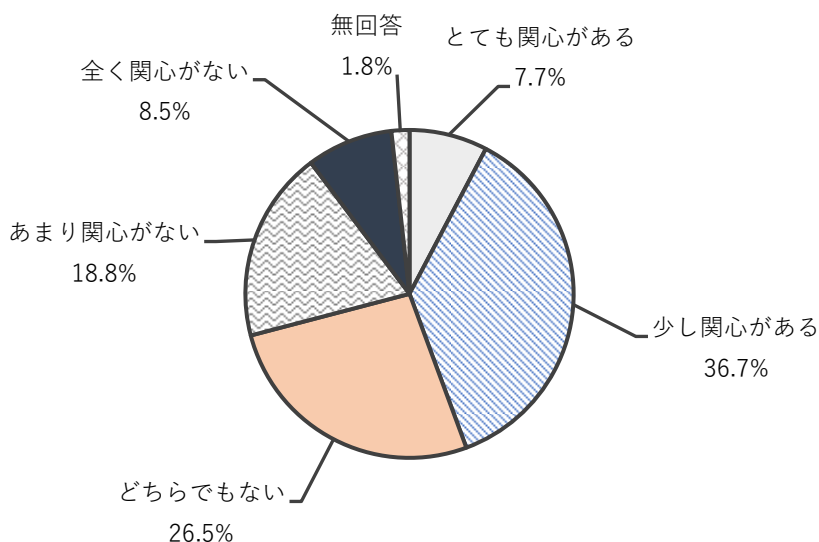
●スポーツボランティアを行ったり続けたりするためのきっかけについて、「好きなスポーツの普及・支援」と回答した割合が最も高く、33.1%となっています。次いで、「その大会・クラブ等への家族・友人の参加」(22.8%)、「しない・できない」(22.6%)と続いています。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		及好きなスポーツの普及・支援	地域、生きている居場所、役割	出会い・交流の場	の指導・大会運営スキル	社会貢献	顕彰や表彰	その大会・家族・友人の参加等へ	実費程度の報酬	い特に動機づけは必要ない	しない・できない	その他	無回答
全体(n=791)		33.1	18.3	19.8	4.7	15.9	1.1	22.8	10.5	6.1	22.6	1.8	3.0
性別	男性(n=411)	36.5	19.5	20.4	6.6	18.7	1.9	19.7	11.7	7.1	21.4	2.2	2.9
	女性(n=356)	28.4	17.1	18.3	2.5	13.2	0.3	27.0	9.8	4.8	24.2	1.4	3.4
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	47.2	19.9	25.0	8.0	19.9	2.3	22.2	21.6	5.7	14.2	2.3	1.1
	30歳代(n=94)	38.3	13.8	22.3	4.3	10.6	1.1	23.4	18.1	4.3	22.3	2.1	0.0
	40歳代(n=124)	31.5	20.2	21.0	4.8	15.3	0.8	33.1	10.5	5.6	18.5	1.6	2.4
	50歳代(n=119)	32.8	20.2	16.8	3.4	18.5	1.7	26.9	3.4	8.4	19.3	2.5	1.7
	60歳代(n=136)	25.0	19.9	16.2	4.4	19.9	0.7	21.3	7.4	5.9	26.5	0.7	3.7
	70歳以上(n=126)	16.7	13.5	15.1	1.6	8.7	0.0	11.9	0.8	6.3	38.9	1.6	9.5

- 性別にみると、「好きなスポーツの普及・支援」、「社会貢献」の割合は男性の方が、「その大会・クラブ等への家族・友人の参加」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれて、「しない・できない」の割合は、おおむね高くなっています。また、70歳以上の「好きなスポーツの普及・支援」、「その大会・クラブ等への家族・友人の参加」、30歳代及び70歳以上の「社会貢献」、50歳代及び70歳以上の「実費程度の報酬」の割合が、その他の年齢階層に比べて低くなっています。一方、10～20歳代の「出会い・交流の場」、40歳代の「その大会・クラブ等への家族・友人の参加」、10～20歳代及び30歳代の「実費程度の報酬」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

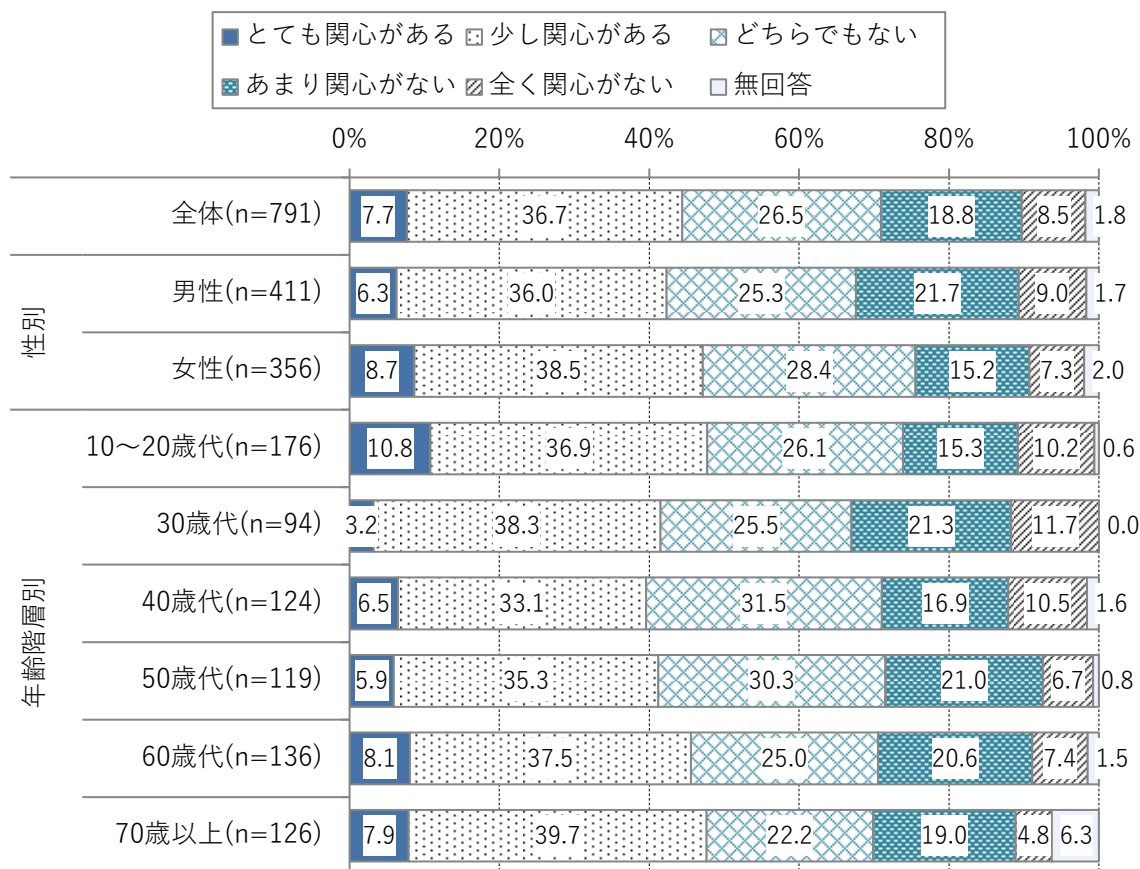
問 23 障害者スポーツ（パラスポーツ）に関心がありますか。



(n=791)

●障害者スポーツについて、「少し関心がある」と回答した割合が最も高く、36.7%となっています。次いで、「どちらでもない」(26.5%)、「あまり関心がない」(18.8%)と続いています。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

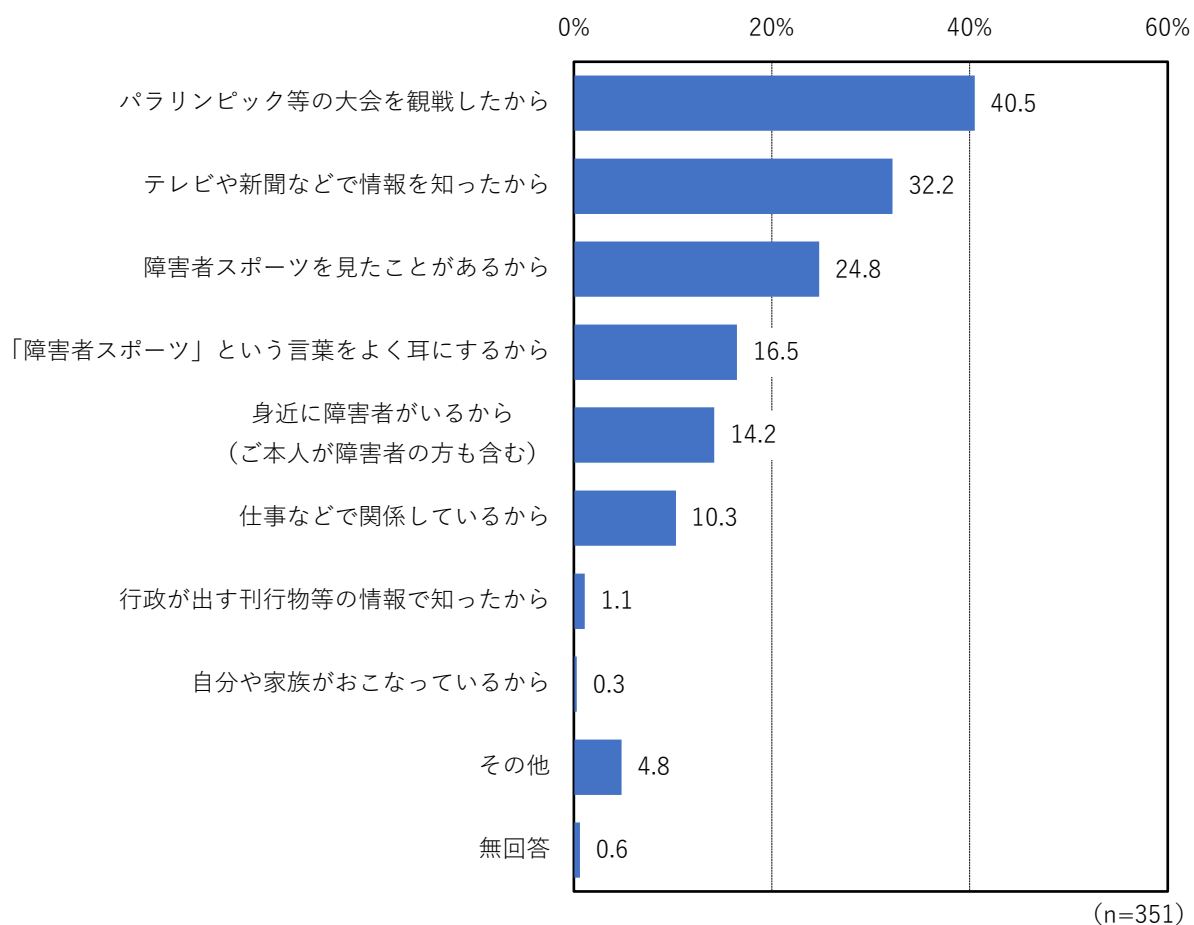


●性別にみると、『関心がある』（「とても関心がある」と「少し関心がある」の和）の割合は、女性の方が男性に比べて4.9ポイント高くなっています。

●年齢階層別にみると、『関心がある』の割合は、40歳代を谷として、以降、増加しています。

問 23 で「とても関心がある」「少し関心がある」と回答した方のみ

問 24 関心がある理由は何ですか。(○は複数可)



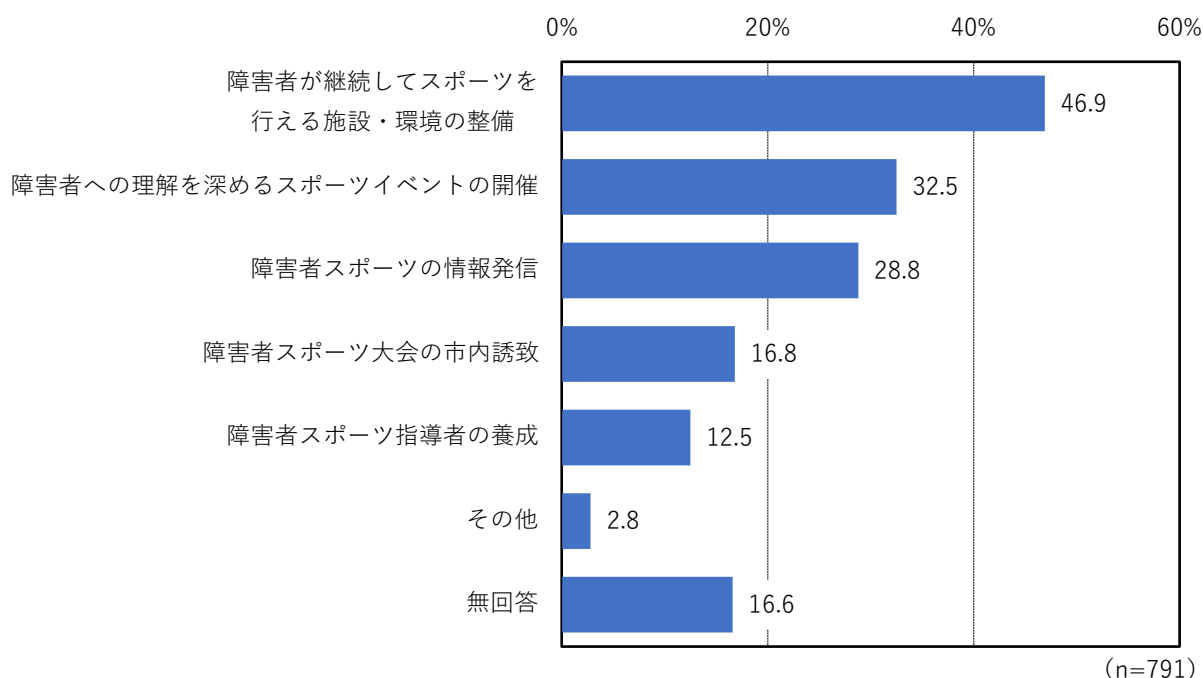
- 障害者スポーツに関心がある理由について、「パラリンピック等の大会を観戦したから」と回答した割合が最も高く、40.5%となっています。次いで、「テレビや新聞などで情報を知ったから」(32.2%)、「障害者スポーツを見たことがあるから」(24.8%)と続いています。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		身近に障害者がいるから	仕事などで関係しているから	「障害者スポーツ」という言葉をよく耳にするから	行政が出す刊行物等の情報で知ったから	障害者スポーツを見たことがあるから	テレビや新聞などで情報を知ったから	パラリンピック等の大会を観戦したから	自分や家族がおこなっているから	その他	無回答
全体(n=791)		14.2	10.3	16.5	1.1	24.8	32.2	40.5	0.3	4.8	0.6
性別	男性(n=411)	14.4	8.6	18.4	1.1	31.6	29.3	37.9	0.6	5.2	0.6
	女性(n=356)	14.3	12.5	14.9	1.2	17.3	35.7	42.9	0.0	4.2	0.6
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	10.7	14.3	10.7	0.0	25.0	27.4	42.9	0.0	4.8	0.0
	30歳代(n=94)	12.8	10.3	10.3	2.6	23.1	41.0	33.3	0.0	12.8	0.0
	40歳代(n=124)	12.2	22.4	20.4	2.0	26.5	32.7	34.7	0.0	0.0	0.0
	50歳代(n=119)	22.4	6.1	14.3	0.0	26.5	20.4	57.1	2.0	2.0	0.0
	60歳代(n=136)	19.4	8.1	14.5	1.6	29.0	33.9	35.5	0.0	6.5	0.0
	70歳以上(n=126)	11.7	1.7	30.0	1.7	16.7	41.7	36.7	0.0	3.3	3.3

- 性別にみると、「障害者スポーツを見たことがあるから」の割合は男性の方が、「テレビや新聞などで情報を知ったから」、「パラリンピック等の大会を観戦したから」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、50歳代、60歳代の「身近に障害者がいるから」、40歳代の「仕事などで関係しているから」、70歳以上の「「障害者スポーツ」という言葉をよく耳にするから」30歳代、70歳以上の「テレビや新聞などで情報を知ったから」、50歳以上の「パラリンピック等の大会を観戦したから」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

問 25 障害者スポーツの推進として、岡山市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。  
(○は複数可)



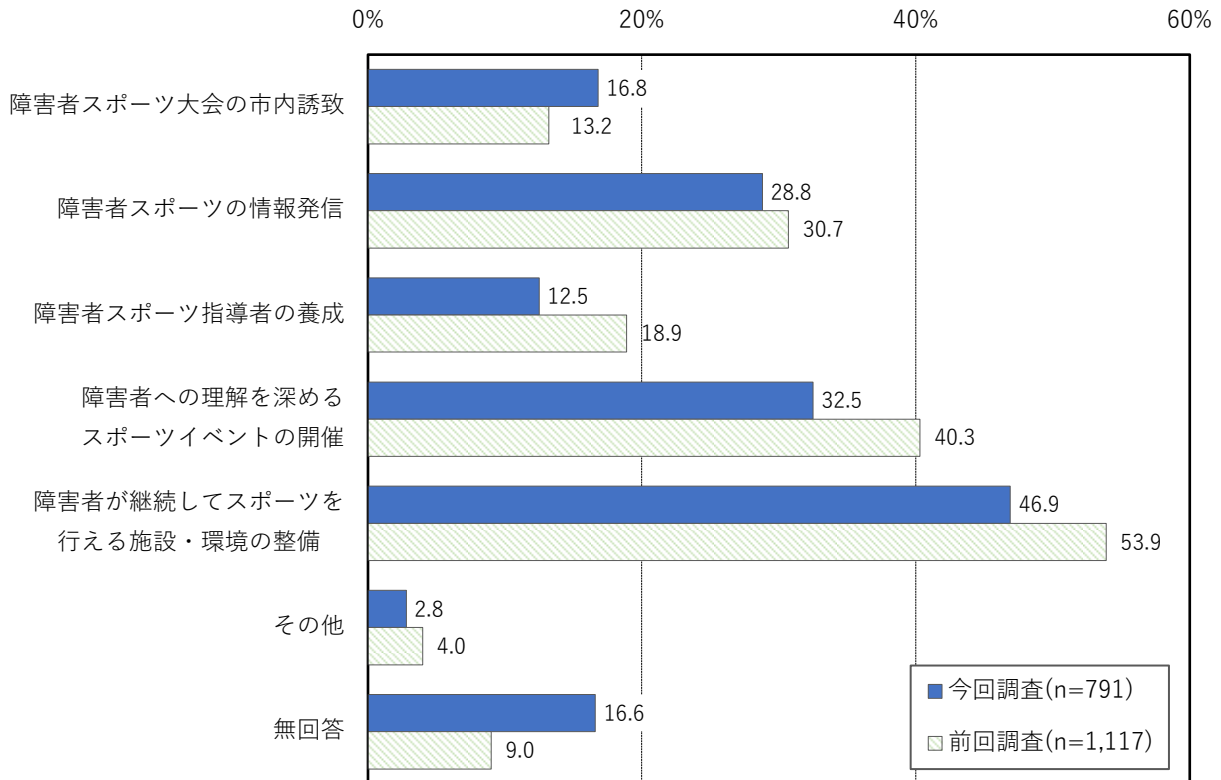
●障害者スポーツを推進するために岡山市が行うべき取り組みについて、「障害者が継続してスポーツを行える施設・環境の整備」と回答した割合が最も高く、46.9%となっています。次いで、「障害者への理解を深めるスポーツイベントの開催」(32.5%)、「障害者スポーツの情報発信」(28.8%)と続いています。

《クロス集計 (全体/性別/年齢階層別)》

(%)		会 障 害 者 市 内 誘 致 ポ ー ツ 大	情 報 発 信 ス ポ ー ツ の	導 者 の 養 成 ポ ー ツ 指	べ 深 害 者 ト の 開 催 理 解 を	施 ス 障 害 者 が 環 境 を 整 え し て	そ の 他	無 回 答
全体(n=791)		16.8	28.8	12.5	32.5	46.9	2.8	16.6
性別	男性(n=411)	18.5	29.7	12.4	30.9	45.0	3.2	15.8
	女性(n=356)	15.2	28.1	12.6	34.8	48.9	2.0	17.4
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	18.8	34.1	13.6	44.3	47.7	2.8	9.7
	30歳代(n=94)	14.9	29.8	16.0	35.1	47.9	3.2	7.4
	40歳代(n=124)	16.9	32.3	12.1	28.2	43.5	4.8	16.9
	50歳代(n=119)	16.8	28.6	14.3	29.4	52.1	3.4	17.6
	60歳代(n=136)	15.4	23.5	10.3	27.9	44.9	0.7	22.1
	70歳以上(n=126)	17.5	22.2	9.5	26.2	46.0	1.6	25.4

●年齢階層別にみると、50歳代の「障害者が継続してスポーツを行える施設・環境の整備」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。また、年齢階層が低くなるほど、「障害者への理解を深めるスポーツイベントの開催」の割合は、おおむね高くなる傾向にあります。

《前回調査との比較》

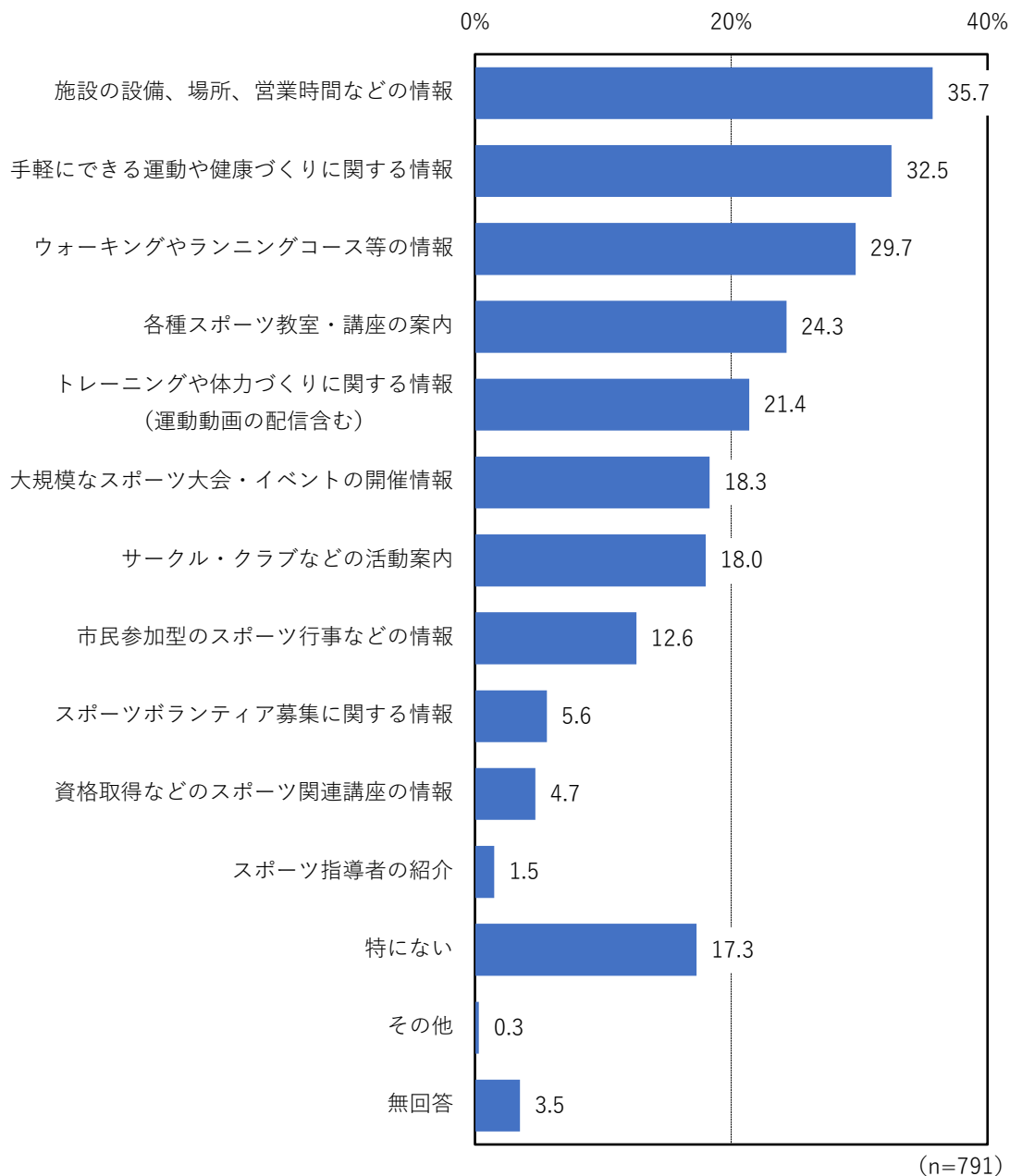


- 前回調査と比較すると、「障害者スポーツ大会の市内誘致」のみ増加しており、それ以外の取り組みについては減少しています。その中でも、「障害者への理解を深めるスポーツイベントの開催」の割合が-7.8ポイントと最も減少しており、次いで「障害者が継続してスポーツを行える施設・環境の整備」(-7.0%)、「障害者スポーツ指導者の養成」(-6.4%)と続いています。



## 5. スポーツ・運動に関する情報について

問 26 スポーツに関してどのような情報を入手したいですか。(○は複数可)



- スポーツに関する入手したい情報について、「施設の設備、場所、営業時間などの情報」と回答した割合が最も高く、35.7%となっています。次いで、「手軽にできる運動や健康づくりに関する情報」(32.5%)、「ウォーキングやランニングコース等の情報」(29.7%)と続いています。

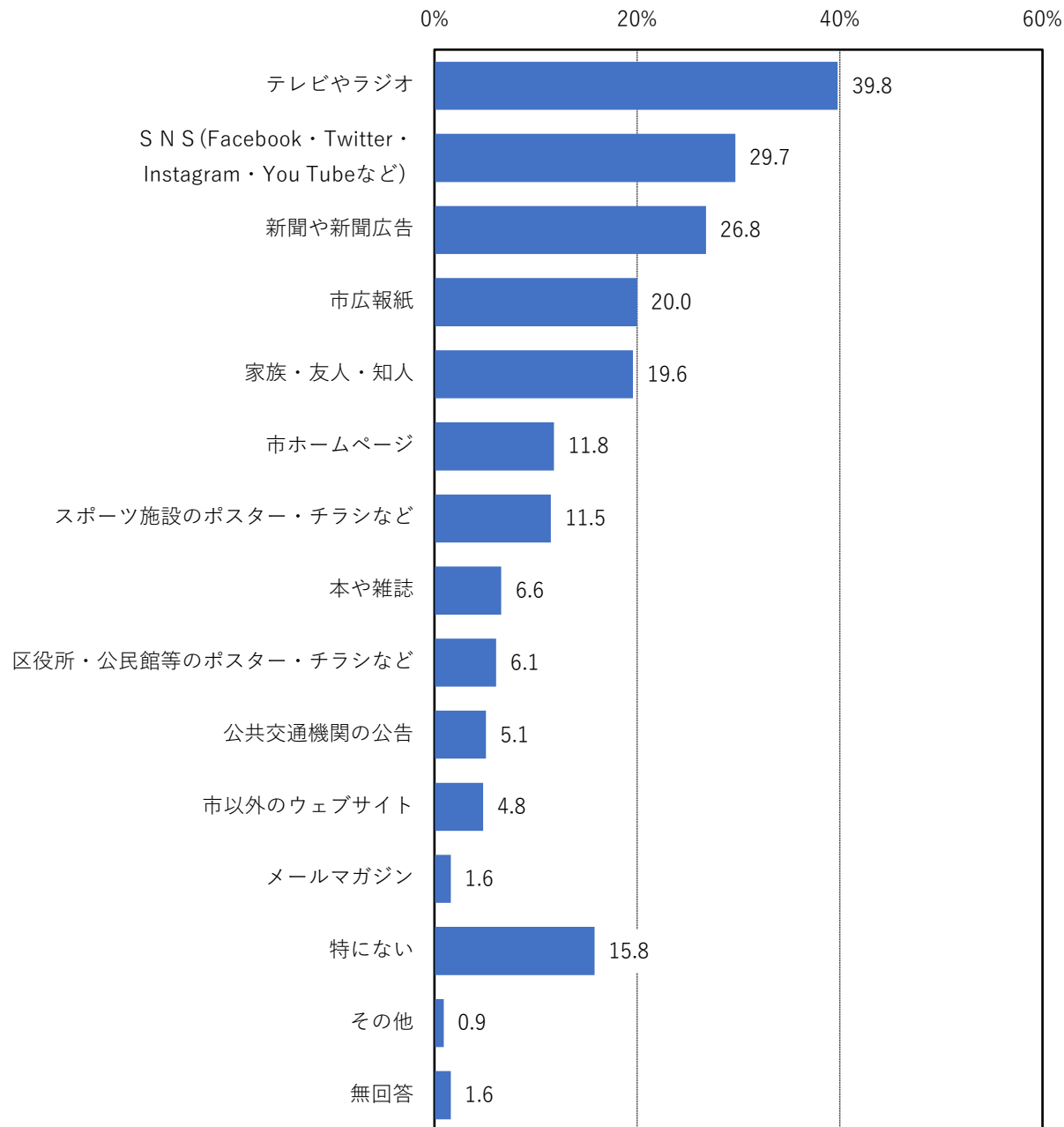
《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		業施設の設備、場所、営業時間などの情報	ウォーキングやランニングコース等の情報	各種スポーツ教室・講座の案内	サークル・クラブなどの活動案内	大会・イベントの開催情報	市民参加型のスポーツ行事などの情報	スポーツボランティア募集に関する情報	資格取得などのスポーツ関連講座などの情報
全体(n=791)		35.7	29.7	24.3	18.0	18.3	12.6	5.6	4.7
性別	男性(n=411)	38.0	28.2	20.7	16.5	21.9	13.9	5.4	4.9
	女性(n=356)	32.3	31.7	27.5	18.3	13.8	10.7	5.9	4.5
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	44.3	29.0	21.6	23.3	16.5	12.5	6.3	7.4
	30歳代(n=94)	43.6	39.4	28.7	22.3	18.1	14.9	7.4	6.4
	40歳代(n=124)	41.1	33.9	34.7	17.7	16.9	12.1	7.3	8.1
	50歳代(n=119)	37.0	34.5	26.9	9.2	26.9	16.0	8.4	4.2
	60歳代(n=136)	30.9	27.9	22.1	17.6	21.3	10.3	2.9	0.0
	70歳以上(n=126)	15.1	16.7	12.7	12.7	9.5	9.5	1.6	1.6

（%）		くつりに関する情報	手軽にできる運動や健康づくりに関する情報	スポーツ指導者の紹介	特にな	その他	無回答
全体(n=791)		21.4	32.5	1.5	17.3	0.3	3.5
性別	男性(n=411)	21.2	24.3	1.7	19.5	0.2	3.9
	女性(n=356)	20.8	41.3	1.4	14.6	0.3	3.4
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	21.6	25.6	3.4	20.5	0.0	1.1
	30歳代(n=94)	22.3	20.2	1.1	13.8	2.1	0.0
	40歳代(n=124)	21.8	29.0	3.2	15.3	0.0	1.6
	50歳代(n=119)	22.7	39.5	0.8	10.9	0.0	1.7
	60歳代(n=136)	25.7	34.6	0.0	21.3	0.0	4.4
	70歳以上(n=126)	10.3	43.7	0.0	20.6	0.0	12.7

- 性別にみると、「施設の設備、場所、営業時間などの情報」、「大規模なスポーツ大会・イベントの開催情報」の割合は男性の方が、「各種スポーツ教室・講座の案内」、「手軽にできる運動や健康づくりに関する情報」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10～20歳代から40歳代の「施設の設備、場所、営業時間などの情報」、30歳代の「ウォーキングやランニングコース等の情報」、40歳代の「各種スポーツ教室・講座の案内」、10～20歳代及び30歳代の「サークル・クラブなどの活動案内」、50歳代の「大規模なスポーツ大会・イベントの開催情報」、50歳代及び70歳以上の「手軽にできる運動や健康づくりに関する情報」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

問 27 どのような媒体でスポーツ関連情報を入手していますか。(○は複数可)



(n=791)

- スポーツ関連情報を入手している媒体について、「テレビやラジオ」と回答した割合が最も高く、39.8%となっています。次いで、「S N S (Facebook・Twitter・Instagram・You Tube など)」(29.7%)、「新聞や新聞広告」(26.8%)と続いています。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

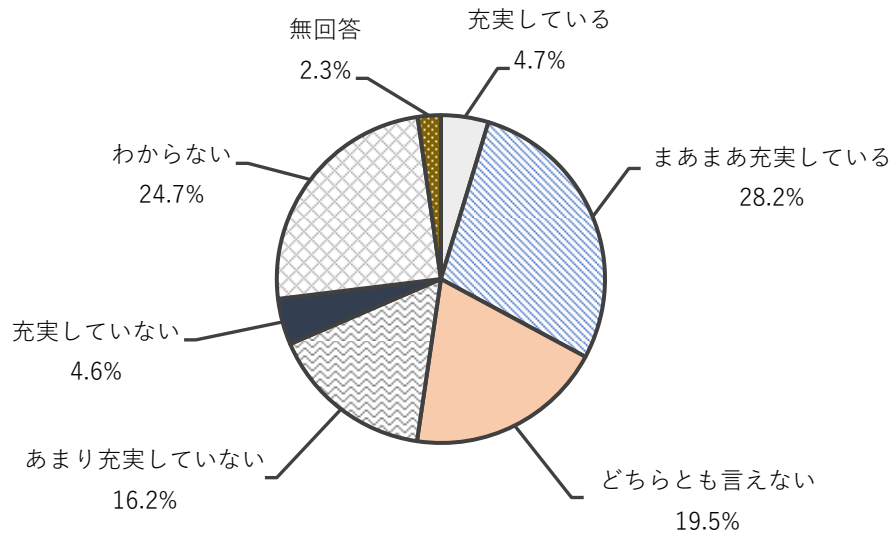
(%)		市ホームページ	市広報紙	スポーツ・チラシなどのポス	区役所・公民館などのポ	公共交通機関の公告	新聞や新聞広告	SNS	本や雑誌
全体(n=791)		11.8	20.0	11.5	6.1	5.1	26.8	29.7	6.6
性別	男性(n=411)	12.7	16.3	12.2	5.1	6.1	29.0	30.7	8.8
	女性(n=356)	11.0	24.7	10.7	7.0	3.9	24.7	29.2	4.2
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	11.4	7.4	11.4	4.0	8.5	10.2	57.4	8.0
	30歳代(n=94)	16.0	19.1	11.7	5.3	8.5	9.6	37.2	9.6
	40歳代(n=124)	10.5	21.8	16.1	5.6	4.0	19.4	33.9	7.3
	50歳代(n=119)	14.3	25.2	12.6	7.6	5.0	33.6	27.7	9.2
	60歳代(n=136)	12.5	23.5	11.0	4.4	2.9	41.9	15.4	3.7
	70歳以上(n=126)	7.1	28.6	7.1	9.5	0.8	48.4	0.0	3.2

(%)		テレビやラジオ	メールマガジン	家族・友人・知人	市以外のウェブサイト	特にな	その他	無回答
全体(n=791)		39.8	1.6	19.6	4.8	15.8	0.9	1.6
性別	男性(n=411)	43.6	2.4	19.0	6.6	13.9	0.7	1.5
	女性(n=356)	35.4	0.8	19.9	2.5	17.7	1.1	2.0
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	31.3	1.1	23.3	2.8	18.8	0.6	0.6
	30歳代(n=94)	23.4	1.1	24.5	11.7	25.5	2.1	0.0
	40歳代(n=124)	42.7	2.4	21.8	7.3	12.9	0.8	1.6
	50歳代(n=119)	42.9	5.0	14.3	4.2	12.6	1.7	0.8
	60歳代(n=136)	47.1	0.7	18.4	4.4	12.5	0.0	2.2
	70歳以上(n=126)	49.2	0.0	15.9	0.0	14.3	0.8	4.8

- 性別にみると、「テレビやラジオ」の割合は男性の方が、「市広報紙」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、年齢階層が下がるにつれて「SNS」の割合は高くなっています。また、10～20歳代の「市広報紙」、「テレビやラジオ」、10～20歳代から40歳代の「新聞や新聞広告」、50歳代の「家族・友人・知人」の割合が、その他の年齢階層に比べて低くなっています。

## 6. 公共スポーツ施設等について

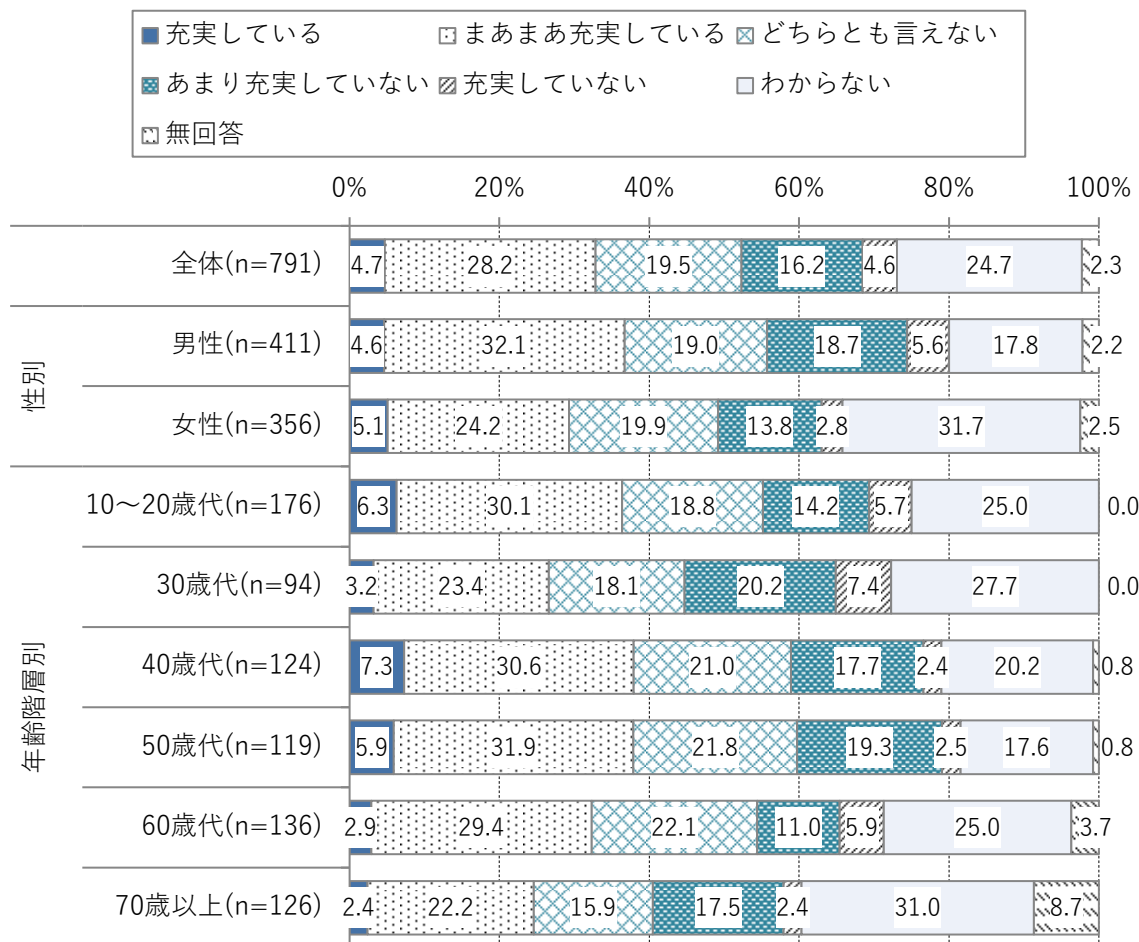
問 28 岡山市内において公共のスポーツ施設が充実していると思いますか。



(n=791)

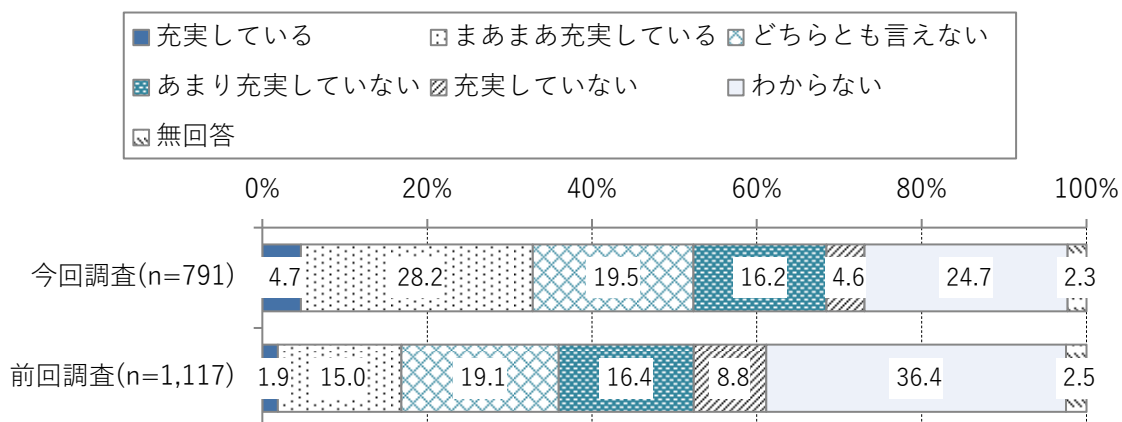
- 岡山市内の公共スポーツ施設の充実度について、「まあまあ充実している」と回答した割合が最も高く、28.2%となっています。次いで、「わからない」(24.7%)、「どちらとも言えない」(19.5%)と続いています。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》



- 性別にみると、『充実している』（「充実している」と「まあまあ充実している」の和）の割合は、女性の方が7.4ポイント低くなっています。
- 年齢階層別にみると、30歳代及び70歳以上の『充実している』の割合が、その他の年齢階層に比べて低くなっています。

《前回調査との比較》

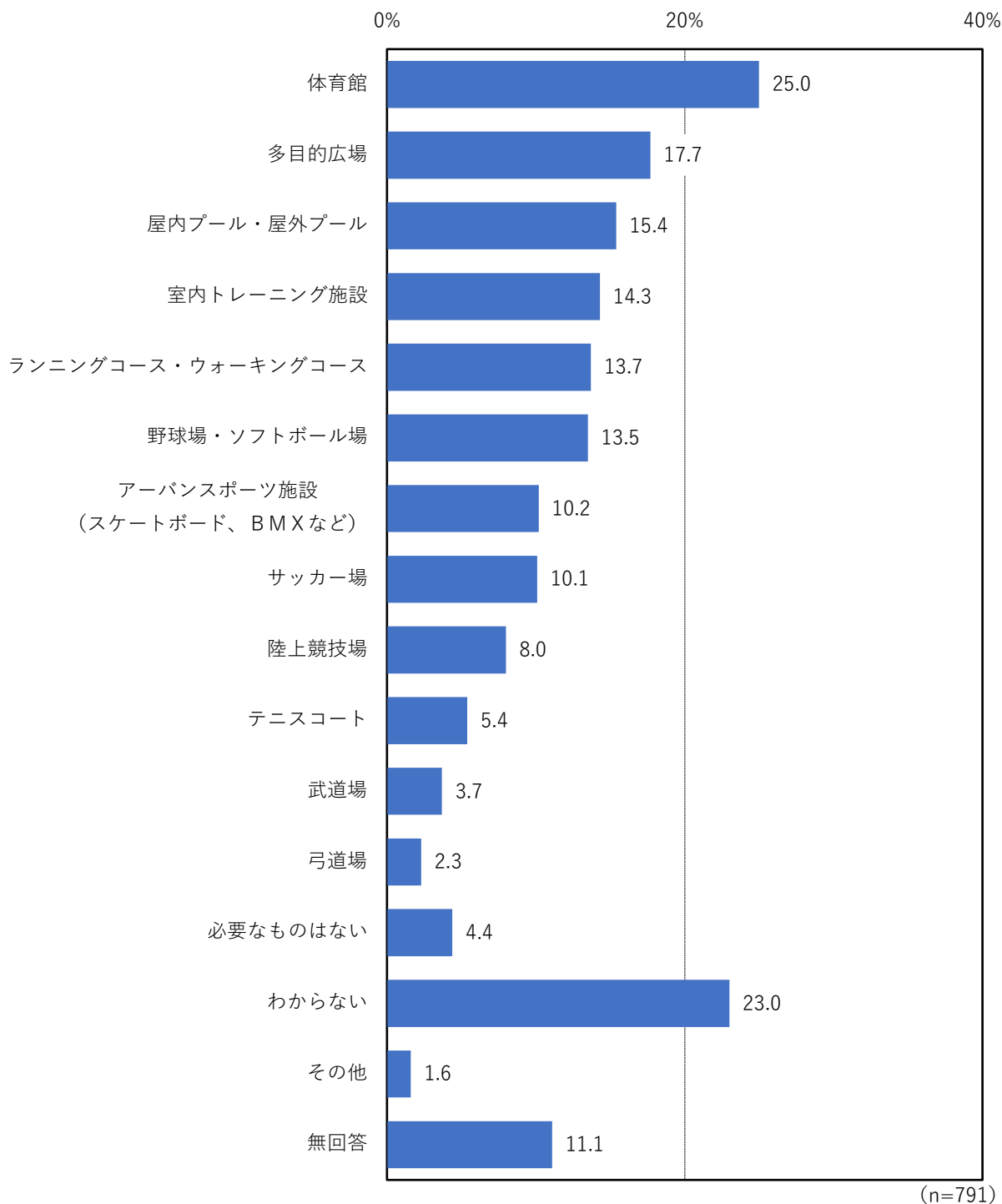


- 前回調査と比較すると、『充実している』の割合が16.0ポイント高くなっています。

問 29 岡山市内の公共スポーツ施設として今後どのような施設が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

①大規模な各種スポーツ大会や各種イベントなどの開催が可能となる規模の大きなスポーツ施設



●岡山市に必要だと思う大規模な各種スポーツ大会や各種イベントなどの開催が可能となる規模の大きなスポーツ施設について、「体育館」と回答した割合が最も高く、25.0%となっています。次いで、「多目的広場」(17.7%)、「屋内プール・屋外プール」(15.4%)と続いています。

《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

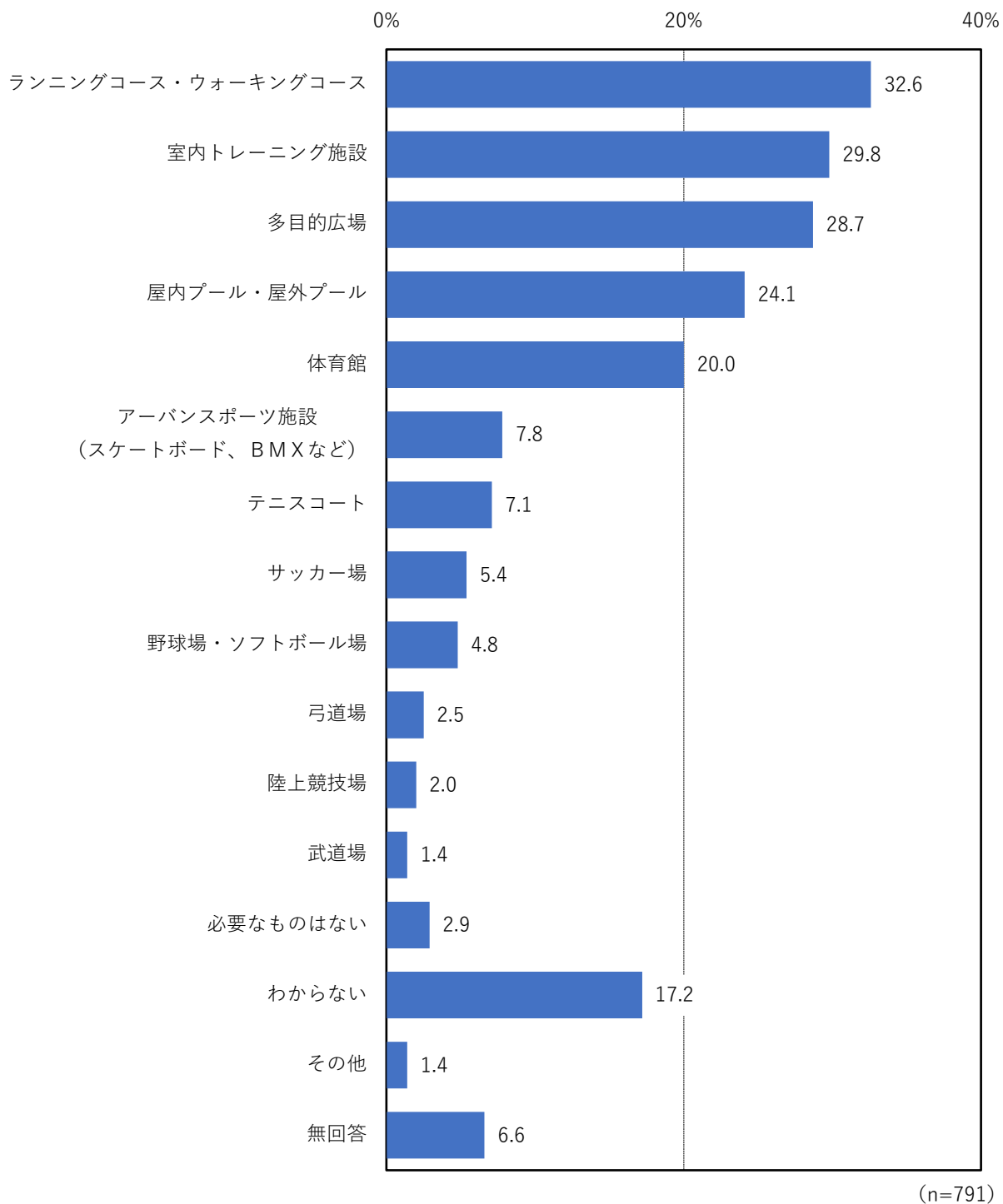
(%)		体育館	武道場	弓道場	室内トレーニング施設	陸上競技場	野球場・ソフトボール	テニスコート	サッカー場
全体(n=791)		25.0	3.7	2.3	14.3	8.0	13.5	5.4	10.1
性別	男性(n=411)	25.1	3.6	2.2	16.8	7.1	15.6	6.6	13.4
	女性(n=356)	25.0	3.9	2.2	11.2	9.0	11.8	3.9	6.2
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	36.9	4.5	2.8	18.8	6.8	14.2	8.0	10.2
	30歳代(n=94)	26.6	6.4	2.1	10.6	8.5	16.0	4.3	12.8
	40歳代(n=124)	24.2	4.0	3.2	14.5	5.6	14.5	1.6	13.7
	50歳代(n=119)	25.2	5.0	0.8	15.1	8.4	18.5	7.6	13.4
	60歳代(n=136)	15.4	2.2	1.5	14.0	8.1	11.8	4.4	6.6
	70歳以上(n=126)	17.5	0.8	3.2	9.5	10.3	8.7	4.8	4.8

(%)		多目的広場	ウォーキングコース・ランニングコース	屋内プール・屋外プール	アーバンスポーツ施設	必要なものはない	わからない	その他	無回答
全体(n=791)		17.7	13.7	15.4	10.2	4.4	23.0	1.6	11.1
性別	男性(n=411)	20.7	14.8	12.2	8.8	5.6	17.8	2.4	10.7
	女性(n=356)	14.0	12.6	19.4	12.1	3.1	28.4	0.6	11.5
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	22.7	11.4	17.0	15.9	1.7	23.9	2.3	2.8
	30歳代(n=94)	16.0	14.9	8.5	10.6	3.2	29.8	4.3	5.3
	40歳代(n=124)	20.2	12.9	19.4	13.7	4.0	17.7	0.8	9.7
	50歳代(n=119)	17.6	21.0	18.5	9.2	6.7	16.0	0.8	5.9
	60歳代(n=136)	14.0	15.4	16.9	8.8	5.1	27.2	1.5	13.2
	70歳以上(n=126)	13.5	7.9	10.3	2.4	6.3	23.8	0.0	30.2

- 性別にみると、「室内トレーニング施設」、「サッカー場」、「多目的広場」の割合は男性の方が、「屋内プール・屋外プール」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10～20歳代の「体育館」、「多目的広場」、「アーバンスポーツ施設」、50歳代の「ランニングコース・ウォーキングコース」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。



②日常的に気軽に利用できるスポーツ施設



●岡山市に必要だと思う日常的に気軽に利用できるスポーツ施設について、「ランニングコース・ウォーキングコース」と回答した割合が最も高く、32.6%となっています。次いで、「室内トレーニング施設」(29.8%)、「多目的広場」(28.7%)と続いています。

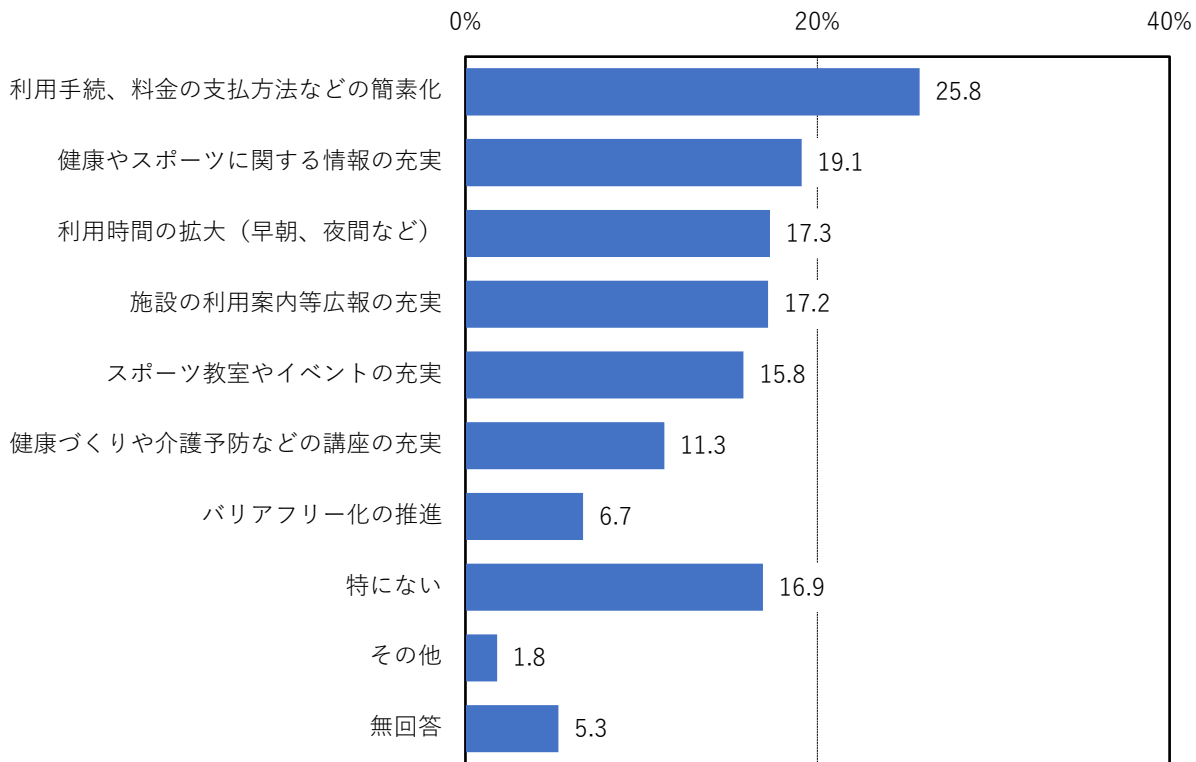
《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

(% )		体育館	武道場	弓道場	室内トレーニング施設	陸上競技場	野球場・ソフトボール	テニスコート	サッカー場
全体(n=791)		20.0	1.4	2.5	29.8	2.0	4.8	7.1	5.4
性別	男性(n=411)	20.9	2.4	2.9	27.0	3.6	6.6	8.0	8.8
	女性(n=356)	19.9	0.3	1.7	33.1	0.3	2.8	5.9	1.4
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	34.7	0.6	2.3	27.8	1.1	5.1	9.1	9.7
	30歳代(n=94)	27.7	4.3	3.2	25.5	0.0	6.4	2.1	10.6
	40歳代(n=124)	21.8	1.6	5.6	33.1	4.0	6.5	9.7	4.8
	50歳代(n=119)	14.3	2.5	0.0	36.1	2.5	4.2	8.4	4.2
	60歳代(n=136)	11.8	0.7	1.5	34.6	3.7	4.4	5.9	2.2
	70歳以上(n=126)	8.7	0.0	2.4	20.6	0.8	2.4	4.8	0.0

(% )		多目的広場	ウォーキングコース・ランニングコース	屋内プール・屋外プール	アーバンスポーツ施設	必要なものはない	わからない	その他	無回答
全体(n=791)		28.7	32.6	24.1	7.8	2.9	17.2	1.4	6.6
性別	男性(n=411)	32.8	30.7	20.7	8.0	4.1	14.1	1.7	6.3
	女性(n=356)	24.2	34.6	28.4	7.6	1.7	19.9	1.1	7.3
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	31.8	29.0	27.3	11.4	2.3	18.2	1.7	2.3
	30歳代(n=94)	27.7	29.8	24.5	7.4	1.1	16.0	4.3	2.1
	40歳代(n=124)	28.2	29.8	32.3	13.7	3.2	13.7	0.8	3.2
	50歳代(n=119)	35.3	43.7	22.7	7.6	3.4	12.6	0.8	3.4
	60歳代(n=136)	25.0	34.6	24.3	3.7	2.9	19.1	1.5	6.6
	70歳以上(n=126)	23.8	27.8	13.5	2.4	4.8	22.2	0.0	23.0

- 性別にみると、「サッカー場」、「多目的広場」の割合は男性の方が、「室内トレーニング施設」、「屋内プール・屋外プール」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、年齢階層があがるにつれて、「体育館」の割合は低くなっています。また、10～20歳代の「体育館」、50歳代の「室内トレーニング施設」、「ランニングコース・ウォーキングコース」、「多目的広場」、30歳代の「サッカー場」、40歳代の「屋内プール・屋外プール」、「アーバンスポーツ施設」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

問 30 岡山市の公共スポーツ施設に望むことは何ですか。(○は複数可)



(n=791)

- 岡山市の公共スポーツ施設に望むことについて、「利用手続、料金の支払方法などの簡素化」と回答した割合が最も高く、25.8%となっています。次いで、「健康やスポーツに関する情報の充実」(19.1%)、「利用時間の拡大（早朝、夜間など）」(17.3%)と続いています。

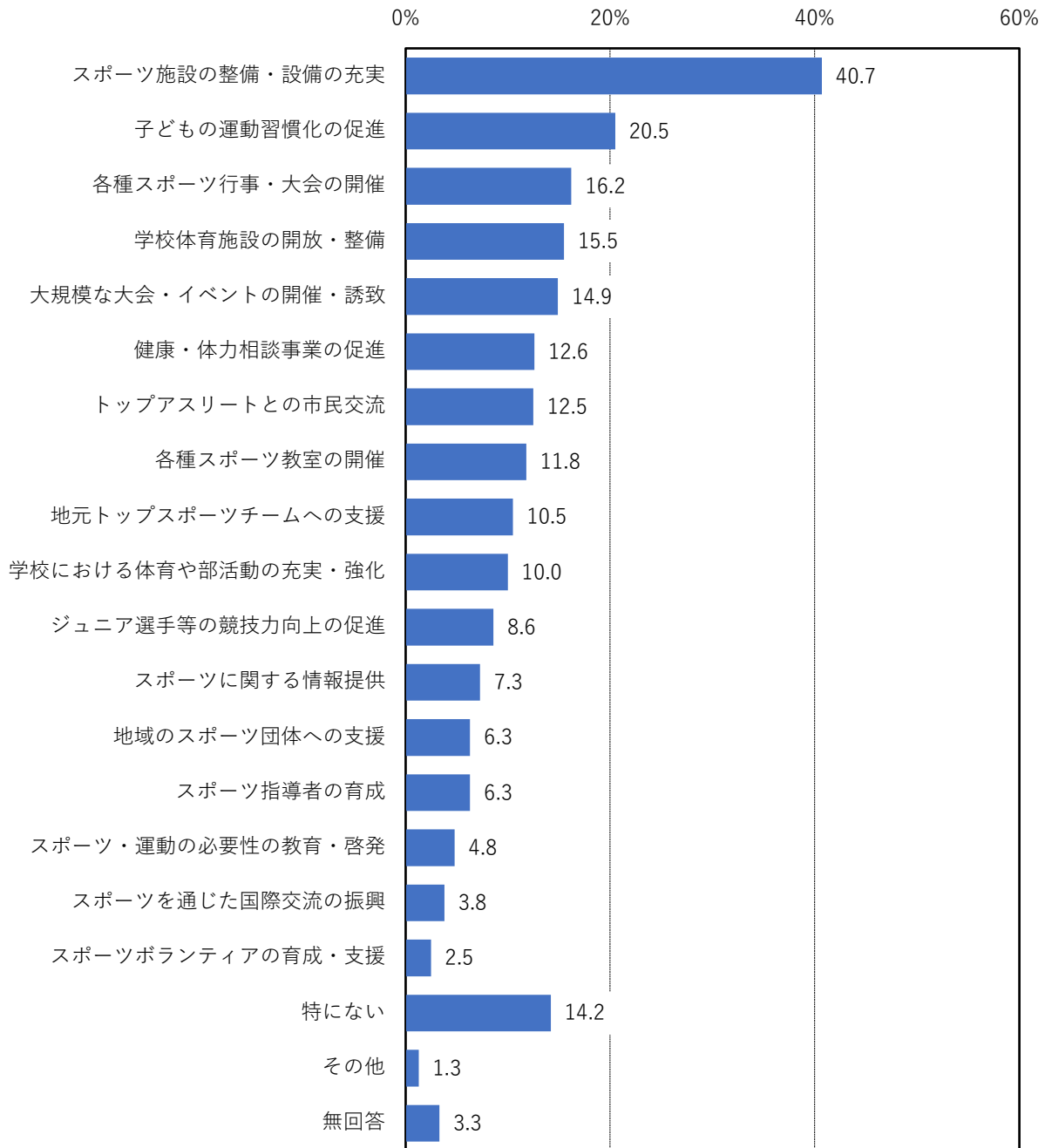
《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

(%)		健康やスポーツに関する情報の充実	施設の利用率案内等広報	利用時間の拡大	スポーツ教室やイベントの充実	利用手続、料金の支払方法などの簡素化	健康づくりや介護予防などの講座の充実	バリアフリー化の推進	特になし	その他	無回答
全体(n=791)		19.1	17.2	17.3	15.8	25.8	11.3	6.7	16.9	1.8	5.3
性別	男性(n=411)	20.2	15.1	20.2	11.7	23.6	9.5	5.6	17.5	1.9	5.6
	女性(n=356)	17.1	18.5	14.0	19.9	27.8	13.5	7.6	16.3	1.7	5.3
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	11.9	11.9	21.6	13.6	37.5	1.7	8.5	16.5	1.7	2.3
	30歳代(n=94)	19.1	14.9	20.2	12.8	34.0	9.6	7.4	12.8	5.3	1.1
	40歳代(n=124)	16.9	16.1	22.6	22.6	32.3	6.5	4.0	16.9	2.4	2.4
	50歳代(n=119)	24.4	18.5	18.5	13.4	24.4	11.8	6.7	14.3	1.7	4.2
	60歳代(n=136)	22.8	18.4	14.7	20.6	14.0	19.1	7.4	19.9	0.7	6.6
	70歳以上(n=126)	19.8	21.4	5.6	10.3	10.3	22.2	5.6	20.6	0.0	15.9

- 性別にみると、「利用時間の拡大」の割合は男性の方が、「スポーツ教室やイベントの充実」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10～20歳代から40歳代の「利用手続、料金の支払方法などの簡素化」、50歳代の「健康やスポーツに関する情報の充実」、40歳代の「利用時間の拡大」、「スポーツ教室やイベントの充実」、60歳代及び70歳以上の「健康づくりや介護予防などの講座の充実」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

## 7. 今後のスポーツ振興について

問 31 スポーツの普及・振興のため、今後、岡山市にはどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(○は3つまで)



(n=791)

●スポーツの普及・振興のため岡山市に力を入れてほしいことについて、「スポーツ施設の整備・設備の充実」と回答した割合が最も高く、40.7%となっています。次いで、「子どもの運動習慣化の促進」(20.5%)、「各種スポーツ行事・大会の開催」(16.2%)と続いています。

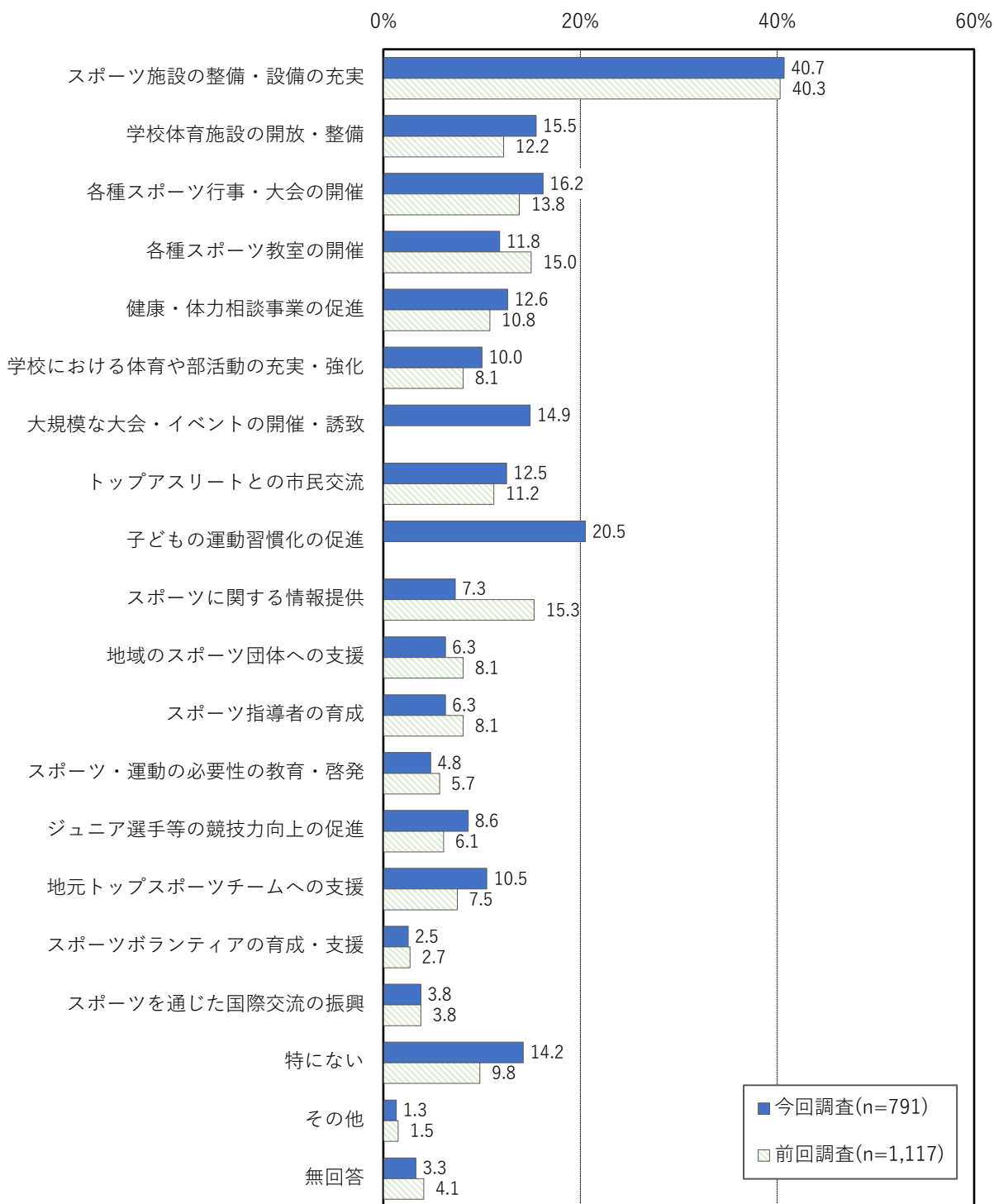
《クロス集計（全体/性別/年齢階層別）》

（%）		設 備 の 充 実	整 備	各 種 の 開 催	催 各 種 ス ポ ー ツ 教 室 の 開	促 進	活 動 の 充 実 ・ 強 化	ト 大 規 模 な 大 会 ・ イ ベ ン ト の 開 催 ・ 誘 致	市 民 交 流	促 進	提 供
全体(n=791)		40.7	15.5	16.2	11.8	12.6	10.0	14.9	12.5	20.5	7.3
性別	男性(n=411)	43.3	16.5	18.5	9.5	12.4	8.5	18.0	13.4	15.6	7.8
	女性(n=356)	37.9	14.3	13.8	13.8	12.6	11.8	11.8	11.8	25.8	6.5
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	48.3	20.5	15.3	8.5	7.4	10.2	13.1	12.5	19.9	6.8
	30歳代(n=94)	41.5	13.8	11.7	10.6	8.5	14.9	19.1	11.7	27.7	6.4
	40歳代(n=124)	38.7	17.7	17.7	13.7	7.3	12.9	14.5	20.2	28.2	3.2
	50歳代(n=119)	42.9	16.0	18.5	13.4	11.8	7.6	26.1	15.1	14.3	11.8
	60歳代(n=136)	39.7	12.5	19.1	16.2	19.9	6.6	13.2	12.5	17.6	6.6
	70歳以上(n=126)	31.0	10.3	13.5	7.1	19.8	9.5	6.3	3.2	16.7	7.9

（%）		の 地 域 の ス ポ ー ツ 団 体 へ	ス ポ ー ツ 指 導 者 の 育 成	性 の ス ポ ー ツ ・ 啓 発 の 必 要	カ ジ ユ ニ ア の 促 進	チ 地 元 ト ム ト プ ス ポ ー ツ の 支 援	の ス ポ ー ツ 育 成 ・ 支 援	交 流 の 振 興	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体(n=791)		6.3	6.3	4.8	8.6	10.5	2.5	3.8	14.2	1.3	3.3
性別	男性(n=411)	6.3	5.6	5.6	8.0	11.4	1.9	3.4	15.1	1.7	2.9
	女性(n=356)	6.7	6.7	3.9	9.3	9.0	3.1	4.5	12.9	0.6	3.9
年齢階層別	10～20歳代(n=176)	5.7	4.5	6.3	6.8	13.1	3.4	7.4	16.5	0.6	0.0
	30歳代(n=94)	6.4	4.3	4.3	8.5	7.4	1.1	4.3	12.8	3.2	2.1
	40歳代(n=124)	4.8	7.3	5.6	16.9	11.3	2.4	5.6	10.5	0.8	1.6
	50歳代(n=119)	5.9	9.2	5.9	10.1	11.8	0.0	1.7	10.9	0.8	0.8
	60歳代(n=136)	5.9	6.6	3.7	6.6	11.0	3.7	2.9	16.2	1.5	2.9
	70歳以上(n=126)	10.3	5.6	3.2	4.8	5.6	4.0	0.0	17.5	0.8	13.5

- 性別にみると、「スポーツ施設の整備・設備の充実」、「大規模な大会・イベントの開催・誘致」の割合は男性の方が、「子どもの運動習慣化の促進」の割合は女性の方が5ポイント以上高くなっています。
- 年齢階層別にみると、10～20歳代の「スポーツ施設の整備・設備の充実」、「学校体育施設の開放・整備」、60歳代及び70歳代の「健康・体力相談事業の促進」、50歳代の「大規模な大会・イベントの開催・誘致」、40歳代の「トップアスリートとの市民交流」、40歳代及び50歳代の「ジュニア選手等の競技力向上の促進」の割合が、その他の年齢階層に比べて高くなっています。

《前回調査との比較》



※「大規模な大会・イベントの開催・誘致」「子どもの運動習慣化の促進」は今回調査から追加  
 ●前回調査と比較すると、「学校体育施設の開放・整備」、「地元トップスポーツチームへの支援」、  
 の割合が、3ポイント以上高くなった一方、「各種スポーツ教室の開催」、「スポーツに関する情  
 報提供」の割合は3ポイント以上低くなっています。